現代システム科学域
College of Sustainable System Sciences

大阪府立大学

工学域
College of Engineering

CAMPUS GUIDE

2021

生命環境科学域
College of Life, Environment, and Advanced Sciences

地域保健学域
College of Health and Human Sciences

2022年4月開学予定
新大学情報はこちら➡

随時更新

答えがひとつではない問題に対処する力を養う、4学域13学類の学び

大阪府立大学は、2012年4月に従来の7学部28学科から、より幅広い分野を学ぶ4学域13学類に移行しました。文系・理系の枠にとらわれず、現代社会の問題解決に役立つ実践的な知を身につける4つの学びのフィールドを用意しています。

■学域	■学類 / 入学定員	■主たる学びの場（キャンパス）	■課程・専攻	■学び / 育成の特徴
サステイナブルな社会の実現を追究する **現代システム科学域** P.5~ （入学定員：320名）	知識情報システム学類 45名	中	―	情報学、人工知能などを学びます
	環境システム学類 125名	中	2年次より課程配属：環境共生科学課程	環境科学を、理系・文系いずれもの視点から総合的に学びます
			2年次より課程配属：社会共生科学課程	社会学、地理学、歴史学、現代思想、倫理学、文学、言語学などを学びます
			2年次より課程配属：人間環境科学課程	実験心理学、臨床心理学、認知科学、脳科学などを学びます
	マネジメント学類 150名	中	マネジメント課程	経営学、会計学、法学、生産システム科学などを学びます
			経済データサイエンス課程	経済学、経済データの分析手法などを学びます
産業界からのイノベーションをめざす **工学域** P.21~ （入学定員：455名）	電気電子系学類 163名	中	情報工学課程	快適で安全な高度情報化社会を切り開くため、国際的な視点で最先端の情報科学を学びます
			電気電子システム工学課程	自動車・ロボット・通信ネットワークやエネルギー・生産システムなど、世の中に役立つ技術を学びます
			電子物理工学課程	IoT社会に必要不可欠な物理的視野と電子技術の素養を修得させ、高い創造性を発揮できる人材を育成します
	物質化学系学類 150名	中	応用化学課程	物質の構造、性質、反応を原子・分子レベルで理解し、基礎から最先端の化学まで総合的に学びます
			化学工学課程	品質の高い製品を効率よく生産するための学問を学びます
			マテリアル工学課程	金属・セラミックス等を対象にマテリアル工学の基礎と応用を広く学び、また国際性豊かな人材を育成します
	機械系学類 142名	中	航空宇宙工学課程	専門分野を極め、全地球的な視野から物事を総合的に考える能力、システムデザイン能力を育成します
			海洋システム工学課程	地球システムを構成する海洋と、海で行われる人間・社会活動の調和を目指す工学を学びます
			機械工学課程	動くモノから社会を支えるモノに関する設計・開発・製造・使用・リサイクルに必要となる工学的知識を学びます
自然と生命の真理を探究する **生命環境科学域** P.41~ （入学定員：339名）	獣医学類 40名	1年次 中 → 2年次以降 リ※	―	獣医学を学び、小動物・産業動物臨床、食の安全、人獣共通感染症や創薬研究等に携わる獣医師を目指します
	応用生命科学類 100名	中	2年次より：生命機能化学課程	次世代のバイオサイエンス・バイオテクノロジーに関わる広範な領域で活躍できる人材を育成します
			2年次より：植物バイオサイエンス課程	最先端バイオサイエンス・バイオテクノロジーの基礎学力と実践力を身につけ社会で活躍する人材を養成します
	緑地環境科学類 50名	中	―	持続可能な社会を支える緑地環境を目指し、農学に生態学や環境学を融合させた実践的な知識と技術を学びます
	理学類 149名	中	2年次より課程配属：数理科学課程	数学の自然科学や社会への応用も意識し、代数学・幾何学・解析学・統計学の理論と実践を深く修得します
			2年次より課程配属：物理科学課程	宇宙・地球からナノサイズにわたる幅広い物理現象に潜む基本原理を、解明・応用する力を養います
			2年次より課程配属：分子科学課程	物理化学、無機化学、有機化学を中心に化学の専門知識と研究を行うために必要な化学実験技術を学びます
			2年次より課程配属：生物科学課程	生化学、細胞生物学、生態学を中心に生命活動を分子レベルで理解するための専門知識と生物実験技術を学びます
より健やかな暮らしを実現する **地域保健学域** P.59~ （入学定員：255名）	看護学類 120名	1年次 中 羽 → 2年次以降 羽※	―	高度医療に対応する専門知識・技術と態度を備えた看護職、看護学を基盤とした養護教諭を育成します
	総合リハビリテーション学類 80名（理/25名、作/25名、栄/30名）	1年次 中 羽 → 2年次以降 羽※	理学療法学専攻	実践的な問題解決能力を身につけ、リハビリテーション・地域医療の最前線で活躍する理学療法士を育成します
			作業療法学専攻	地域社会における保健・医療・福祉、教育・職業分野でリーダーシップを発揮できる作業療法士を育成します
			栄養療法学専攻	栄養学を学び、食を通してすべての人の一生涯の健康を実現できる管理栄養士や研究者を育成します
	教育福祉学類 55名	中	―	福祉・教育・社会科学が融合した新しい学びを通じ、持続可能な社会づくりに関わる人材を育成します

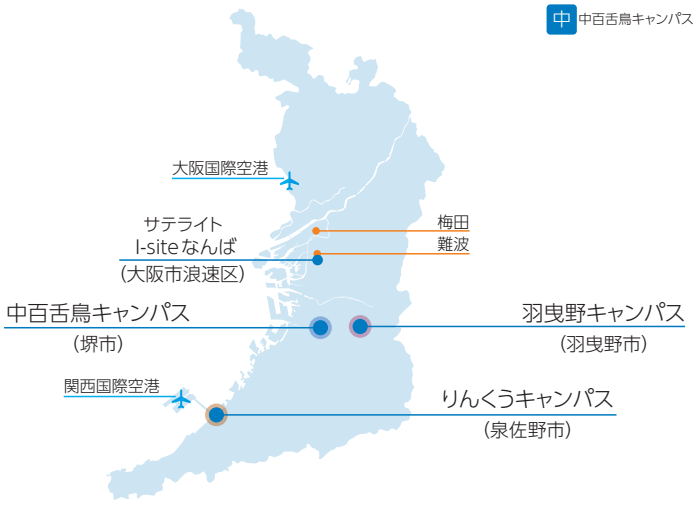
キャンパスライフ P.75~

留学・国際交流 P.77~

就職・キャリアサポート P.79~

大阪府立大学の沿革 P.87~

中 中百舌鳥キャンパス　羽 羽曳野キャンパス　リ りんくうキャンパス



※主たる学びの場について

本学では理念として「多様」「融合」「国際」を掲げており、学びにおいても入学した学域を超えた多様な価値観の融合を方針にしています。よって、1年次の共通教育科目については全学生が中百舌鳥キャンパスで受講することを基本とし、2年次以降にそれぞれのキャンパスに分かれて学ぶシステムにしています。

人生で最も自由な煌めきの時に、今から何をやりたいかを考えておきましょう

今の皆さんが通学の途中で、ふと「海が見たい」と思ったとして、その足で海に行けますか？ 就職して通勤途中にそう思ったとして、行けますか？ 遅刻・欠席は、学校という名の下で、そして、保護者の下で管理される。無断欠席など会社で許されるはずがない。高校時代も、会社に勤めても、時間を管理するのは、自分ではなく他者なのです。

一方大学生は、自己責任において、ふとした気持ちから海を見に行くことができます。「海を見る」は「立ち止まって現実を見る」と言い換えることもできます。大学で過ごす年月は、長い人生の中では大変短いのですが、時間を自分で管理できる煌めきの時なのです。これほど自由を謳歌できる時は二度とありません。

皆さんはこれまで数学や国語など色々な勉強をしてこられましたが、問題に対する答えは一つであったと思います。しかし大学では、問題の答えは一つではないことが多いのです。社会に出ると、答えがすぐに見つからない複雑な問題を、多くの人たちと協力して解決していかなければなりません。大阪府立大学では、そのような答えが一つではない難題に対処できる力を養うためのユニークなカリキュラムを数多く用意しています。「学び」の選択肢が多いのです。皆さんがどの学域・学類を選んだとしても、自分の心に響く学びをきっと見つけることができます。2021年に入学される皆さんは、そのような府大での学びが卒業まで保証されています。

皆さんは、本学でどの学域・学類を選んでも、その学びの中であらゆる学問の集大成を見ることができます。様々な研究分野の最先端を感じることができます。学問や研究だけでなく、やりがいのある仕事を見つける、グローバルに活躍するための高い教養を身につける、世界中の人と交わって自分のアイデンティティーを見つめ直す、サークル活動やボランティア活動を通して新しい自分を発見する、生涯信頼し合える友を見つける、など色々なことに自由にチャレンジできます。他者から管理されるのではなく、自分の裁量で自分を磨くことが出来るのが大学で、ここでの経験はすべて皆さんの将来の財産になります。私は、大学生や大学院生に「20年後、30年後自分がどのようになっていたいですか」とよく問うのですが、これから進学される皆さんには、そのことに加えて、人生で一番自由を謳歌できるこの限られた時間に何をやりたいのか、大学でしかできないことは何なのかを、忙しい日常の合間にぜひ考えておいて欲しいと思います。大阪府立大学は、皆さんのチャレンジを応援します。

大阪府立大学 学長
辰巳砂 昌弘

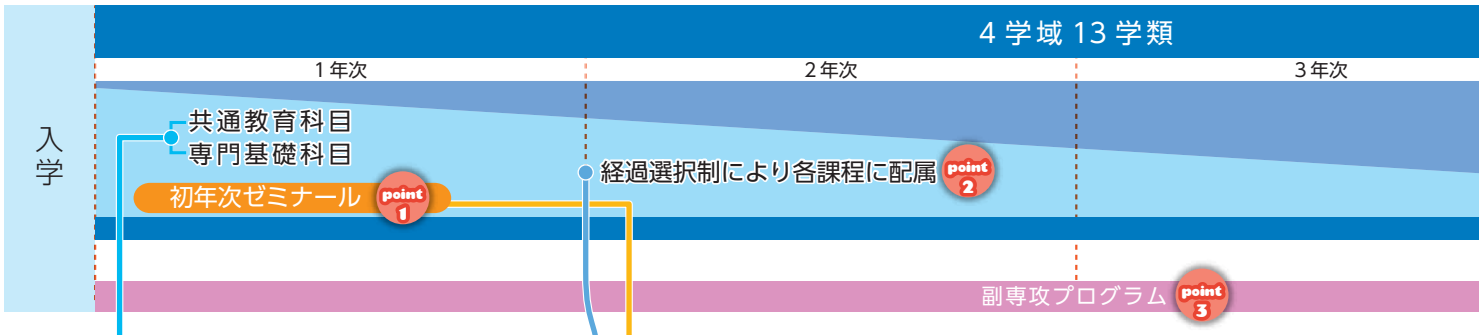
Profile
工学博士
専門分野は無機材料化学、固体イオニクス、ガラス科学。
全固体電池の研究に長年取り組む。
2019年度より大阪府立大学学長。

共通教育・基礎教育と、専門分野の学びを効果的に結びつける

大阪府立大学の教育システム

本学の４年間（獣医学類は６年間）の学びは、幅広い教養と専門性の確立、さらに「多様」「融合」「国際」を大切にする三つの視点を理念に各自の専門の枠を超えた学際的な知識を身につけた学生を育てることをめざします。

- １年次は、中百舌鳥キャンパスで共通教育科目と専門基礎科目を中心に学びます。
- 一部の学類を除き、２年次以降に専門（課程）を選択する経過選択制を導入。
- 副専攻プログラムを数多く提供することにより、専門の枠を超えた学びを実現。
- 大学院への進学を教育システムの一部として捉え、長いスパンでより高い専門性を磨ける。



高等教育推進機構による 充実した教養教育・専門基礎教育

共通教育科目

1年次を中心に中百舌鳥キャンパスにて、全学域共通で履修する科目です。大学での主体的な学びへの転換を図るとともに問題解決力を育成し、専門科目につなげていきます。

導入科目

初年次ゼミナール

教養科目

人文社会科学系／自然科学・複合領域系／教養展開

外国語科目

英語／ドイツ語／フランス語／中国語／朝鮮語

健康・スポーツ科学科目

情報基礎科目

専門基礎科目

学生が高度な専門科目へスムーズに移行できるように、理系または医療・保健の基礎を固める基礎科目を設けています。

理系基礎科目

数学／情報／物理学／化学／生物学／地学

医療・保健基礎科目

（地域保健学域　看護学類　総合リハビリテーション学類のみ）

１年次前期

入学して初めての『ゼミ』

point 1 “初年次ゼミナール”って何?

ゼミナールとは15～20人の少人数で討論を重ねながら、研究を進めるグループ学習のこと。大阪府立大学では学びのスタート時期である１年次前期の全学必修科目として「初年次ゼミナール」を導入しています。90以上のテーマから受講したいゼミを選ぶことができ、4学域生が混在したグループで自発的に議論に関わりながら、大学生活に必要な『能動的な学びの姿勢』を身につけます。

- 全学域生が一緒に受講するので、学域を超えた仲間ができる。
- 選べるテーマは90以上。

■これまでの実績例

●理想の大学を構想しよう
（高橋哲也教授）

●自分の中にものさしをもつ
（飛田国人准教授）

初年次ゼミナールの様子を動画で見てみよう

point 2 基礎を幅広く学んだ後に主専攻を決める「経過選択制」

大阪府立大学では一部の学類を除き、２年次以降に専門領域（課程）を選択する「経過選択制」を導入しています。この制度によって、1年次は幅広い基礎を広く学びながら、自分が進みたい専門領域や研究テーマをじっくりと考えることができます。ただし、課程配属は希望人数や成績も影響し、希望した課程に進めない場合もありますので授業及び自主的な学習にしっかり取り組むことが大切です。

教育システムのポイント

初年次ゼミナール　経過選択制　副 専 攻

4年次

学域・学類の専門科目

卒業・進学

学内進学の場合

大学院

3つのポリシー

- アドミッション・ポリシー
  （学生受入の方針）
- カリキュラム・ポリシー
  （教育課程編成・実施方針）
- ディプロマ・ポリシー
  （学修評価・学位の授与方針）

現代システム科学域

工学域

生命環境科学域

地域保健学域

副専攻プログラム

point 3

「副専攻」履修で幅広い知を身につける

主専攻する分野以外の専門科目を学ぶことができるプログラムです。複数の分野を学ぶことで、広い視野に立った思考力が身につきます。ただし、学生それぞれの優先順位によって主専攻の科目を優先せざるを得ない場合もあります。また、キャンパス間の移動のため履習が難しい副専攻もあります。

全学域生向け副専攻

グローバル・コミュニケーション

※全学域の学生対象

国際社会で活躍する次世代型リーダーの育成をめざし、異文化理解や社会共生のために必要な知識を得るための講義科目、国際社会でのコミュニケーション能力の向上を図る演習科目、海外語学研修やインターンシップといった実践的な活動を重視した科目を履修することにより、高いコミュニケーション能力と幅広い知識を生かして国際社会における複雑な問題解決に寄与できる能力を育成します。

DDC フランス語コミュニケーション学

※全学域の学生対象

フランス語のコミュニケーション、プレゼンテーションスキル獲得をめざします。大学院生になって、長期留学しても、語学力の不足で講義についていけない、研究発表ができないなど、苦労する現状に対処するため、3年次、4年次に新たにDDCフランス語コミュニケーションを設置し、1年次から4年次まで続けて、フランス語の授業を受けることができるようにしました。授業は少人数制で、コミュニケーション力、プレゼンテーション力養成を主眼に授業を展開します。

環境学

※現代システム科学域 環境システム学類以外の学生対象

社会経済活動においてグリーン化を担う人材、いわゆる「環境人材」の育成をめざして、環境に関する基礎的・学際的な講義科目、環境活動を実践する演習科目、既存の文系・理系学類の開設科目を活用し、人間環境、自然環境、社会環境等、人間の生活を取り巻く環境とその人間、動植物等の生態系への影響について基本的な理解を促す教育プログラムです。

情報システム学

※現代システム科学域 知識情報システム学類および
工学域 電気電子系学類 情報工学課程以外の学生対象

情報技術に関する基礎科目、情報システムに関する専門科目、情報システム構築のための演習科目を効果的に組み合わせることにより、主専攻の専門的知識を有効に活用した情報システムを構築できる人材育成をめざした教育プログラムです。

経済学

※現代システム科学域 マネジメント学類以外の学生対象

経済学の理論的・実証的な分析能力を習得するための教育プログラムで、公務員を志望している人、コンサルタントをめざしている人、シンクタンクで働きたいと考えている人など、幅広い学生のニーズに応えることをめざしています。

認知科学

※全学域の学生対象

心理学、認知科学、コンピュータサイエンス、言語学を学ぶことを通して、人間の認知過程と情報科学を統合的に学びます。そして、このような学びの中から、人間にとって真に意味のある情報技術を探るとともに、人間の心のはたらきを探るための情報技術の利用法について学習していきます。

地域再生（CR）

※全学域の学生対象

地域の実際の課題を、その現場で実践的な演習を通して学習する教育プログラムです。CRとは、Community Regenerationのことで地域再生を意味します。この授業は、本学の教員の他、現場で活躍する実務家や自治体の方々など多くの方が登壇するため、受講する学生は地域で活躍できるマインドを身につけることができます。

創薬科学

※全学域の学生対象
（但し、2020年度以降の入学生に限る。また、カリキュラムは創薬科学研究に関連の深い生命環境科学域、工学域を主な対象として編成。1学年定員20名。）

国内外の製薬企業で活躍できるグローバルな創薬研究者、特に成長する医薬品の世界市場で主流となりつつある高分子医薬である「バイオ医薬品」開発に従事できる優秀な人材の養成を目的としたプログラムです。疾病原因の解明、医薬品設計や合成、薬剤送達法の開発、タンパク質やペプチドの調製、さらには動物を用いた薬物動態や毒性病理実験までの創薬プロセスを理解し遂行できる確かな知識と技術を学びます。

特定学域生向け副専攻

食生産科学

※生命環境科学域の一部の学類・課程学生対象

植物バイオサイエンス課程と獣医学類が共同で行う教育プログラムです。畜産物・農産物の生産から加工、流通、消費までの一連のプロセスを段階的に学び、食の安全・安心に貢献できる専門技術者の養成を目的としています。各課程・学類が提供する関連科目に加えて、学外の専門家による講義と現場での見学・体験を実施し、フードチェーンにおける各段階での「食の安全」を担保する仕組みや取組みについて理解を深めます。

植物工場科学

※工学域・生命環境科学域の一部学類・課程学生対象

生命環境科学領域の「植物工場科学」、「植物環境調節学」、工学領域の「バイオプロダクション工学」、「生産システム工学」などの講義科目に加えて「植物工場実習」と「植物工場科学演習」の実習・演習科目を履修し、植物工場に関する専門知識と技術を身につけます。

詳しくは P.48

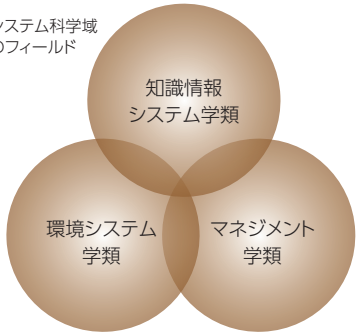
現代システム科学域

College of Sustainable System Sciences

知識情報・環境・マネジメントの知識を融合させて、持続可能社会の実現をリードする人材を育みます。

私たちの社会を資源やエネルギーだけでなく、人という観点からも持続可能なかたちに変えていく、それが現代の課題です。現代システム科学域は、この課題に取り組む人を育てるため、3つの学類を用意しました。人と情報ネットワークの明日を構築する、知識情報システム学類。自然と人が共存するための環境を創造する、環境システム学類。社会の新しいあり方を模索する、マネジメント学類。それぞれの専門分野を中心に、知識科学、情報システム工学、環境科学、現代思想、心理学、経済学、経営学、生産システム科学などの複数の分野を組み合わせて学び、さまざまな分野の「つながり」について理解を深めます。さらに、学んだ知識を適切に活用する力を磨いていくことによって、さまざまな方向から問題にアプローチする力を身につけます。それが私たちの考える「システム的思考力」です。このシステム的思考力が現代の課題を解決するために必要とされているのです。

■現代システム科学域
学びのフィールド



次世代のシステムテクノロジーと
多分野の専門知識を融合させ、未来のサービスを創造します

知識情報システム学類

インターネットやコンピュータなど情報通信テクノロジーについて学ぶとともに、知識科学、情報システム工学をベースにして、環境科学、社会科学、経済・経営科学、材料情報科学、保健・医療、教育など幅広い分野の専門知識を学修します。情報システムと社会システムを融合させ、サービスを科学的に捉え、革新的な情報システムを創出できる力を育みます。

P.07

自然・社会・人間に関わる分野を横断的に学びながら
現代の環境に関する課題解決に取り組みます

環境システム学類

地球温暖化などの自然環境の問題、貧困や宗教対立などの社会環境の問題、こころの問題などの人間環境の問題といった、現代の多様な問題に対し、自然・社会・人間を対象とするさまざまな学問を融合させ、多面的なアプローチで解決へと導く力を育みます。本学類は「環境共生科学課程」「社会共生科学課程」「人間環境科学課程」の3つの課程を設置しており、課程配属は2年次後期です。

P.10

多様な学問領域の相乗効果により
システム的思考力とマネジメント力を修得します

マネジメント学類

少子高齢化や経済のグローバル化、地方分権化などの現代社会の大きな変化に対し、経済学、経営学、法学、経済データサイエンス、会計学、生産システム科学という、これまでの学問領域を超えた融合的な学びを展開し、これからの経済社会の発展に貢献できる実践的・創造的能力を育みます。本学類は「マネジメント課程」「経済データサイエンス課程」の2つの課程を設置しており、課程配属は2年次前期です。

P.16

point pick up

- 1年次に各学類の基礎となる「学域共通科目」を配置し、持続可能な社会の実現のために必要となる各学類の学びの基礎を共通して身につけます。
- 2年次以降は、演習の授業を継続的に配置。これにより、学んだ知識を結びつけ、有効に生かすための実践力・応用力を養うことができます。
- 現代システム科学域の海外インターンシッププログラムでは、現地でミニプロジェクト型学習を行ったり、現地の大学生などと交流を行います。
- 「他学類専門科目」は他の学類の専門科目を系統的に学習できるように科目を配置しているもので、自分の学類の専門的知識を身につけたうえで、他の学類の視点・知識を獲得することができます。
- 学類を決めての受験だけでなく、学域で受験し、2年次から学類を選択するフレキシブルな学び方も可能です。

サステイナブルな社会を築く 次世代のリーダーを育成します。

現代システム科学域長
大塚 耕司

Profile
博士（工学）
専門分野は海洋環境学、海洋資源工学。沿岸域環境について、現地調査、実験、数値シミュレーションを組み合わせて研究している。

現代社会の問題を俯瞰的に捉え、持続可能（サステイナブル）な社会を創る人を育てたい。現代システム科学域では、そう考えます。

現代社会にはさまざまな問題が存在します。高齢化社会対応や子育て支援などは身近な課題ですが、その解決を妨げる要因の一つが格差です。一方、世界では、宗教・思想の対立によるテロ事件が毎日のように起きており、その背景には富の集中と貧困、さらに根本には人口爆発による資源枯渇があります。

このような問題に立ち向かい、持続可能（サステイナブル）な社会を創ることのできる人とはどのような人なのでしょうか。まず、現代社会の問題を個々の事象だけで捉えるのではなく、自然と人間との複雑な関係をさまざまな側面から理解し、全体としてどのように変化しているのかを俯瞰的に捉えることができなければなりません。また、世界中の飢えや貧困をなくし、すべての人々の尊厳が守られる社会を作っていきたいという高い倫理観と使命感を持っていることも必要でしょう。

そのような人を育てたいと現代システム科学域では考えています。もちろんこれだけの力をつけるには、幅広い分野の知識を学び、多くの実践経験を積む必要があり、卒業までも楽な道のりではありません。それでも果敢にチャレンジしたいと思う人は、ぜひ現代システム科学域で学んでください。そして、同じ志を持っている私たち教職員と一緒に、サステイナブルな社会を築いていきましょう。

知識情報システム学類 School of Knowledge and Information Systems

インターネットや携帯電話などの情報システムは、私たちのくらしを便利に、そして快適にしてくれます。一方で、現代社会は複雑化・多様化が進み、一分野の専門知識だけでは解決できない問題が各所で生じています。
「知識情報システム学類」は、最先端の知識科学と情報システム工学の基礎を身につけ、さらに環境科学、社会科学、経済・経営科学、材料情報科学、保健・医療、教育などの複数の専門分野の知識を修得し、これらの知識と技術を駆使して、問題解決のための新しいシステムや未来のサービスを生み出せる人材を育成することを目標にしています。

履修モデル(履修の一例)

	情報・環境・マネジメントの3分野を学ぶ	知識科学、情報システム工学の基礎を固める	各学問領域で専門性を高めていく			
	学域共通科目 他学類専門科目	専門基礎科目 学類専門科目	学類専門科目			
1年次	●サステイナビリティ入門 ●社会システムとサステイナビリティ ●共生文化論入門 ●法律学入門	●解析学基礎Ⅰ・Ⅱ ●統計学基礎Ⅰ・Ⅱ ●物理学A・B ●プログラミング入門 ●情報基礎				
2年次	●認知科学Ⅰ ●国際法と共生社会	●線形代数Ⅰ・Ⅱ ●フーリエ解析 ●数値解析 ●コンピュータアーキテクチャ ●情報ネットワーク ●データベースと情報検索 ●アルゴリズムとデータ構造 ●マルチメディア情報処理 ●情報セキュリティ ●情報システム構成論 ●知識情報システム学演習Ⅰ・Ⅱ	情報ネットワーク系 ●プログラミング言語概論 ●オペレーティングシステム ●知識情報システムの企画・計画 ●プログラミング実践 ●オペレーションズ・リサーチ	人工知能系 ●知識科学概論 ●教育情報学 ●プログラミング実践 ●材料情報科学	社会科学系 ●情報技術と企業活動 ●情報システム評価 ●計量経済学Ⅰ・Ⅱ ●ゲーム理論 ●メカニズムデザイン	ヘルスケア系 ●ヘルスケアシステム ●ヘルスケアサービス
			●知識情報システム学海外インターンシップ			
3・4年次	●認知科学Ⅱ	●知識情報システムの開発・運営 ●知識情報システム学演習Ⅲ・Ⅳ	●ソフトウェア工学 ●オートマトンと形式言語 ●Webサービスデザイン ●人工知能 ●機械学習 ●知覚情報処理 ●計算知能	●人工知能 ●機械学習 ●知識モデリング ●自然言語処理 ●ヒューマンコンピュータインタラクション ●教育情報システム ●教育・学習の理論と設計	●マーケティング・サイエンス ●意思決定論 ●データマイニング ●経営情報分析 ●経済統計Ⅰ・Ⅱ	●ヘルスプロモーション ●ヘルスケアインターンシップ
			●知識情報システム学インターンシップ ●知識情報システム学特別講義	●知識情報システム学英語演習	●知識情報システム学卒業研究	

ピックアップ講義

資格・受験資格

■高等学校教諭一種免許状(情報)

想定される進路

■情報通信業や病院などの公的機関の情報システム部門
■サービス業、メーカー、商社など各種企業
■高等学校教員
■公務員
■大学院への進学　など

研究テーマ

現代社会の問題を解決するヒントがここに。
知識情報システム学類の最前線研究テーマ。

保健・医療や看護サービスの質向上

知識情報システム学類
真嶋 由貴惠教授　　桝田 聖子准教授

保健・医療・看護とICTや先端技術を組み合せ、新しいサービスの仕組みやシステムを研究

保健医療や看護サービスの質を向上させるためのICTや先端技術の活用について研究をしています。例えば、ベテランの看護師の持つ暗黙的な看護技術（注射の仕方等）を分析し、効率的に学習できるシステムや、人型ロボットを活用した認知症予防教育や高齢者見守りシステムなどの開発を行っています。

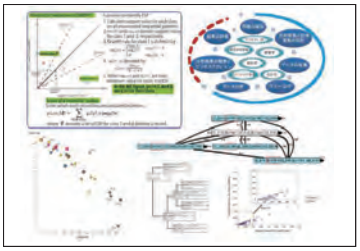
教員からのひとこと　多様な状況、環境、立場の方々から、それぞれの考えを尊重して聴く姿勢を培ってください。

経営問題への科学的アプローチ

知識情報システム学類
森田 裕之教授

企業経営におけるデータマイニングに関する研究。

ビッグデータと呼ばれる多様で大量のデータを活用できる環境が整ってきています。企業経営におけるさまざまな問題を解決するために、これらのデータを適切にマイニングするための手法を開発し、実際に活用するための研究を行っています。



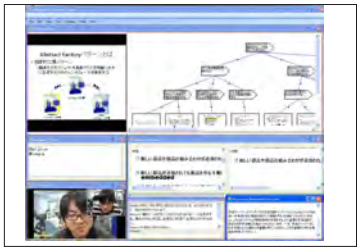
教員からのひとこと　広い視野から独自の問題意識を持ち、データ分析を活用して、現実の問題に答えを見つけ出せる能力を修得しましょう。

学習支援システムの開発

知識情報システム学類
瀬田 和久教授

ヒトの知的活動を活性化するシステムについて研究。

ヒトが本来持っている能力を引き出し、高めることを支援するソフトウェアの開発を行っています。プレゼンテーションを通じて学びへの内省活動を活性化することで「無知の知」を促し、「真摯に持続的に学習する能力」の育成を支援するシステムは、私たちが取り組んでいる研究の一例です。



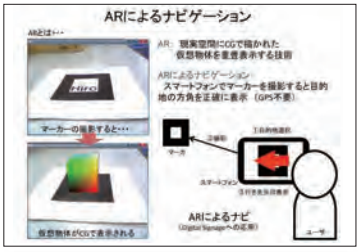
教員からのひとこと　「ヒトをわかる」「ヒトに役立つ」の両立が、この研究のモットー。もっと賢くなれるのか？ を掘り下げています。

モバイルコンピューティング

知識情報システム学類
太田 正哉教授

地下街やGPSの電波が届きにくい場所で役立つWebサービスの開発を研究。

携帯電話やスマートフォンのためのアプリケーションや、新しいWebサービスの開発に取り組んでいます。例えば現実空間にCGで描かれた仮想物体を重ねて表示するARという技術をスマートフォンに搭載して、行きたい方向を正確に表示するナビゲーションシステムを開発しています。



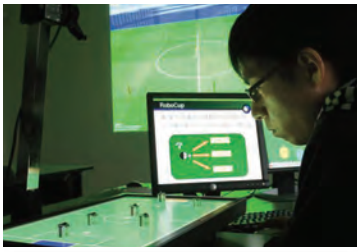
教員からのひとこと　情報通信技術や情報システムなどの情報技術を組み合わせ、未踏の分野を開拓できる能力を身につけてください。

サッカーエージェントの知能化

知識情報システム学類
中島 智晴教授

コンピュータが自ら学習し、賢くなっていく知的システムを開発。

自律的に行動をとるサッカーエージェントを開発して、「2050年までにロボットのサッカーチームが人間のチャンピオンに勝利する」プロジェクトである、「RoboCup」のロボットの頭脳として採用されるべきシステムを開発しています。これらは、人間が従来行っていた作業の自動化に繋がります。



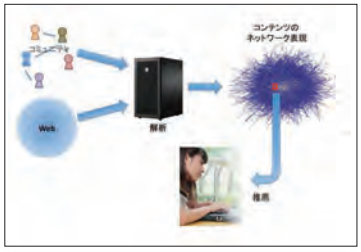
教員からのひとこと　自由な発想とアイデアを形にする楽しみを感じてください。また、グループ活動を通して人の輪を広げてください。

情報発見に関する研究

知識情報システム学類
柳本 豪一准教授

大量のデータから効率よく情報を発見し、新しいデータを解析できる手法を開発。

最近はTwitterやFacebookが話題になっています。これらのソーシャルメディアでは、予想外で有益な情報が見つかりやすいため、今までは見つけにくかった情報が見つけやすいのではと期待されています。私のグループではコミュニティを考慮した情報発見を行っています。



教員からのひとこと　情報検索等が苦手な人にとっても必要な情報を得やすくなるような、研究を行っています。

学類詳細はP.7から

知識情報システム学類

Topics

これが「知情」のチカラ！　－教科書販売支援システムの開発－

2015年4月から、本学類の学生有志が開発した教科書販売システムが大阪府立大学生協で利用されています。このシステムでは、教科書の注文書を事前にWebで作成することができます。教科書販売会場で注文書を書く時の混雑を緩和したいと学生有志が提案し、本学類の教員の助言を受けながら大学生協のニーズをくんで開発しました。開発した学生が卒業した後は、本学類の後輩たちがメンテナンスを引き継いでいます。

全文はWEBから

ロボカップ2018世界大会にて昨年に続き２連勝

＊ロボカップは、人の操作によって動くロボットではなく、自ら動く自律移動型ロボットによる競技会です。本学は2002年から参加しています。

2018年6月にカナダ・モントリオール国際会議場で開催されたロボカップ世界大会において、知識情報システム学類出身の院生が参加するチーム「HELIOS2018」がサッカーシミュレーション２Dリーグ部門で優勝しました。参加学生のコメント：前回の大会で優勝を勝ち取ることができた分、2連覇へのプレッシャーは大きかったです。多くのチームが対HELIOS用の戦略を練ってくることが予想され、厳しい戦いを想定した開発を進めていました。指導教員のコメント：学生のみなさんがたくさんの時間と労力を注ぎ込んできたことが最高の結果につながりました。

全文はWEBから

ラーニング・イノベーショングランプリ2018で優秀賞受賞

2018年7月に開催されたLearning Innovation Grand Prix (LIGP)2018の最終審査にて、本学類の学生が参加するチーム「チームCEWill」が優秀ラーニングイノベーション賞を受賞しました。

本研究グループでは、ヒトの知的活動を活性化したり、潜在的な能力や意欲を引き出すAIの研究を行っています。受賞研究では、多くの日本人が苦手とする第2言語（英語）による会話意欲を高めるアニメーション・エージェントを開発しました。英語で話す学習者の不安を軽減し、やる気と自信を高めるようエージェントが励まし、助け、理解し合おうとすることを可能とする会話戦略のモデルといった提案の新規性・実用可能性が評価されました。

＊ラーニング・イノベーショングランプリは、これまでにない学習・教育方法やスタイル、革新的なラーニングテクノロジーを発掘し、新たな学習・教育環境を提案することを目的とした競技会です。

全文はWEBから

Topics

環境システム学類

学類詳細はP.11から

南極は不思議がいっぱい！／環境共生科学課程　竹中 規訓 教授

約20年前から抱き続けてきた夢がようやく叶って、研究室の大学院生とともに研究調査で南極へ。夏の南極は予想よりも暖かく、調査をした海岸から100km 弱離れたH128地点では−5 ～ −20 度程度の気温でした。基地も小屋もない場所（もちろん風呂も快適なトイレもなし）で 7 人の共同生活を行うため、雪上車の運転、食事の支度など、全て交代制の自力でした。360 度雪平線の中、沈まない太陽、きれいな夕日や雲など、とても印象的な景色を見ながら、雪と大気の間の物質交換やエアロゾルについて調査を行いました。

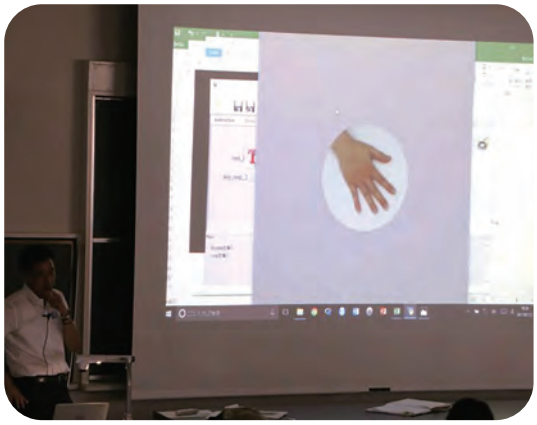
全文はWEBから

海賊ユートピア「社会構想の文化史」（社会学）レポート／社会共生科学課程　酒井 隆史 教授

海賊研究が進み、私たちがイメージするジョリー・ロジャーの旗印のもと「死」を笑い飛ばす陽気な無法者の海賊は、社会から逃げた人たちが理想的な社会を築こうと、一度だけの「生」を短く太く生きがいのあるものに輝かせようとした営みであったことが明らかになりつつあります。不安定な時代に生まれたものがその後、人間の心に取り付いてやまないことは、よくあります。それは社会の何かが固まる前の「夢」のようなものを体現しているからです。

全文はWEBから

認知プロセスにおける身体の役割は想像以上に大きい／人間環境科学課程　岡本 真彦 教授



ジェスチャーは身振りを使って“想い”を伝える行為です。小児や幼児は未成熟な言語能力を補うために、ジェスチャーによる意思伝達を行うとされています。6歳以上の子の大半が「イメージされた道具」をジェスチャーで使うのに対して、3歳児だと身体の一部を道具に見立てる「body part gesture」を行います。意識的認知を身体が代わって行うということ、ジェスチャーで身振りを使うことは“意思伝達の補助”にとどまらず、認知や思考そのものと深く関わっていると考えられます。人間の認知プロセスにおける身体の役割は、想像以上に大きいのです。

全文はWEBから

環境システム学類
School of Environmental System Sciences

環境共生科学課程 Environmental Symbiosis ／ 社会共生科学課程 Human Coexistence ／ 人間環境科学課程 Human Environment

自然・社会・人間が共生するシステムを考える

たとえば、日本のエネルギー問題は、科学技術だけで解決できるでしょうか？　日本の優れた技術を活かすには、新たなエネルギーによる自然環境への影響の評価、普及を促進する法津などの社会制度の検討、地域に暮らす人々への理解が必要です。これら自然環境・社会環境・人間環境の問題を互いに関連付けて考えることが現代社会には必要です。ほかにも、企業活動や人の動きのグローバル化など、現代には、自然・社会・人間についての科学が、手を取り合って取り組まなければならない課題が多くあります。そこで、環境システム学類では、現代の様々な環境問題に対応するために、３つの課程を設置し、各課程で専門性を養いつつ、課程の枠を超えた学修が可能なカリキュラムを用意しました。

環境システム学類では、１年次において学域・学類共通科目である各課程の入門科目を履修し、領域横断的な視点を形成します。２年次以降は各課程に配属し、それぞれの課程で専門性を深めつつも、他の課程の研究を幅広く学修できます。

履修モデル（履修の一例）

	環境・マネジメント・情報の3分野を学ぶ	3課程の基礎を固める	各課程で専門性を高めていく		
	専門基礎科目 学域共通科目 他学類専門科目	学類基盤科目	環境共生科学課程 専門科目	社会共生科学課程 専門科目	人間環境科学課程 専門科目
1年次	●基礎数学Ⅰ ●基礎数学Ⅱ ●サステイナビリティ入門 ●社会システムとサステイナビリティ ●法律学入門 ●共生文化論入門	●環境共生科学入門 ●社会共生科学入門Ⅰ ●人間環境科学入門Ⅰ			
			経過選択制による課程配属（2年次後期より）		
2年次	●統計学基礎Ⅰ ●統計学基礎Ⅱ ●国際法と共生社会	●社会共生科学入門Ⅱ ●人間環境科学入門Ⅱ ●地球環境学 ●環境生物学 ●環境哲学・倫理学 ●環境システム学演習Ⅰ ●環境システム学演習Ⅱ	環境共生科学課程 ●地球環境の化学 ●地域・都市環境学 ●文化と共生 ●文化と景観 ●海洋環境生態学 ●陸域環境生態学 ●公衆衛生学Ⅰ ●公衆衛生学Ⅱ	社会共生科学課程 ●現代の言語環境 ●ディスコースと社会 ●共生社会と宗教 ●共生社会とアイデンティティ ●社会構想の文化史 ●都市文化論	人間環境科学課程 ●認知科学Ⅰ ●対人環境の認知 ●臨床心理学概論 ●心理療法論 ●環境心理学 ●心理発達と環境 ●人間環境科学演習Ⅰ
3・4年次	●情報セキュリティ ●経営管理Ⅰ ●マーケティング・サイエンス ●環境経済学A	●環境システム学演習Ⅲ ●環境システム学演習Ⅳ	●環境アセスメント学Ⅰ ●環境アセスメント学Ⅱ ●環境政策学 ●食品安全論 ●環境計画学 ●環境計測学 ●再生可能エネルギー学 ●環境再生の化学 ●海域環境再生学 ●陸域環境再生学 ●環境再生学	●環境哲学と現代社会 ●言語表現と世界認識 ●言語の社会システム ●現代の社会問題と社会運動 ●公共性の社会学 ●個人創造の思想史 ●都市と経済の地理学	●認知科学Ⅱ ●認知情報処理 ●組織環境と行動 ●身体と心理臨床 ●心の病理学 ●心理検査法 ●人間環境科学演習Ⅱ ●文化心理学 ●ヒトと住環境

ピックアップ講義

環境共生科学課程

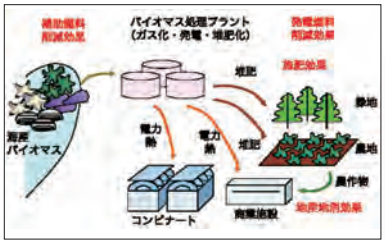
研究テーマ

海産バイオマスによる環境再生

環境システム学類　環境共生科学課程
大塚 耕司教授

海洋環境の改善を、生物の取り上げ・再利用という手法でアプローチ。

陸から過剰な栄養物質が流入している大阪湾奥の閉鎖性海域を対象として研究。海藻など季節的に大発生する生物（海産バイオマス）を取り上げ、メタンガスや堆肥などの原料として利用し、海域環境を改善すると同時に、化石燃料消費の少ない都市を築く研究を行っています。



教員からのひとこと

バイオマスを有効利用することで、化石燃料の消費が抑制でき、さらに低炭素社会の貢献に繋がります。

エチオピア農牧社会の研究

環境システム学類　環境共生科学課程
宮脇 幸生教授

エチオピア西南部の農牧民の生存戦略と社会の変容を研究。

エチオピア西南部の農牧民社会は、一見して伝統的な姿を保っていますが、実際にはそれは国家支配やグローバル経済の浸透に抗して形成・維持されてきたものです。私はこの地域の農牧民が、どのような歴史をにない、それを自らのアイデンティティにどのように統合し、社会を維持してきたのか、またその社会がどのように変容しつつあるのかを研究しています。

教員からのひとこと

異文化研究は、刺激に満ちた研究です。フィールドでは、そこにいる他者だけでなく、自分が何かということも考えさせられます。

社会共生科学課程

研究テーマ

宗教から社会を理解する

環境システム学類　社会共生科学課程
秋庭 裕教授

欧米における日本宗教の展開を研究。

ここで言う「宗教」とは、特定の宗教・宗派・教団ではありません。古今東西人類は、なぜ、神や聖なるものを祀り崇めてきたのか。宗教なるものは、「社会」的なるものの凝集体、エッセンスなのです。社会という人間の集団は「それ」がなければ成り立たない。社会の「秘密」なのです。

教員からのひとこと

ヒトと会うのが基本の研究スタイル。五感をフルに働かせて初めて分かることがたくさんあります。

日本語生活の今を可視化する

環境システム学類　社会共生科学課程
西尾 純二教授

ことばはその意味以上に、人・地域・社会・時代を語る。

ことばは地域社会の合意を得ながらゆっくり形成され、変化します。ことば以外に地域全体で築きあげる人工物はそうないでしょう。ことばの形成プロセスには地域の歴史、人々の生活観が練りこまれています。だからこそ、自他のことばを理解したい。今、そこにあることばには、どんな背景があるのか。地道な調査・データ収集から解きほぐします。

教員からのひとこと

私たちは、いつの間にか特定の言語環境に影響を受けて思考・行動しています。じっくり言語環境を観察しましょう。

人間環境科学課程

研究テーマ

建築・都市環境に関する研究

環境システム学類　人間環境科学課程
飛田 国人准教授

居住者の行動や価値観など、人の知覚・行動を考慮した人と環境の関係を研究。

人に望ましい温度、光、音、においは、どのようなものなのか。また、環境負荷を小さくするには、環境をどうコントロールし、人はどう暮らすべきなのか。建物内や都市における実態調査・実験・数値シミュレーションを行い、人にも環境にも望ましい空間について研究しています。

教員からのひとこと

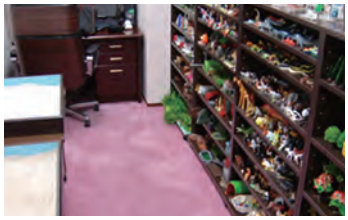
データや理論に基づく論理的な思考をする中で、心の中に芽生える根拠のない違和感を大切にしてください。

心理療法での心の動き

環境システム学類　人間環境科学課程
川原 稔久教授

心理療法での心の動きをイメージや身体を手がかりにして研究。

心理療法とは表現を通して心の動きを自覚する営みです。そのなかで、絵を描いたり、夢を見たり、箱庭を置いたりするときに、心の動きに気づくという現象があります。このような、言葉以前のイメージやからだの感じを手がかりに心の動きを自覚する現象を、主に事例研究という方法で研究しています。



教員からのひとこと

直感的なイメージやからだの感じが、生きることへの智恵に関わると感じています。

環境共生科学課程

自然環境科学分野の専門知識・技術の修得を中心に学修し、生態系の中で、人が共生するシステムについて考えます。

生態系という共生のシステムは、海、山はもちろん、砂漠にさえ存在しています。それらの自然環境の上に、人間は都市を築いてきました。そして、私たちの都市生活は、人間を含む生態系にいくつもの問題を引き起こしています。これらの問題を解決するために、環境共生科学課程では自然のシステムを理解し、自然環境の中で人間が共生するシステムについて考えます。具体的には、1年次において学域・学類共通科目である各課程の入門科目を履修し、領域横断的な視点を形成。2年次には、「海洋・陸域環境生態学」や「環境政策学」、「環境社会学」を学修し、学際的な知識や方法論を修得します。さらに、「異文化の理解」や「文化と共生」、「文化と景観」などの文系的科目と「公衆衛生学」や「地球環境の化学」、「地域・都市環境学」といった理系科目をバランス良く履修。3年次からは、「環境アセスメント学」や「環境再生学」など、より専門性を高めていきます。これらにより複数分野の方法論を理解し、実際の環境問題に対応できる能力を養います。

資格・受験資格

- ■中学校教諭一種免許状（社会）
- ■高等学校教諭一種免許状（公民）
- ■日本緑化センター認定　自然再生士補

想定される進路

- ■サービス業
- ■金融業
- ■情報通信業
- ■公務員
- ■中学・高等学校教員
- ■大学院への進学

社会共生科学課程

異なる価値観を持った人々を理解し、他を抑圧することなく共生できる社会環境を構築するための実践知を探究します。

生活様式や生命観、対人関係のあり方について、自分と異なる価値観を尊重し、ともに生きるためのコミュニケーション能力を身につけることが、これから社会で生きる一人ひとりに必要です。このような能力を磨き、幸福感を持てる社会環境を構築するため、本課程では、多様な思想のあり方、社会問題、コミュニケーションやそのツールである言語についての理解を深めます。具体的には社会現象を共生思想の視点から解明する科目「共生社会と宗教」「環境哲学と現代社会」を配置。

また、社会システムの視点からアプローチする「共生社会とアイデンティティ」「都市文化論」「公共性の社会学」やコミュニケーションの視点からアプローチする「言語表現と世界認識」「ディスコースと社会」などをバランス良く配置しており、人間社会が引き起こした社会問題をさまざまな角度から理解し、問題解決への道筋を学修していきます。また、プロジェクト遂行型の演習を実施し、実践力を積極的に養っていきます。

資格・受験資格

- ■中学校教諭一種免許状(社会)
- ■高等学校教諭一種免許状(公民)
- ■日本緑化センター認定　自然再生士補

想定される進路

- ■サービス業
- ■金融業
- ■情報通信業
- ■公務員
- ■中学・高等学校教員
- ■大学院への進学

人間環境科学課程

認知科学・心理学・臨床心理学などの専門的視点から、人間と環境にまつわる根本的問題を鋭く分析し、調和を生む環境システムの実現をめざします。

「人間とは何か?」「環境とは何か?」「人間と環境との望ましい関係は?」このような根本的問題を考えるひとつの手がかりとして、環境を認知する「人間の心の働き」を学ぶという方法があります。本課程では認知科学・心理学・臨床心理学などの多様な専門的視点から、「人間の心の働き」を探究する科目を開講しています。「認知科学Ⅰ・Ⅱ」「環境心理学」「対人環境の認知」「臨床心理学概論」といった認知科学・環境心理学・社会心理学・臨床心理学を専門科目として履修し、学問的基盤を形成します。そのうえで、「人間環境科学演習Ⅰ・Ⅱ」「心理検査法」「心の病理学」「文化心理学」などの科目を通して、認知科学・心理学・臨床心理学をはじめとした幅広い心理学領域を履修します。実験や心理検査といった体験的理解を大切にし、それぞれの専門的視点を深めていきます。このような学修を通じて、人間の真のあり方が実現される環境システムを実践的に構築できる力を養成します。なお、本課程のカリキュラムは「公認心理師」受験資格のための指定科目に対応しています。

資格・受験資格

■中学校教諭一種免許状(社会)
■高等学校教諭一種免許状(公民)
■日本緑化センター認定　自然再生士補
■公認心理師

想定される進路

■サービス業
■情報通信業
■中学・高等学校教員
■金融業
■公務員
■大学院への進学

Topics マネジメント学類

学類詳細はP.17から

公認会計士という職業に出会い その夢を掴むことができました！／岩井萌さん（2016年度卒業）

「こういう仕事がしたい！」と思える職業が見つかりませんでしたが、簿記の授業が面白く「公認会計士になりたい！」と思うようになりました。1年生の12月から3年生の8月頃まで勉強漬けの日々。初めての一人暮らしで勉強と家事の両立は本当に大変でしたが、その甲斐もあり、目標通り3年生で公認会計士試験に合格し、早期卒業した後、4月から、監査法人で働いています。

全文はWEBから

※マネジメント学類では、2014年以降5年連続で在学中に公認会計士試験に合格する現役合格者を輩出しました。

新課程「経済データサイエンス課程」を語る

経済データサイエンス課程は、ビッグデータの分析ができる人材の育成が、社会のあらゆる分野で強く求められていることに対応して新設されました。経済データ分析は、何かを与えた時に何が起こるのかということを見極める学問で、ビジネス、医療、年金、介護、金融、労働、教育など身近なあらゆる分野で活用できる興味深い学問です。身近なニュースをデータサイエンスで解明できると、この学問分野に関心が高まりますね。講義やゼミのなかで一緒に考えることができれば、学生にとって刺激になるのではないかと思っています。そういった展望を考えると本当にワクワクします。

全文はWEBから

グローバル特待生として国際的に活動 ／ 櫻井幸志さん（2017年度入学）

本学の第1期グローバル特待生※に選ばれました。これまでの留学経験を通して、外国の人々と信頼し合い協力して物事を行うためには、語学力以外にも、異文化を受容する寛容性、思いやりを持った人間性、主張する力などが必要であると実感しました。将来、会計の分野で国際的に活躍したいと考えていますので、グローバル特待生の制度を活用して、海外インターンシップの参加、留学生のサポートなど国際的な活動を行っていきます。

全文はWEBから

※グローバルリーダーとして必要な能力を伸ばすための奨学金および育成プログラムを受けられる制度です。

マネジメント学類 School of Management

マネジメント課程 Management ／ 経済データサイエンス課程 Economics and Data Science

皆さんはマネジメント（management）という言葉を聞いたことがありますか？ 日本語に訳すと「管理、経営、取り扱い、操縦」といった意味になります。経営者といった意味もありますが、経営者を表す言葉としてはマネジャー（manager）という言葉があります。どちらもmanage（経営する、うまく取り扱う、なんとかやり遂げる）という言葉から派生した言葉です。ですからマネジメントというのは、難しい問題、特に一人では達成できない大きな目標を何とかうまく成し遂げるという意味であり、マネジャーはそれを取りまとめる人ということになります。広く社会全体から、その構成要素である国、地方自治体、営利企業、非営利組織、家計、個人などのそれぞれ固有の問題も扱います。この点が「マネジメント学類」の大きな特徴です。

マネジメント学類では経済学、経営学、法学、経済データサイエンス、会計学、生産システム科学といった６つの学問領域を理論的、実践的に学びます。

履修モデル（履修の一例）

	マネジメント・情報・環境の基礎科目を学ぶ	マネジメント課程、経済データサイエンス課程の共通基盤科目を学ぶ	各課程で基盤となる科目を学ぶ（少人数ゼミナールなど）	各課程における専門科目を学ぶ		
	専門基礎科目 学域共通科目	学類基盤科目		学類発展科目		
1年次	●基礎数学Ⅰ・Ⅱ ●統計学基礎Ⅰ・Ⅱ ●サステイナビリティ入門 ●社会システムとサステイナビリティ ●法律学入門 ●共生文化論入門	●経営学入門 Ⅰ・Ⅱ ●会計学入門Ⅰ・Ⅱ ●ミクロ経済学入門Ⅰ・Ⅱ ●マクロ経済学入門 ●経済データサイエンス入門 ●経済学・経営学のための数学	●政治学 ●基礎ゼミナールⅠ			
				経過選択制による課程配属（2年次前期より）		
				マネジメント課程（※1）	経済データサイエンス課程（※2）	
2年次	●解析学基礎Ⅰ・Ⅱ（経済データサイエンス課程） ●線形代数Ⅰ・Ⅱ（経済データサイエンス課程） ●プログラミング入門（経済データサイエンス課程） ●国際法と共生社会	●日本経済史Ⅰ ●金融入門 ●経済政策入門 ●憲法Ⅰ・Ⅱ ●倫理学 ●民法入門・総則	●ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ ●マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ ●計量経済学Ⅰ ●生産システム科学 ●原価計算Ⅰ・Ⅱ ●経営管理Ⅰ・Ⅱ ●経済思想史 ●民法A ●基礎ゼミナールⅡ ●外書ゼミナール ●経済データサイエンス演習Ⅰ・Ⅱ	A経営・法律系科目	B経済系科目 ●計量経済学Ⅱ ●労働経済Ⅰ・Ⅱ ●ゲーム理論 ●メカニズムデザイン ●財政学A・B	C経済・経営系科目 ●マネジメント学インターンシップ
3・4年次	ピックアップ講義		●マネジメント学類演習Ⅰ ●マネジメント学類演習Ⅱ	●現代企業論 ●経営戦略 ●経営組織 ●人材マネジメント ●経営情報システムⅠ・Ⅱ ●財務管理 ●財務会計Ⅰ・Ⅱ ●管理会計Ⅰ・Ⅱ ●生産管理システム ●国際経営 ●民法B・C ●国際取引法 ●会社法Ⅰ・Ⅱ ●金融法 ●決済法 ●租税法A・B	●経済統計Ⅰ・Ⅱ ●金融 ●国際金融Ⅰ・Ⅱ ●国際貿易Ⅰ・Ⅱ ●日本経済史Ⅱ ●産業組織Ⅰ・Ⅱ ●地方財政Ⅰ・Ⅱ ●環境経済学A・B ●医療経済学	●マーケティング・サイエンス ●意思決定論 ●経済データマイニング ●経済データサイエンスのための情報分析 ●マーケティング戦略Ⅰ・Ⅱ

（※1）A、B、C合計で30単位以上修得、かつ、要件［Aを20単位以上、Bを6単位以上修得］を満たすこと。
（※2）A、B、C合計で30単位以上修得、かつ、要件［Bを20単位以上、Aを6単位以上修得］を満たすこと。

資格・受験資格

■高等学校教諭一種免許状（公民）

想定される進路

■金融・保険業、製造業、流通業、サービス業など各種企業
■公認会計士・税理士
■公務員
■大学院への進学

研究テーマ

雇用システムについての研究

マネジメント学類
野田 知彦教授

日本企業の雇用・人事システムの変遷をデータ分析。

グローバリゼーションやIT化の進展に伴って、日本企業の雇用システムはここ20年間で大きな変貌を遂げました。賃金制度は年功賃金から成果主義へ変化し、非正規雇用が増加しています。このような変化が我々の働き方や暮らしにどのような影響を与えているのか、また、どの様な雇用システムが企業と労働者にとって合理的なのか、といった問題をデータによって分析を行っています。

教員からのひとこと

企業の競争力の強化とワーク・ライフバランスの達成をどのように両立すればいいのか一緒に考えていきましょう。

天職感のマネジメントについての研究

マネジメント学類
上野山 達哉教授

ひとりひとりの仕事に対する使命感を組織の成果にどう繋げるかのデータにもとづく研究。

自分の仕事経歴にどの程度使命感を感じるかを示す概念として「天職感」があります。天職感には、仕事へのやる気や組織への愛着を高めるなどの好影響があります。他方で、天職感がある条件下になると、組織や仕事のモラルを守らない行動を導くこともわかりました。このような人材をどのようにマネジメントすべきかの研究を行っています。

教員からのひとこと

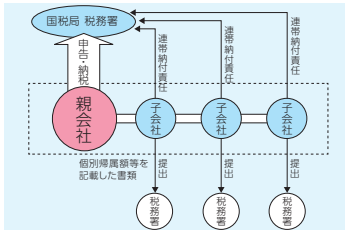
組織全体の問題を個人個人の問題、集団の問題とともにさまざまなレベルで考える能力を身につけましょう。

連結納税制度についての研究

マネジメント学類
酒井 貴子教授

わが国のグループ法人税制の発展へむけて、日本法と米国法を比較法的に研究。

連結納税制度は、親子会社で一緒に税金を計算することができる制度。例えば、子会社の持っている損失を使って、親会社の所得を低く抑え、税金を安くできる。この制度を濫用することで税金を逃れる、さまざまなスキームが仕組めてしまう…。それらをどう阻止できるか研究しています。



教員からのひとこと

税金について学び、一つの社会を見る目を養ってください。また、その知識を生かせる人材に成長してください。

医療経済に関する研究

マネジメント学類
牛 冰准教授

様々な個票データと経済学の分析手法を用いた健康・医療に関する研究。

日本における健康・医療に関する研究は、海外と比較し発展途上にあり、とりわけ実証研究の蓄積は少ない状況にあります。そうした中で、私は、国際的に注目される「メンタルヘルス」「医療の満足度」「医療の経済評価」などをテーマに、日本の最新データを用いた実証分析を行い、その研究成果を世界に発信することをめざしています。

教員からのひとこと

経済データ分析によって導き出された科学的根拠に基づいて、様々な政策提言について考えてみませんか。

経営者の裁量行動の動機解明に関する研究

マネジメント学類
小嶋 宏文准教授

会計数値を変えようとする経営者の裁量行動の動機解明を、統計的手法を用いて明らかにする研究。

会計数値はヒト・モノ・カネを動かし、特に利益数値は株価に影響を及ぼすことは広く知られています。しかしながら、その数値が実際にどのような意図をもって作成されているのかは外部から理解することは困難です。このような状況において、仮説検証を行うことにより経営者の数値を変更しようとする動機を明らかにする研究を行っています。

教員からのひとこと

就職活動をする際に会計数値を読み解く力は不可欠です。計算プロセスをしっかり身につけてください。

生産システムの開発と研究

マネジメント学類
岩村 幸治教授

最先端の技術を活用したグローバルな競争力を持つ生産システムの開発と研究。

グローバルな競争環境において、製品をライバル企業より早く・安く・高品質に生産するためには、効率の良い高度な生産システムが必要です。自律的な意思決定と行動を行うロボット型生産設備による生産システムの開発、生産システムの最適な計画を作成するための人工知能、数理計画法の活用方法などについて研究しています。

教員からのひとこと

「ものづくりはひとづくり」生産システムに関する開発・研究を通して、グローバルな競争力のある人材になりましょう。

マネジメント課程

社会が抱える諸課題の中で経済社会の発展に貢献する実践的マネジメント力を育成します。

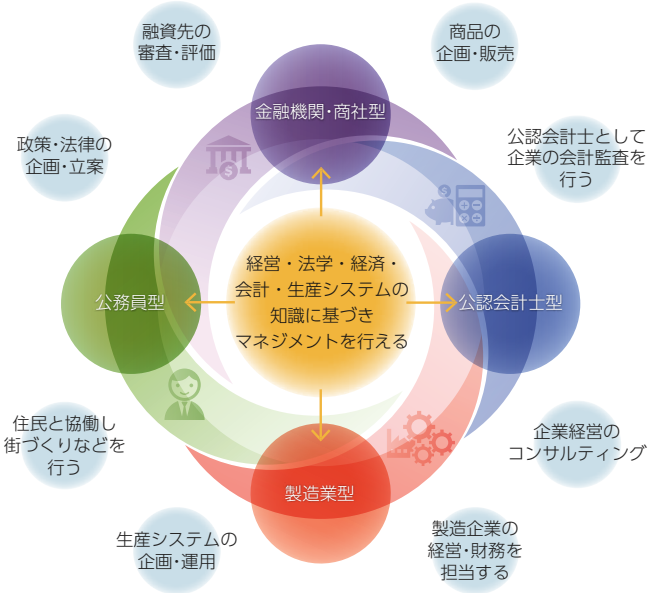
現代社会が抱える少子高齢化や環境問題など、持続可能な社会をめざすにあたっての諸課題は、われわれの生活や経済社会の担い手である企業を中心とした組織の経営にも大きな影響を与えます。これら経営を取り巻く諸課題の中で、企業などの組織をマネジメントするためには、経営学のほか、会計学、企業活動に関連する法学、経済学さらには日本企業の強みである、ものづくりのための生産システム科学といった専門知識の修得が必要となります。また、社会全体の視点から国、地方自治体、企業、家計、個人などもマネジメントの対象です。マネジメント課程では、これら学問領域を総合的に学ぶことによって、複合的なつながりの視点で課題解決に取り組むシステム的思考力を養い、グローバルで持続可能な経済社会を実現するための実践力を身につけます。

〈金融機関・商社型〉
経営学、経済学の知識をベースとして、金融機関・商社で活躍できる人材を育成

〈公認会計士型〉
経営学、会計学、法学の知識をベースとして、公認会計士や税理士として活躍できる人材を育成

〈製造業型〉
経営学、生産システムの知識をベースとして製造業で活躍できる人材を育成

〈公務員型〉
経営学、法学、経済学の知識をベースとして、公務員として活躍できる人材を育成



経済データサイエンス課程

経済学とデータ分析のコラボレーションで、新たな問題解決能力を養成します。

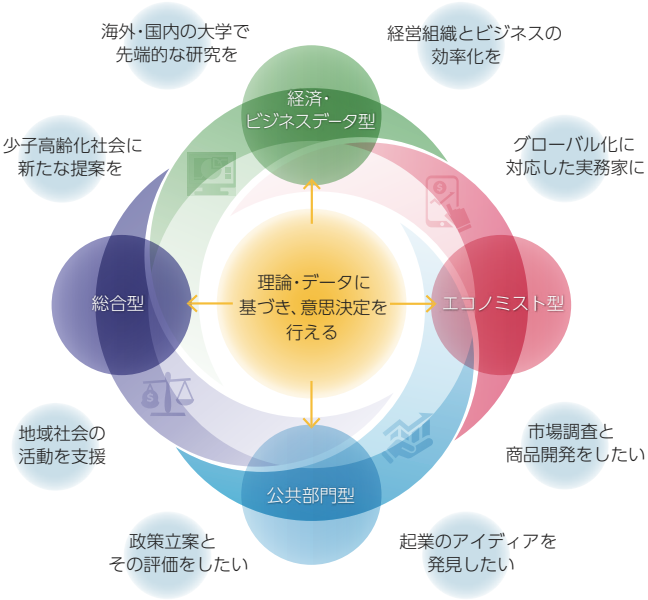
近年、金融、ビジネスや公共政策など、多くの領域で集められたデータが重視され、経済・経営の専門知識とデータ分析能力を併せ持った人材へのニーズが国際的に高まっています。例えば、「資産保有の戦略を立てる」、「購入パターンから顧客の嗜好を推測する」、「産業規制の効果を評価する」といった課題は、経済学とデータ分析の融合なしには解決できません。経済データサイエンス課程では、経済学と統計データから意思決定に役立つ情報を引き出す実践的なデータ分析を学びます。これにより、国際基準の経済学を駆使して多様な場面で問題解決に臨むエコノミストや、経済・ビジネスデータの新しい活用法を提案するデータの分析力と説明力をつけた人材を養成します。

〈経済・ビジネスデータ型〉
データに基づき、経済・ビジネスの問題を解決する人材を育成

〈エコノミスト型〉
最先端の経済学とデータ分析を駆使。実務・学術研究双方で国際的に活躍する人材を育成

〈公共部門型〉
財政制度・法制度の理論を踏まえ、データに基づく政策の立案と評価ができる人材を育成

〈総合型〉
経済学とデータ分析、経営学・会計学・法学・生産システム科学を学び、幅広い分野に適応できる人材を育成

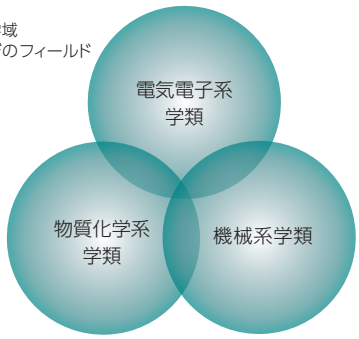


工学域
College of Engineering

各工学分野における高い専門性と幅広い教養を培い、世界の科学技術の発展を担う技術者・研究者を育てます。

工学域では、科学技術の発展の礎となる真理を探究し、新たな知を創造するだけでなく、それを新しい技術やシーズの開発といった現実の産業振興に生かすことを重んじています。学域内には、「電気電子系」「物質化学系」「機械系」の3つの学類と9課程を設置。各分野の専門知識を究めると同時に、自然や環境、社会、歴史、人間、文化についての知見と広い視野を養い、柔軟な発想で複雑に絡み合った現実の課題を解決できる実力を培います。豊かな創造力と人間性にあふれ、世界を舞台に科学技術の発展に貢献できる技術者・研究者を育てます。

■工学域
学びのフィールド



最先端の電気・電子、情報・通信、物理を学び、
21世紀の科学技術を支える基盤とシステムを開発する

電気電子系学類

21 世紀の科学技術の根幹をなす電気・電子、情報・通信、物理を学びます。電気・情報システムの仕組みを知り、設計、制御、運用を行う技術や、電子・光デバイス材料の物理を修得。高度情報社会の要請に応える能力を培います。

P.23

多様な物質の性質や化学プロセスを解き明かし、
新たな物質の創製、技術の創造に挑む

物質化学系学類

原子・分子や化合物の構造、化学反応の仕組みを知り、ミクロスケールで物質の成り立ちを学びます。新たな物質の創製につながる原子・分子の機能、化学のプロセスやシステム、材料という３つの視点から学び、高い専門性を身につけます。

P.29

21世紀の人と環境が共存・共生する最先端の
航空宇宙・海洋・機械システムをリードする

機械系学類

航空宇宙工学、海洋システム工学、機械工学の3つの先端工学分野を体系的に学びます。航空機、ロケット、宇宙往還機、人工衛星、次世代船舶、洋上プラットフォーム、海中ロボット、海洋資源利用／環境保全、マイクロマシン、高機能ロボット、環境にやさしい次世代自動車、植物工場などの研究・開発に必要な専門知識を身につけます。

P.35

point pick up

- 基礎学力の育成に重きを置き、幅広い教養から専門知識までを系統的・段階的に学ぶ
  柔軟な進路選択を可能にするため、あらゆる工学分野に共通する基礎を育んだ土台の上に、系統的・段階的に専門性を高めていくカリキュラムを編成しています。
- 工学の専門領域のみならず幅広い教養と国際性、豊かな人間性と倫理観を培う
  専門性を生かす多様な視点と柔軟な思考力を養うため、教養科目を充実させています。また技術者・研究者として不可欠な高い倫理観や豊かな人間性を育む必修科目も用意しています。
- キャリア教育、インターンシップ、産学連携研究を通じて地域や社会に生かせる力を養成する
  企業や地域の中で力を発揮し、その発展に貢献できる人材育成、研究を重視しています。その一環として、「エンジニアのためのキャリアデザイン」などの科目を設置。また「工学域インターンシップ」を開講し、実際の企業や仕事を垣間見る機会も提供しています。

ものづくりを通して
あなたの夢をかたちに。

数学、物理、化学、生物の知識を基礎として、
新しい技術を創造し新たな原理を探求することで、
よりよい未来を創造する学問が「工学」です。

ライト兄弟が有人動力飛行に成功した1903年より2年前、街には馬車が走っていた1901年(明治34年)に、100年後の未来予想に関する記事が新聞に掲載されています。23項目の予言のうち、テレビ電話、新幹線、航空機、エネルギーの電気化、TVなど、予言のほとんどが的中しています。では、皆さんは100年後の未来をどのように想像しますか？

工学は「ものづくり」のための学問です。20世紀の工学は、日常生活を豊かにする様々な機器や材料を、大量に安価に効率良くつくることを追求し、その結果、著しい産業社会の発展をもたらしました。その一方で、環境破壊、地球温暖化、資源枯渇、急激な人口増加と食料危機といった地球規模の深刻な課題も発生しています。これからの工学は、新たな原理や技術を創造することはもちろんのこと、地球と人類の調和をめざし、持続可能な社会をつくるための工学でなければなりません。工学は、大学の新しい「知」を活用して、人々の持つ「夢をかたち」にし、より良い未来を創造する役割を担っています。

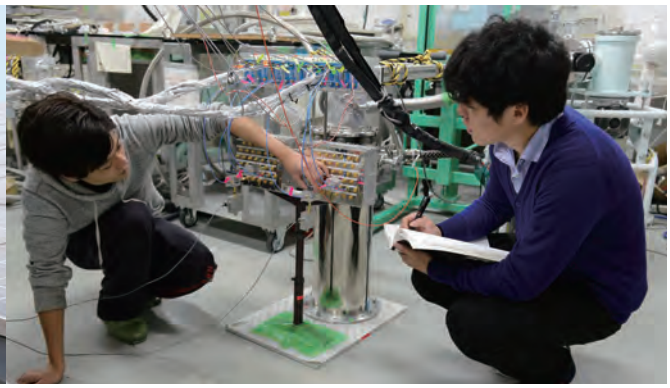
本学の工学域は、情報工学、電気電子システム工学、電子物理工学、応用化学、化学工学、マテリアル工学、航空宇宙工学、海洋システム工学および機械工学の9課程から構成されています。医療、創薬、ロボットなど、課程の名前からは想像できないようなユニークな研究も活発に行われています。皆さんの“夢をかたち”にできる理想にあった研究室が、本学域で必ず見つかるはずです。果敢なチャレンジを期待しています。

工学域長
綿野 哲

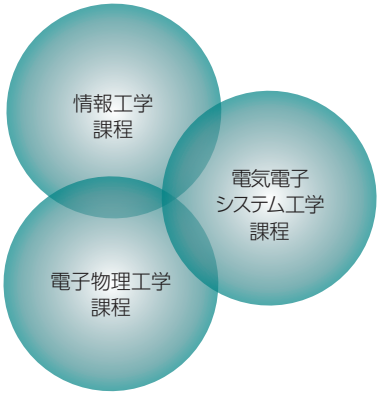
Profile
工学博士
専門分野は粉体工学、化学工学
粉体材料の設計を通じて、医薬品、化粧品、食品、全固体電池などの研究・開発を行っている。

電気電子系学類
School of Electrical and Electronic Engineering

情報工学課程 Computer Science ／ 電気電子システム工学課程 Electrical and Electronic Systems ／ 電子物理工学課程 Physics and Electronics



電気電子システム・情報システムから
電子デバイスまで、
物理学・電気工学・情報工学を駆使して
次世代の技術を追究し、
21 世紀の社会を築くヒトを育成します。



01 学びのフィールド

3つの専門課程で、電気・電子、情報・通信を学修。
知識と技術の修得だけでなく、現実社会の要請に応える能力を育む。

電気・電子、情報・通信は、現代社会を維持する上でなくてはならないテクノロジーです。電気電子系学類では「情報工学」「電気電子システム工学」「電子物理工学」の 3 つの課程を設置し、各々の視点から社会基盤を支える科学技術にアプローチします。ハード・ソフト両面から電子・情報システムを学び、自ら設計、制御、運用できる力を育成する情報工学課程、電気電子システム工学課程、電子デバイスの材料となる半導体や光、ナノ微粒子といった物理を追求し、実際の電子デバイスに応用できる力を育成する電子物理工学課程、いずれも高度情報社会の要請に応えられる実践力の養成を重視しています。

02 カリキュラムの特色

基礎から専門科目までを段階的、体系的に学べるよう一貫した教育体制を整備。
実験や演習、卒業研究といった実践的な学びも豊富に用意。

4年間を通して基礎から専門科目までを段階的、体系的に学べるよう一貫した教育体制を整えています。1・2 年次には、数学、物理学、情報科学の基礎学力を徹底的に養成。また学域共通科目を設定し、専門にとらわれることなく全員が情報、電気電子、電子物理の基礎知識と、幅広い教養を身につけます。3 年次以降は、実験や演習による実践的な学びを豊富に用意。少人数のグループでの実験や検証、レポート作成や発表にも取り組み、創造力や問題解決能力、プレゼンテーション能力を育みます。4 年次の卒業研究では、電気電子系学類で行われている最先端の研究から自らのテーマを選択できます。教員によるきめ細やかな指導により、研究の醍醐味を味わいながら、研究者・技術者としての基礎をしっかりと培います。

03 卒業後の進路

より高い専門性を育むべく、約 9 割が大学院へ進学。
卒業後は高度専門技術者・研究者として産業界の第一線で活躍。

履修モデル（履修の一例）

1年次

共通教育科目	●初年次ゼミナール　●外国語科目　●教養科目（人文社会科学系科目、自然科学・複合領域系科目）　●情報基礎科目　●健康スポーツ科学科目
専門基礎科目	●微積分学Ⅰ　●微積分学Ⅱ　●線形数学Ⅰ　●線形数学Ⅱ　●物理学AI　●物理学B　●物理学実験　●プログラミング入門
専門科目	●電気電子系学類総論Ⅰ　●電気電子系学類総論Ⅱ

経過選択制による課程配属（2年次前期より）

2年次

	情報工学課程	電気電子システム工学課程	電子物理工学課程
共通教育科目	●外国語科目　●教養科目（人文社会科学系科目、自然科学・複合領域系科目、教養展開科目）		
専門基礎科目	●代数学入門　●確率統計基礎Ⅰ　●常微分方程式　●フーリエ解析 ●複素解析　●数値解析　●ベクトル解析　●偏微分方程式　●幾何学入門　●応用物理実験		
専門科目	●離散数学 ●情報理論A ●論理演算工学 ●データ構造とアルゴリズム ●プログラミング言語概論 ●信号処理論 ●メディア情報処理 ●情報工学演習Ⅰ ●情報工学演習Ⅱ ●工学倫理 ●環境倫理	●電気数学 ●電気電子システムプログラミング ●電気電子システム工学基礎実験 ●電磁気学IA ●電磁気学ⅡA ●電気回路A ●電気回路B ●電子回路A ●オペレーションズリサーチ ●信号とシステム	●工学倫理 ●環境倫理 ●電気回路入門 ●電磁気学IB ●電磁気学ⅡB ●電子回路B ●統計物理学IA ●量子力学IA ●電気数学 ●解析力学A

3年次

共通教育科目	●教養科目（人文社会科学系科目、自然科学・複合領域系科目、教養展開科目）		
専門科目	●計算機アーキテクチャ ●ネットワーク工学 ●オートマトンと形式言語 ●ソフトウェア工学 ●システムプログラム ●計算知能 ●知覚情報処理 ●数理計画法 ●情報工学実験Ⅰ ●情報工学実験Ⅱ ●情報工学演習Ⅲ	●工学倫理 ●環境倫理 ●電気電子システム工学実験Ⅰ ●電気電子システム工学実験Ⅱ ●電気電子計測 ●電力工学 ●パワーエレクトロニクス ●システム最適化 ●制御工学IA ●情報理論B ●通信網工学 ●光波電子工学	●電子物理工学実験Ⅰ ●電子物理工学実験Ⅱ ●統計物理学ⅡA ●量子力学ⅡA ●結晶物理工学 ●電子物理計測 ●気体エレクトロニクス ●固体エレクトロニクス ●非線形力学 ●半導体エレクトロニクス ●光デバイス ●磁性・超伝導 ●量子デバイス ●集積回路デバイス ●パワーエレクトロニクス

4年次

共通教育科目	●教養科目（人文社会科学系科目、自然科学・複合領域系科目、教養展開科目）		
専門科目	●情報工学英語演習 ●情報工学卒業研究 ●情報工学特殊講義	●電気電子システム工学技術英語 ●電気電子システム工学卒業研究 ●電気応用設計および演習 ●通信工学特殊講義	●電子物理工学卒業研究 ●電子物理工学英語演習 ●ナノエレクトロニクス ●光エレクトロニクス

情報工学課程

人に優しく快適な情報化社会を創造する学問です。

スポーツ中継の分析や人の動きの追跡、文字・音声・画像などを対象としたマルチメディア情報処理技術の開発から、アルゴリズム設計、並列コンピューティング、ファジィ理論、さらには、データマイニング、進化シミュレーション、ネットワークシステム、情報推薦システムなど大規模システムの分析まで、快適で安全な高度情報化社会を切り開くために、国際的な視野で最先端の情報科学分野の教育・研究を行っています。

数理的思考に基づいた最先端のソフトとネットワーク技術で、インテリジェント社会を創造します。

近年コンピュータは飛躍的にその処理能力が高まり、社会のあらゆる部分にその影響を及ぼしています。そして複雑化する社会に対応するため、コンピュータの担うべき役割がますます重大なものになってきています。そのなかで、人に優しく安全で快適な情報化社会を実現するための知識と技術の修得を本課程では目的としています。知識情報処理システム、知能化システム、情報通信ネットワークシステムなど情報処理技術の飛躍的な発展は、社会構造と生活様式に革新的な変革を引き起こしつつあります。情報工学課程では、情報を高度に活用する技術を開発し、豊かな未来社会を築くため、ハードウェアの実現から、応用面にわたる情報処理技術に関する基礎的知識と、その応用能力を身につけ、幅広い人間性と倫理観を持った技術者・研究者の育成をめざします。また本課程では、数学・物理学ならびに情報理論、論理設計、信号処理など情報科学・情報工学に関する基礎学力を身につけ、これらの基礎の上に、データ構造とアルゴリズム、計算機アーキテクチャ、ソフトウェア工学、プログラミング言語、計算理論、ネットワーク工学などコンピュータに関する専門知識とシステム工学、数理計画法、メディア情報処理、知覚情報処理、計算知能、人工知能など情報処理応用技術に関する専門知識を修得し、創造性豊かで自ら課題探求のできる自立した技術者・研究者の育成を図っています。

資格・受験資格

■高等学校教諭一種免許状（情報）

想定される進路

■情報・通信、電気、電力、コンピュータ、自動車など各種企業　■教員　■公務員　■大学院への進学

電気電子システム工学課程

暮らしをもっと快適にする、次世代の電気情報技術の担い手になろう。

自然・社会環境に適応したエネルギーシステムやエコカー、人のように滑らかに動くロボット、あらゆる情報にいつでも・どこでも・だれでも瞬時にアクセスできる光・無線技術の融合された次世代ネットワークやマルチメディア応用システム、効率的に製品を生み出す生産システムなど、現在だけでなく未来にわたって快適な日常生活を支え、かつ、欠かすことのできない次世代革新技術を創出する分野の教育と研究に取り組んでいます。

綿密な理論と大胆な発想―ハードとソフトを自在にあやつる技術者・研究者の育成をめざして。

オフィスでも家庭でも、いつどこにいてもネットワークの恩恵を受けられるようになってきました。ネットワークをより高速に、大容量化し、様々な電気システム、生産システムと接続し、より良い社会生活基盤を構築していくためには学域で学んだ基礎知識をもとに、時代が求めるニーズに対応するだけではなく、ニーズを創り出す専門知識と常に最先端の情報収集が大切です。この敏感なアンテナを養成していくのも本課程のテーマです。本課程では、専門科目として電磁気学、電気回路、電子回路、オペレーションズリサーチ、信号処理に関する基礎理論をまず身につけ、パワーエレクトロニクス、電力工学、制御工学、経営工学、通信工学、光波電子工学、情報理論などの専門知識を習得します。さらに、プログラミングと実験科目により実践能力を養います。また、モータドライブシステム、電力システム、電気システム制御、マネジメントシステム、光機能システム、光電波システム、知的情報通信の7つの研究グループがあり、世界に通用する技術の研究開発に取り組むことができます。ソフトとハードの両面にわたる電気、情報、通信から生産に至るシステムの設計・計画・運用を体系的に理解し、実践できる人材を育成すると同時に、自然環境との調和やネットワーク技術を重視した研究活動を通じ、エネルギーの有効利用とネットワーク社会の発展に貢献します。

資格・受験資格

- ■中学校教諭一種免許状（数学）
- ■高等学校教諭一種免許状（数学・工業）
- ■第一級陸上無線技術士（試験科目の一部免除）
- ■第一・二・三種電気主任技術者（実務経験後免許状取得）

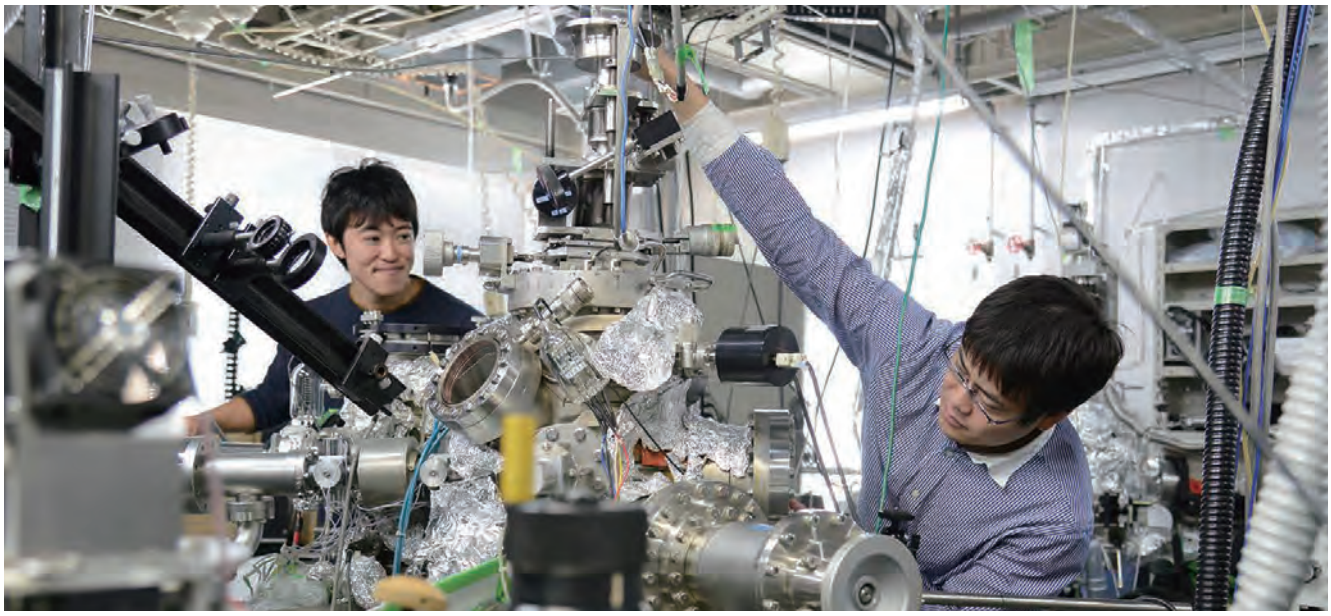
想定される進路

■情報・通信、電気、電力、コンピュータ、自動車など各種企業　■教員　■公務員　■大学院への進学

電子物理工学課程

ナノサイエンスで拓く未来。

物理学を基礎として発展してきたエレクトロニクスは、現代社会の豊かな生活を支える基礎技術になっています。電子物理工学は、無限の可能性を秘めた学問領域で、斬新な発想が大きな刺激となります。電子工学、基礎物理、応用物理を総合的に学習し、ナノテクノロジー、ナノサイエンスに関連した幅広い世界最先端の研究を強力に推進しています。



物理の諸原理をエレクトロニクス社会に生かす電子物理工学。

電子物理工学は、気体、液体、固体内の電子現象を探求し、新しい機能を持つ電子デバイスの開発をめざす工学分野であり、21世紀社会において、ますます重要となる学問領域です。
本課程では、力学、統計力学、電磁気学、量子力学などの基礎物理学と超伝導、磁性、量子光学、半導体物理、ナノサイエンス、ナノテクノロジーなどの応用物理学を総合的に学習するだけでなく、これら物理学に立脚する電子回路、情報理論、通信工学などの電子工学の基礎理論も学びます。

本課程には、量子物性、ナノ光物性、有機エレクトロニクス、ナノテクノロジー、半導体ナノプロセス、量子・光デバイス、機能デバイス物性、スピン物性、シリコンフォトニクス、量子物理学、非線形動力学、固体物性を主に研究する12のグループがあります。それぞれが専門分野に特化した研究・開発を行い、急速に進展している科学技術の各分野において、十分に活躍できる人材を養成しています。

資格・受験資格

■中学校教諭一種免許状（理科）　■高等学校教諭一種免許状（理科・工業）　■第一級陸上無線技術士（試験科目の一部免除）

想定される進路

■情報・通信、電気、電力、コンピュータ、自動車など各種企業　■教員　■公務員　■大学院への進学

学類詳細はP.23から

電気電子系学類

Topics

府大生が世界一の認識精度を持つニューラルネットワークを開発「一般物体認識」の世界で、「見る」と「わかる」を解き明かす！

山田 良博さん（工学研究科）

「一般物体認識」という分野の研究をしています。自動運転技術のための認識カメラなんかが今では一番分かりやすいでしょうか。人間は色々な犬を見ても「犬」という認識が出来ますが、機械ではそうもいきません。犬種は様々であらゆる角度から見ても犬だと判別する事はとても難しい事です。簡単に言えばこの整合性を上げる研究しています。人間の認知の基本は「目が何を見ているか」が重要なんです。これを解き明かす事によって人間の動作を再現する事が目標ですね。

全文はWEBから

サイエンス・インカレ最高賞の文部科学大臣賞表彰！

藤野 紗耶さん（電気電子系学類）

人工知能と人間との共存をはかりたいという目標のために「計算機で感性を理解する」ことが私の研究テーマです。私は絵本が好きなので「こんな絵本があったらいいな」と思い描けば、人工知能がそれを作ってくれるようなシステムをいつか作ってみたい。そこに、阪和線の青電車 103 系が大好きでしたので、それを組み合わせた対話型絵本システムをエントリーテーマにしました。システム名は英語で「Interactive digital picture book with Observing ヨ Kansei ∈ user」と表記され、頭文字を取ると「IOヨK」、103 系と読めるというシステムです。

全文はWEBから

絆創膏のように柔らかい添付型ウェアラブルデバイスの誕生！
～世界初！印刷技術の開発によって活動量を計測するフィルム上のセンサを実現～

大阪府立大学大学院工学研究科 竹井邦晴教授の研究チームは、印刷で作製できる絆創膏のように柔らかい添付型のウェアラブルデバイスのプロトタイプを開発しました。このウェアラブルデバイスは、人の活動量や簡単な健康状態（心拍、皮膚温度）、紫外線量を計測することが可能です。世界で初めて「印刷技術を開発すること」で柔らかいフィルム上に活動量（加速度）センサを形成する技術を実現。従来の半導体センサ作製技術と比べ、多種センサの集積化と低価格化が可能になりました。

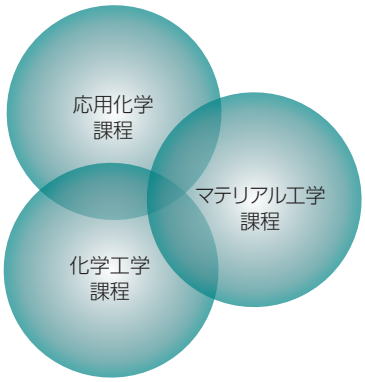
全文はWEBから

物質化学系学類

School of Materials, Chemistry and Chemical Engineering

応用化学課程 Applied Chemistry ／ 化学工学課程 Chemical Engineering ／ マテリアル工学課程 Materials Science

原子・分子レベルで物質の成り立ちを知り、新しい物質・素材・材料の創製や技術の開発につながる知識と技術の基盤をつくります。



01 学びのフィールド

基礎から応用まで、化学と物理についての幅広い素養を修得するとともに
応用化学、化学工学、マテリアル工学の３課程で、専門性を養う。

天然資源から人工物、目に見えないミクロな物質まで、私たちの身の回りは、あらゆる化学物質から成り立っています。それらの性質や機能を生かし、人々の豊かな暮らしや地球の持続的発展に役立てるのが、化学の役割です。物質化学系学類では、原子、分子、化合物の構造や、化学反応の仕組みを知り、ミクロスケールで物質の成り立ちを解き明かします。本学類では、新たな物質の創製にかかわる原子・分子の機能や性質、化学のプロセスやシステム、さらに多種多様な材料という異なる視点から、「応用化学」「化学工学」「マテリアル工学」の３課程を設置し、化学と物理についての素養と専門性を体系的に身につけます。高度な実験・研究に触れる実践的な学びを通じて、将来、最先端の物質化学分野で活躍できる優れた研究者・技術者を養成します。

02 カリキュラムの特色

基礎学力から高水準の専門性までを着実に育むカリキュラムを編成。
専門知識を使いこなす記述力や発信力、国際性も育成する。

国際的に通用する高い専門性を育むことに主眼を置き、４年間で高水準の知識・技術を身につけられるカリキュラムを編成しています。１年次は専門に特化せず、幅広い教養と基礎学力の育成に力を注ぎます。本学類に属する学生に必須の基礎的な知識を修得するため、学類共通科目を設定。「物理化学序論」、「物質化学系学類概論」といった基礎的・包括的な科目を豊富に揃え、2年次以降に、スムーズに専門科目を履修できるよう段階的に学びを深めていきます。また、さまざまな授業で、文章作成、発表、討論の機会を設け、論理的な記述力、プレゼンテーション能力、計画的に研究を進め、まとめる能力などを育成します。さらに国際的に通用する技術者・研究者となるべく、英語力を鍛える科目も充実させています。

03 卒業後の進路

高度な専門技術者・研究者をめざし、約8割が大学院へ進学。
卒業後は専門技術者・研究者として幅広い分野で大活躍。

履修モデル（履修の一例）

1年次	共通教育科目	●初年次ゼミナール　●外国語科目　●教養科目（人文社会科学系科目、自然科学・複合領域系科目）　●情報基礎科目　●健康スポーツ科学科目		
	専門基礎科目	●微積分学Ⅰ　●微積分学Ⅱ　●線形数学Ⅰ　●線形数学Ⅱ　●物理学AⅠ　●物理学実験 ●化学A　●化学実験　●生物学A　●プログラミング入門		
	専門科目	●物質化学系学類概論　●物理化学序論		
		経過選択制による課程配属（2年次前期より）		
		応用化学課程	化学工学課程	マテリアル工学課程
2年次	共通教育科目	●外国語科目　●教養科目（人文社会科学系科目、自然科学・複合領域系科目、教養展開科目）		
	専門基礎科目	●常微分方程式　●複素解析　●フーリエ解析　●偏微分方程式　●データベースと情報検索 ●物理学演習　●物理学AⅡ　●物理学B　●応用物理実験		
	専門科目	●無機化学序論 ●応用化学実験Ⅰ ●応用化学実験Ⅱ ●物理化学演習IA ●有機化学演習IA ●分析化学A ●無機化学ⅡA ●物理化学ⅡA ●有機化学IA ●有機化学ⅡA ●高分子化学Ⅰ ●量子化学A	●環境倫理 ●無機化学序論 ●ケミカルエンジニアリングプラクティス ●化学工学量論 ●移動速度論Ⅰ ●化学工学熱力学 ●拡散分離工学Ⅰ ●反応工学Ⅰ ●化学工学演習Ⅰ ●物理化学ⅡB ●分析化学B ●化学工学数学演習	●工学倫理 ●環境倫理 ●無機化学序論 ●マテリアル工学実験Ⅰ ●社会・産業と材料 ●物質の構造・組織 ●機械工作実習 ●物質量子論 ●材料化学基礎
3年次	専門基礎科目	●ベクトル解析　●確率統計基礎Ⅰ		
	専門科目	●工学倫理 ●環境倫理 ●応用化学実験Ⅲ ●応用化学実験Ⅳ ●応用化学実験Ⅴ ●有機化学演習ⅡA ●化学外国語演習 ●物理化学ⅢA ●高分子化学Ⅱ ●無機材料化学 ●有機機能化学 ●生体高分子	●工学倫理 ●化学工学実験Ⅰ ●化学工学実験Ⅱ ●移動速度論Ⅱ ●移動速度論Ⅲ ●拡散分離工学Ⅱ ●反応工学Ⅱ ●粉体工学Ⅰ ●粉体工学Ⅱ ●プロセスシステム工学 ●プロセス設計 ●化学工学演習Ⅱ ●化学工学英語演習	●エンジニアのためのキャリアデザイン ●マテリアル工学実験Ⅱ ●マテリアル工学実験Ⅲ ●マテリアル工学外国語基礎 ●材料強度 ●材料設計・制御 ●材料化学Ⅰ ●材料組織Ⅰ ●材料物性Ⅰ ●材料プロセス ●材料化学Ⅱ ●材料組織Ⅱ ●材料物性Ⅱ ●構造材料科学 ●マテリアル工学特殊講義Ⅰ ●結晶構造解析
4年次	専門科目	●応用化学卒業研究 ●応用化学特殊講義Ⅰ ●応用化学特殊講義Ⅱ	●化学工学卒業研究 ●化学工学特殊講義Ⅰ	●マテリアル工学卒業研究 ●マテリアル工学特殊講義Ⅱ

応用化学課程

未来を支える新しい化学を創造する。

21 世紀の社会では、環境と人にやさしく、暮らしに役立つ素材を提供する「新しい化学」（新しいモノづくり）が今までにも増して求められています。未来を支える「新しい化学」は、既存の概念や既存の化学からではなく、柔軟な感性と価値観によって育まれた、独創性と個性豊かな“Only One Chemistry”から生まれます。応用化学課程では、未来の科学・技術に貢献する「新しい化学」を創造する人材の育成を目指します。

Do Your Chemistry! ― フレッシュな感性と新しい価値観で君たちの化学を創造しよう!

応用化学課程では、物質を構成する分子だけでなく、その中の原子とそれらを結びつけ、化学反応をつかさどる電子の動きまでさかのぼり、新しい物質を創製するのに必要な学問を学びます。人類は、天然資源を有効に利用するとともに、新しい物質を創造することで今日の豊かな生活を築いてきました。このような発展を支えてきたのは優れた科学と技術であり、なかでも物質の構造、性質、反応を原子・分子レベルで理解し利用しようとする学問、すなわち化学が重要な役割を果たしています。

本課程には、分析化学、無機化学、物理化学、有機化学、高分子化学、電気化学、バイオ化学、環境化学など広範な化学分野について、講義のみならず、演習や実験を取り入れた多彩なカリキュラムが用意されており、基礎から高度な先端の化学までを総合的に学ぶことができます。

また応用化学課程では、次世代の蓄電池や太陽光で環境浄化する光触媒、エネルギー変換材料や医用診断デバイス、優れた機能をもつ高分子やバイオマテリアルの開発など、最先端の研究を行っている教員が在籍しています。学生は自身のオリジナルな研究を通じて、「物質を合成し、その性質を知る」喜びを体験し、研究者あるいは技術者としての一歩を踏み出すことになります。

資格・受験資格

- ■中学校教諭一種免許状（理科）
- ■高等学校教諭一種免許状（理科・工業）

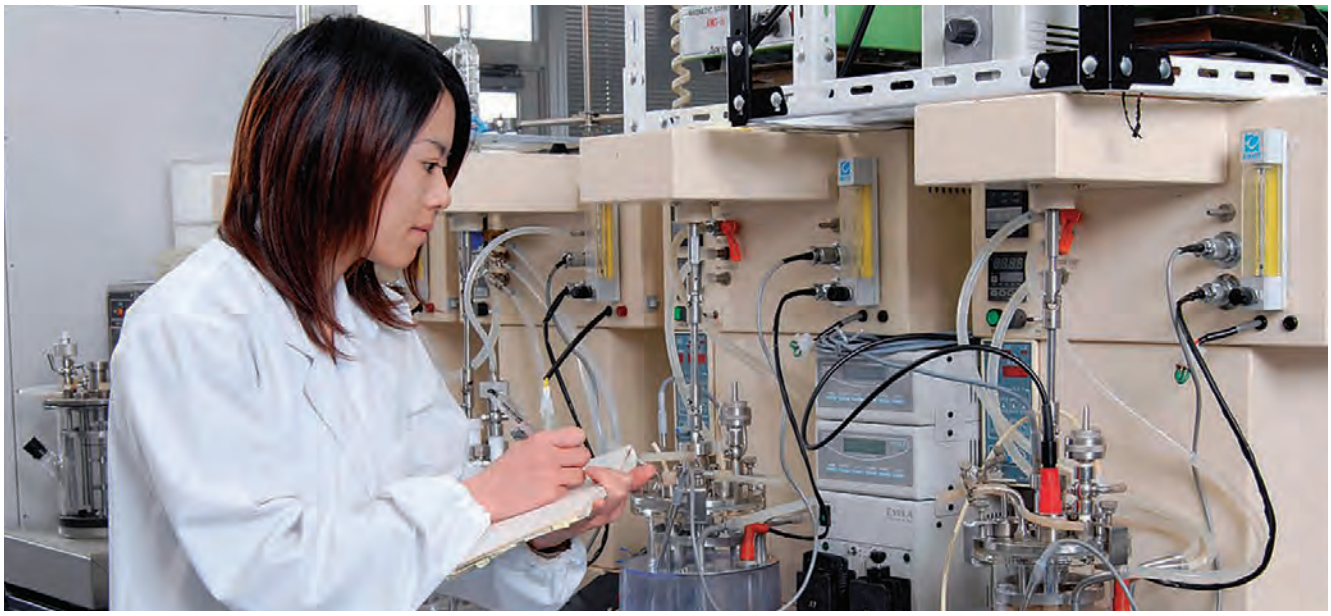
想定される進路

- ■各種研究機関
- ■化学、医薬、食品、電気、自動車、金属、セラミックスなど各種企業
- ■公務員
- ■大学院への進学

化学工学課程

環境と調和した社会を―　夢をカタチにします。

私たちの地球は、美しい山、綺麗な海、澄んだ大気、豊かな森に囲まれています。しかし、この小さな惑星「地球」の資源もエネルギーも限りのあるものです。私たちの未来は、環境に調和した新しい科学技術、特に化学・物理・生物の力を結集した総合的な“ものづくり”や循環システムの構築にかかっています。



水と緑の地球とともに―未来を拓く最先端「化学技術」の創造に取り組んでいます。

化学工学は、化学の基礎だけでなく、物理学や生物学の基本的な考え方も学び、化学に基づく新しい科学技術を創造し、私たちの生活・社会に役立つものにするための方法論を体系化した学問です。私たちの住んでいる地球環境の中で「化学技術」を生かして行くためには、極めて多様で複雑なシステムを総合的に取り扱う必要があります。そのために、化学工学は、物質とエネルギーのバランスを軸に、化学反応に関わる全てのシステムやプロセスを研究対象とし、高度な化学合成技術、ナノテクノロジー、バイオテクノロジーを駆使した新規物質や新材料の合成とその生産システム、環境調和型の新しいエネルギーシステム、循環型社会のための革新的なリサイクル技術などの研究・開発に取り組んでいます。その成果は、化学産業のみならず、医薬、医療、食品、住宅、衣料、エレクトロニクス、機械、鉄鋼、エネルギー、環境、リサイクルなどのさまざまな分野に波及しています。

化学工学課程では、各要素技術を開発する能力に加えて、さらにシステム全体を総合的に考える能力も重要と考えています。将来、研究開発のリーダーとなり、国際的に活躍できる自立した研究者・技術者を養成する事を目標に、各人の個性を尊重しながら、時間をかけて丁寧に学べるカリキュラムを用意しています。

資格・受験資格

- 中学校教諭一種免許状（理科）
- 高等学校教諭一種免許状（理科・工業）

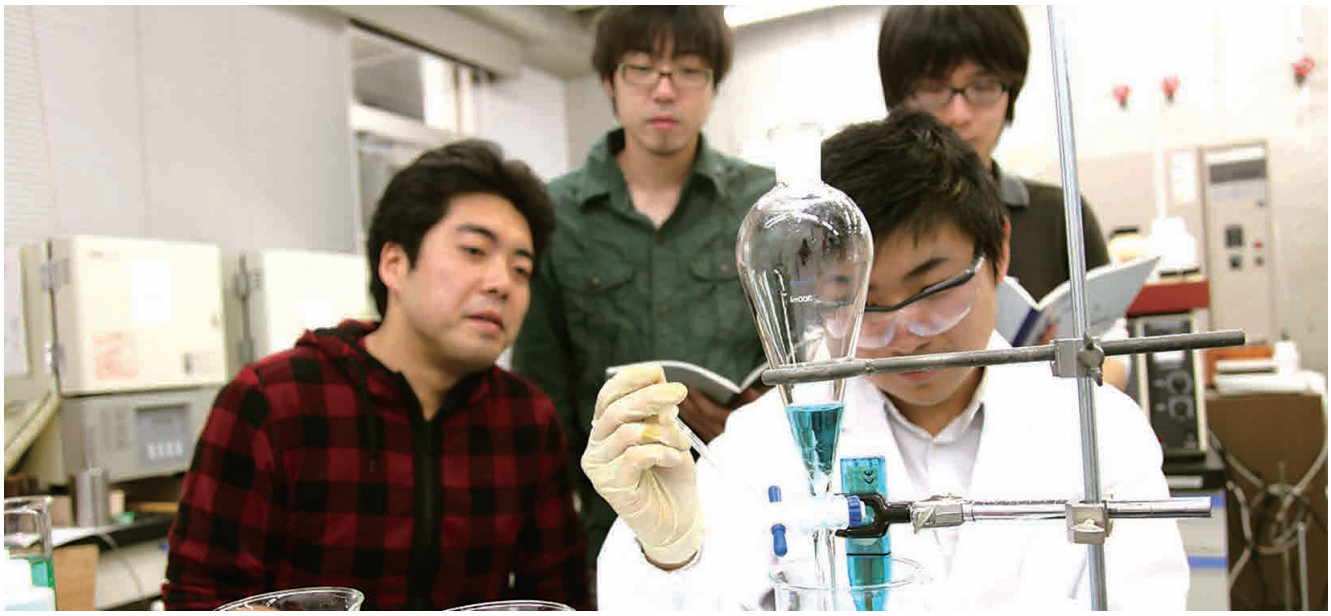
想定される進路

- 各種研究機関
- 化学、医薬、食品、電気、自動車、金属、セラミックスなど各種企業
- 公務員
- 大学院への進学

マテリアル工学課程

地球と人に優しい材料の研究・開発を行います。

コンピュータ、自動車、人工関節、これらに共通するものは何でしょうか?それは現代の文明を象徴するこれらの機械や装置が、目的に応じたいくつもの「材料」によって構成されていることです。どの素材が欠けても装置全体の機能は発揮できません。それどころか、時代の進歩は新しい材料の設計と開発にかかっているのです。



見えないところで暮らしと時代を支え続ける、それがマテリアル工学です。

“It’s not design limited, it’s materials limited.”これはある著名な米国の大学教授が、現在の文明の進歩の律速段階が機器をデザインする技術にあるのではなく、要求する機能を満たす材料が存在しないことにあることを指摘した言葉です。ナノテクノロジーが国策として掲げられている今、それを支えるのはマテリアルサイエンスです。

本課程では特に金属やセラミックスを対象に、マテリアル工学の基礎から応用まで幅広い学問を学びます。キーワードは「ものを創る」、「構造を調べる」、「特性を測る」です。飛行機や携帯電話に使われている軽くて強い合金から、機能性セラミックスまで、材料である限り、基本的なこのアプローチは普遍です。具体的には高校で身につけた基礎の上に、「材料強度学」、「材料組織学」、「材料物性学」や「材料化学」など、世の中を支えている材料を理解するのに必要な専門学問を学び、そして世界の研究者とコミュニケーションできる英語能力を身につけます。

さらに演習と実験を繰り返し、専門性を肌で体験します。4年次には、1年間かけて一つのテーマについて研究し、問題を解決することにより、創造力にあふれ、国際性豊かな研究者や技術者となることをめざします。

資格・受験資格

■高等学校教諭一種免許状（工業）

想定される進路

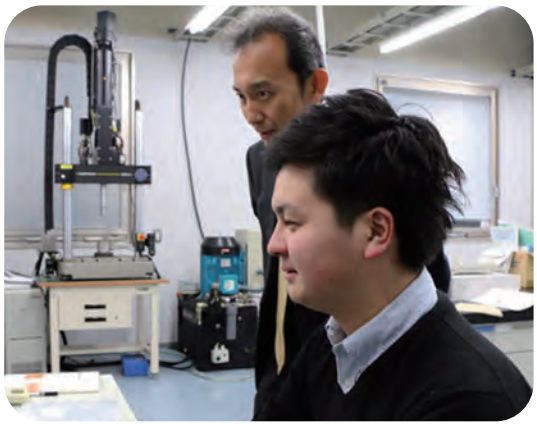
■各種研究機関
■化学、医薬、食品、電気、自動車、金属、セラミックスなど各種企業
■公務員
■大学院への進学

学類詳細はP.29から

物質化学系学類

Topics

「実際に試験をしてみて分かるという事の難しさ」



松下 遼さん(工学研究科)

今回開発された「難燃性マグネシウム合金製 MIG 溶接ワイヤー」の研究段階のものを用いて実際に溶接を行い、様々な試験方法で、その溶接部の強度検証を行いました。
溶接部の強度検証は、引張試験や疲労試験によって行います。評価対象である溶接部の性質は溶接した段階では不明で、実際に試験を行って初めて明らかになるという点に難しさがあり、苦労しました。「どのような要因で、こういった結果になったのか？」を考察した上で実証、改善に向けてさらなる試行錯誤を繰り返しました。

全文はWEBから

学生が選ぶステキな先生ー全固体電池の開発で、人と環境に優しい未来へ

林 晃敏 教授

「ナトリウム電池」の研究は古くから行われてきましたが、1990年代にリチウムイオン電池が開発され、研究頻度が減りました。ナトリウムは資源に乏しい日本でも手に入れることができる豊富な資源ですので、この研究を日本で行う意味は十分にあります。先生の研究室でも続けていた基礎研究を応用研究として発展させ、「全固体ナトリウム蓄電池」の室温作動に世界で初めて成功。世界の科学者や学生の一人一人が日々頑張っている研究は、小さなことでもきっといつか実を結ぶ種であるはずです。

全文はWEBから

学びに溢れた４年間に感謝し、夢への一歩を

木岡 真理奈さん(物質化学系学類)

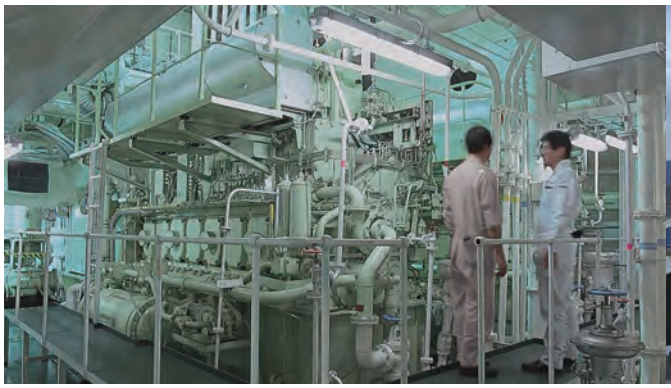
私は、昔から食物の成分表示を見るのが好きで、食品の開発に携わりたいと考えていました。そして科学者を目指して物質化学系学類に入り、2 年の配属で化学工学課程を選択しました。高校の時のように与えられた問題を解くだけでなく、自分で問題を見つけ追求しなければなりません。大変ではありますが、そのぶん日々疑問と気付きの連続で充実しています。現在は、腸内における食品添加物の影響について研究しています。学ぶだけでなく様々なことに取り組むことをめざしました。

全文はWEBから

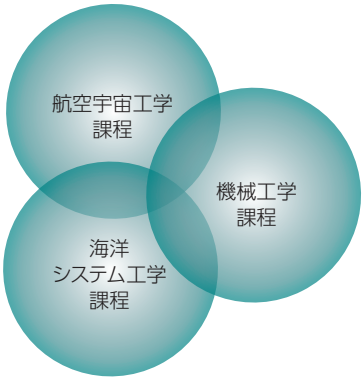
機械系学類

School of Mechanical, Aerospace and Marine-System Engineering

航空宇宙工学課程 Aerospace Engineering ／ 海洋システム工学課程 Marine System Engineering ／ 機械工学課程 Mechanical Engineering



21世紀の人と環境が
共存・共生する最先端の
航空宇宙・海洋・機械システムをリードする
技術者・研究者を育てます。



01 学びのフィールド

陸・海・空のフロンティアをめざし、航空宇宙・海洋システム・機械工学に関する
基礎から応用までの学問を学び、創造性の豊かな研究者・技術者になるための能力を身につける。

複雑化、多様化、複合化する現代社会では、各種機械に関連した学問分野においても、学際的かつ総合的な教育・研究が不可欠です。機械系学類は、航空宇宙工学課程、海洋システム工学課程、機械工学課程の３課程で構成されています。航空宇宙工学課程では、航空機、ロケット、宇宙往還機、人工衛星の開発から宇宙利用など、空と宇宙のフロンティアをめざし、数学や力学の基礎理論から、航空機や宇宙機の設計・製造、運用に必要な高度な知識や技術までを体系的に学びます。海洋システム工学課程では、海洋に関わる自然および人工システムに関する基礎理論を学び、プロジェクト型演習を通して、自ら問題を設定・分析してその本質を知る解析力、調和のとれた解を導くための統合化力、新しいシステムを開発する創造力などを身につけます。機械工学課程では、マイクロマシン、高機能ロボット、環境にやさしい次世代自動車、燃料電池などの新エネルギーシステム、植物工場といった最先端の機械システムの研究・開発に必要な専門知識を体系的に学び、幅広い分野で活躍できる創造性の豊かな研究者・技術者になるための能力を身につけます。

02 カリキュラムの特色

共通教育科目と専門基礎科目を土台に、航空宇宙・海洋システム・機械工学の各課程の
専門知識を積み上げる。最先端のテーマを研究し、国際舞台で活躍できる能力を身につける。

国際的に活躍できる研究者・技術者になるためには、専門分野を理解する上で不可欠な基礎学力と高度な専門知識とともに、課題を自ら設定し解決するための幅広い知識、コミュニケーション能力、成果を論理的にまとめる能力が必要です。1年次では、共通教育科目と専門基礎科目を重視し、専門課程に進むために必要な幅広い知識を学びます。2年次では、数学を中心とした専門基礎科目とともに各課程の基礎となる各種力学を中心に学びます。3年次では、各課程の専門科目を重視し、講義・実験・演習を通して高度な専門知識を身につけます。4年次では、さらなる専門知識を習得するとともに、卒業研究を行います。卒業研究では、各課程の研究室で実施されている最先端の研究テーマに取り組み、自ら問題を設定し創造的に解決する能力、成果を論文にまとめる能力を身につけます。さらに、英語の専門書や論文を読み・書きするとともに、研究発表および討論を通して、国際的なコミュニケーション能力を身につけます。

03 卒業後の進路

大学院に進学し、より深い専門知識を身につけるとともに、最先端の研究を自ら実践。
卒業生・修了生の多くは、技術者・研究者として、一流企業や各種教育・研究機関の第一線で活躍。

履修モデル（履修の一例）

1年次	共通教育科目	●初年次ゼミナール ●外国語科目 ●教養科目（人文社会科学系科目、自然科学・複合領域系科目） ●情報基礎科目 ●健康スポーツ科学科目		
	専門基礎科目	●微積分学Ⅰ ●微積分学Ⅱ ●線形数学Ⅰ ●線形数学Ⅱ ●物理学AⅠ ●物理学AⅡ ●物理学B ●物理学実験 ●プログラミング入門		
	専門科目	●機械及び航空宇宙海洋工学概論Ⅰ ●機械及び航空宇宙海洋工学概論Ⅱ		
		経過選択制による課程配属（2年次前期より）		
		航空宇宙工学課程	海洋システム工学課程	機械工学課程
2年次	共通教育科目	●外国語科目 ●教養科目（人文社会科学系科目、自然科学・複合領域系科目、教養展開科目）		
	専門基礎科目	●常微分方程式 ●複素解析 ●ベクトル解析 ●偏微分方程式 ●フーリエ解析 ●数値解析 ●確率統計基礎Ⅰ ●図形科学 ●物理学C ●応用物理実験 ●解析力学 ●基礎量子力学 ●基礎統計力学		
	専門科目	●工学倫理 ●環境倫理 ●航空宇宙工学基礎 ●航空宇宙工学演習Ⅰ ●航空宇宙工学演習Ⅱ ●航空宇宙工学情報処理 ●流れ学 ●航空流体力学 ●材料力学A ●航空機構造力学 ●熱力学A ●振動工学A ●衛星システム設計学 ●宇宙航行力学	●工学倫理 ●環境倫理 ●海洋システム工学基礎演習 ●海洋システム工学プロジェクト演習Ⅰ ●海洋システム工学プロジェクト演習Ⅱ ●海洋プログラミング演習 ●海洋計測 ●海洋システム工学基礎 ●材料力学B ●振動工学B ●流体力学IA ●海洋環境学	●工学倫理 ●環境倫理 ●機械工作実習 ●材料力学入門 ●熱力学入門 ●機械力学入門
3年次	共通教育科目	●教養科目（人文社会科学系科目、自然科学・複合領域系科目、教養展開科目）		
	専門科目	●機械工作実習 ●航空宇宙工学実験Ⅰ ●航空宇宙工学実験Ⅱ ●エアロスペースエンジニアリングセミナー ●航空宇宙工学演習Ⅲ ●航空宇宙工学演習Ⅳ ●航空宇宙工学設計製図 ●気体力学 ●航空機構造設計 ●航空宇宙推進工学 ●制御工学IB ●航空宇宙機の力学と誘導制御 ●宇宙環境利用工学 ●航空宇宙システム工学	●エンジニアのためのキャリアデザイン ●工学域インターンシップ ●機械工作実習 ●海洋システム工学実験 ●海洋システム工学総合演習 ●構造力学Ⅰ ●構造力学Ⅱ ●浮体運動学 ●流体力学ⅡA ●船舶流体力学 ●システム工学IB ●システム工学ⅡB ●海洋生態工学 ●船舶工学特殊講義	●機械設計製図演習Ⅰ ●機械設計製図演習Ⅱ ●機械工学実験Ⅰ ●機械工学実験Ⅱ ●機械工学総合演習Ⅰ ●機械工学総合演習Ⅱ ●流体力学IB ●機械設計 ●加工原理 ●システム制御学Ⅰ ●システム設計工学B ●機械材料 ●機械計測工学 ●環境工学 ●環境保全工学
4年次	専門科目	●航空宇宙工学卒業研究	●海洋システム工学卒業研究 ●海洋システム工学科学技術英語	●機械工学卒業研究 ●エネルギー変換工学 ●機械工学技術英語 ●機械工学特殊講義 ●エネルギーシステム工学

航空宇宙工学課程

空と宇宙への挑戦が、世界を、未来を変える。

航空機、ロケット、宇宙往還機、人工衛星の開発から宇宙の利用へ。
空と宇宙のフロンティアをめざす人類の挑戦は続きます。航空宇宙工学課程では、複雑な構造の強度などをコンピュータで計算する手法、巨大なシステムの開発手法、技術等の教育・研究を通して夢を育てつつ、リアリティーを失わないシステムデザイン能力の向上をめざしています。

人類の初飛行から約120年―空と宇宙への夢と技術に限界はありません。

航空機や宇宙機の開発、宇宙の利用等のため、渦や衝撃波を研究する流体力学、構造の強度と軽量化を研究する構造工学、ジェットエンジンなどを研究する推進工学、自動操縦や航法装置についての制御工学、宇宙機システムを研究する宇宙工学、総合的な評価と設計のためのシステム工学、宇宙から地球を観るリモートセンシングなどを教育研究の専門領域としています。
各分野の先端的技術課題の研究を通じて、航空機や宇宙航行体などを設計・製造・運用するための基礎理論と先端技術の教育を行い、創造的で柔軟性に富む技術者・研究者の養成をめざしています。航空宇宙工学分野の基盤的技術に立脚して人類の持続可能な発展と地球環境の保全との調和をめざす先端的工学分野を開拓し、未来をになう人材を育成します。航空宇宙の専門分野を深く極めると同時に、航空宇宙工学分野の特質である、物事を総合的に考える能力、およびシステムデザイン能力の育成を目的としています。そのため、航空宇宙学講座と航空宇宙システム講座を設け、航空機や宇宙航行体の開発・設計、宇宙環境利用、地球観測等に関する教育・研究を行います。
研究グループも専門分野別に、航空宇宙流体力学、航空宇宙構造工学、航空宇宙推進工学、航空宇宙システム工学、航空宇宙制御工学、宇宙工学に分かれて技術を修得します。

資格・受験資格

■高等学校教諭一種免許状（工業）

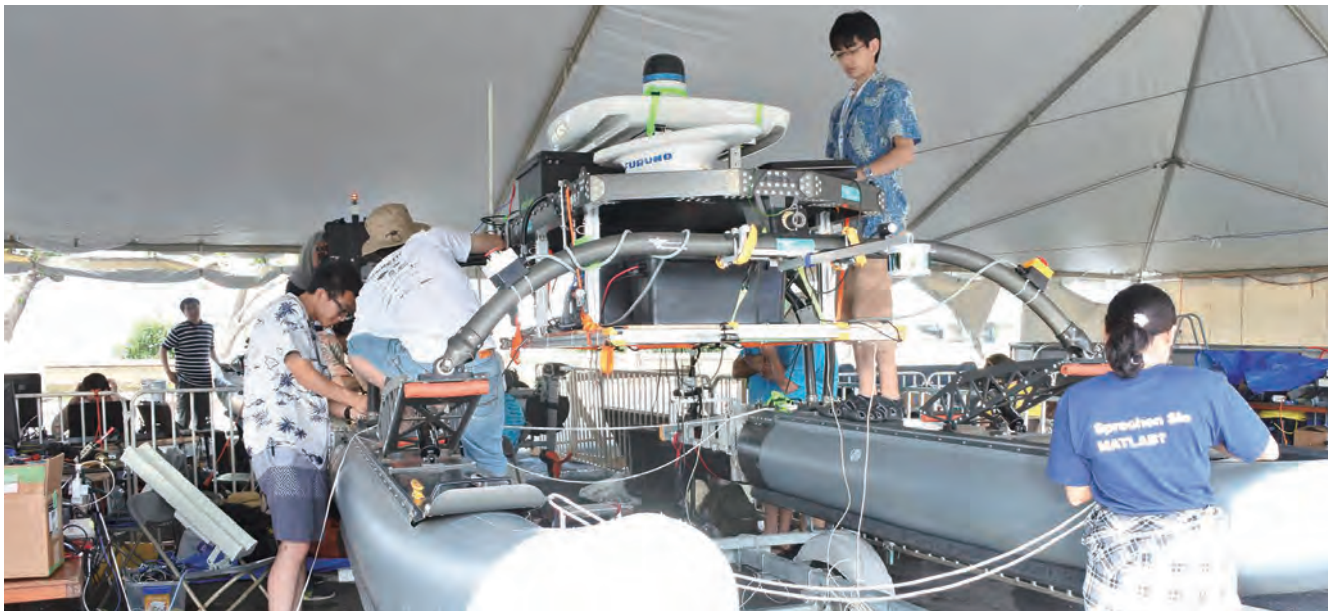
想定される進路

■航空宇宙産業、造船・海事、自動車、鉄鋼・金属、建設・環境、電気、機械、情報などの各種企業
■公務員
■大学院への進学

海洋システム工学課程

海と人とをつなぐ創造が人類の知恵を生み出します。

海洋システム工学は、地球システムの要素である海洋と、海で行われる人間・社会活動との関わり方を探る学問です。
豊かで美しい海を守り続けるための技術や、広大な海洋空間での安全で効率の高い海洋輸送システムと豊富なエネルギーおよび資源の利用等を持続的かつ発展的に利用するシステムを研究します。



水の惑星「地球」、海は人間との共生を求めています。未来のためのシステムを創りましょう。

地球は水の惑星であり、人類はその誕生以来、水の源である海洋から豊かな恵みを受けてきました。これからもその資源を持続的に、しかも有効に活用していくためには海洋環境を守り、海と共生していく人間活動のあり方を探らなければなりません。
海洋システム工学課程では、この考えを基にして、海洋環境の評価と保全などに関する基礎知識を修得するとともに、安全で効率的な海洋輸送システムや海洋資源や海洋空間の利用システムに関する基礎理論を学び、自然と技術の共生を考究するためのシステム科学に関する基礎理論と、実験・実習・フィールド計測などを通して具体的な方法論の展開を推進していきます。海洋システム工学の第一の目的は、人類がこれまでに発展させてきた工学技術の上に成り立った人間活動と、海という自然との共生・調和です。そのためには、地球システムの中に位置づけられる海洋を多面的に理解し、自然と技術の統合システムを創造することや海で使われる工学技術の新たな展開を図らなければなりません。

資格・受験資格

- ■中学校教諭一種免許状（数学）
- ■高等学校教諭一種免許状（数学・工業）

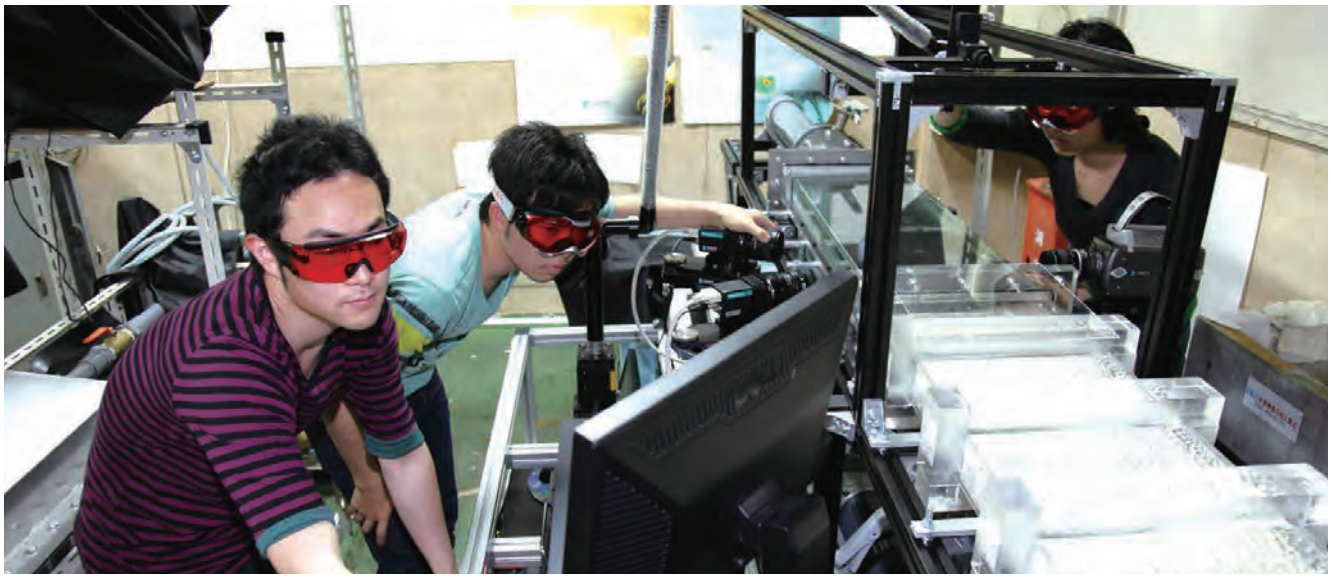
想定される進路

- ■航空宇宙産業、造船・海事、自動車、鉄鋼・金属、建設・環境、電気、機械、情報、自動車などの各種企業
- ■公務員
- ■大学院への進学

機械工学課程

ものづくりを最先端に導き、より安全・安心な社会を実現する。

人間型ロボット・燃料電池自動車・F1・福祉設備・各種エンジン・発電システム・環境保全設備など、動くモノから社会を支えるモノまで、すべて機械工学の対象です。機械工学課程では、これらの各種のマシンのライフサイクル、すなわち設計・開発・製造・使用・リサイクル・廃棄を行うために必要となる工学的知識を体系的に学ぶことができます。



人に優しく地球に優しいフロンティアマシンを―
そのスピリットが持続可能な社会実現のためのものづくりを支えています。

最先端のものづくりをともに行いましょう。機械工学課程では、マイクロマシン、高機能ロボット、環境にやさしい次世代自動車、燃料電池に代表される新エネルギーシステム、植物工場など、動くモノから社会を支えるモノまで、最先端の機械システムの研究・開発をめざしており、そのための専門知識を体系的に学ぶことができます。

材料力学、流体力学、熱力学、機械力学を基礎として、機械設計、制御、エネルギー、環境の基礎から応用まで学び、実験、実習で具体的な方法を体得します。卒業研究で最先端の研究・開発に取り組むことで、幅広い分野で活躍できる創造性の豊かな研究者・技術者となる能力を身につけます。

近年、あらゆる「機械」には、高機能化、知能化、システム化等が求められ、更に、複雑化、多様化、複合化する人間活動との調和を十分考慮した機械システムの開発・設計・生産・運用が不可欠となってきています。一方、社会全体での低炭素化への取り組みを背景として、エネルギーの供給とそれに伴う環境汚染の防止を考慮した、人・環境と共存・共生する機械技術、機械システムの確立が求められています。

これらの機械工学における重要な課題を主体的に認識し、その克服・解決を発想し得る豊かな素養、人間性、倫理観を育み、幅広い機械工学の専門教育を身につけた個性と創造性に富んだ機械技術者・研究者を育成します。

資格・受験資格

- ■中学校教諭一種免許状（数学）
- ■高等学校教諭一種免許状（数学・工業）

想定される進路

- ■航空宇宙産業、造船・海事、自動車、鉄鋼・金属、建設・環境、電気、機械、情報、自動車などの各種企業
- ■公務員
- ■大学院への進学

学類詳細はP.35から

機械系学類

Topics

海洋システム工学課程／有馬研究室ラボツアー！

12月に入ると、工学域 機械系学類の1年生を対象に、課程選択に向けたラボツアーが開催されました。
海洋システム工学課程の有馬研究室では、海洋観測機器として、水中グライダーを研究開発しています。水中グライダーとは、無人で長期間、広範囲の海洋環境や生態系をモニタリングできるグライダー型の海中ロボットのこと。これを見守るための自律型ソーラー洋上ステーションも展示されていました。有馬教授から「プログラミングが大事なので皆さん頑張ってください」と語られていました。

全文はWEBから

次世代の個人用車両「パーソナルモビリティ・ビークル」を見にいく！

工学研究科 機械系専攻／機械力学研究室

この車体は、みなさんがご存知の「セグウェイ」と原理は同じものだそうで、操縦者の重心移動によって車両が動く仕組みです。排気ガスがないこと、電気を効率的に使用していることなどからクリーンな次世代車両だと言われています。この研究室では、急に止まりたいときの制御方法や、パーソナルスペース（他者の侵入によって不快感を感じる領域）を侵害しないように自動感知する仕組み作りなど、どうやったら安全な乗り物になるかを中心に研究しているそうです。

全文はWEBから

本学小型宇宙機システム研究センター 学生有志のチームが競技大会にて優勝！

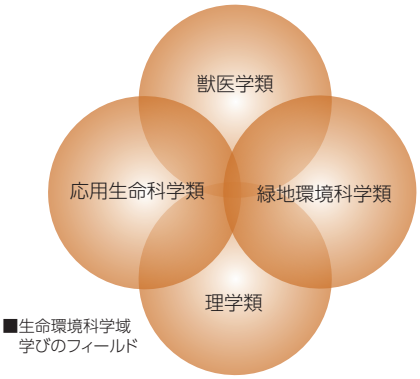
缶サットと呼ばれる自立制御型ロボットが気球から落下して目的地をめざす競技のミッション部門に参加。
気球から落下する500ml 缶サイズのロボットがチームごとに設定する「ミッション」を予定通り行えるか競うものです。参加した全チームの中で、唯一府大チームだけがミッション成功。
そのミッションとは「脳波コントロールを用いた“念写”」と題し、脳波に反応するおもちゃを利用して上空の缶サットの搭載カメラに信号を送り、一定条件でシャッターがおりるよう制御するというものでした。

全文はWEBから

生命環境科学域

College of Life, Environment, and Advanced Sciences

自然環境と調和のとれた人間活動への貢献をめざし、生命・環境・理学を融合させた新しい科学を学びます。



■生命環境科学域
学びのフィールド

食料やエネルギーなどの多様な資源を利用し、生活に必要な有用物質を作出し活用するため、また、人間が健全な環境で生活できる社会を持続的に発展させるために、環境と調和した社会活動に貢献できる優れた人材が求められています。そこで、生命環境科学域では、生物の多様な生命現象や生命機能の解明とその利用をめざしたバイオサイエンス・バイオテクノロジー、持続可能な環境の保全と創成、それらの基盤となると同時に広範な自然現象の理解と応用をめざす自然科学に関する専門的知識や技術を教育します。加えて、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観と創造力を育み、産業・社会の発展と学術の進歩に貢献できる人材を育成します。

獣医師の育成機関・動物生命科学の教育研究機関として、人と動物の調和や食の安全、バイオメディカル研究、生態系の保全などで社会に貢献

獣医学類

動物に対する先端医療、人間と動物の共生に係るさまざまな課題に関する専門的知識や技術とともに、豊かな教養と問題解決能力、高い生命倫理観と創造力を身につけ、産業・社会の発展と学術の進歩に貢献できる獣医師・技術者・研究者を育成します。P.43

大動物診察室

動物・植物・微生物にかかわるバイオサイエンス・バイオテクノロジーで、食料問題や医療、環境問題の改善・革新をめざす

応用生命科学類

あらゆる生命体を対象に多様な生命現象の解明とその応用に関する教育・研究を行い、広範なバイオサイエンス・バイオテクノロジー領域で活躍できる有為な人材を育成します。P.45

健全な都市圏や緑地環境を守り創造する技術と能力を身につけた、緑と環境のスペシャリストを養成。都市圏の持続的発展、循環型社会の構築に貢献

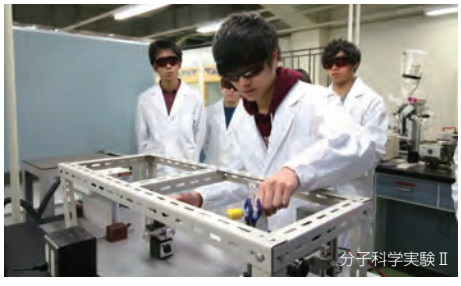
緑地環境科学類

都市圏や自然地域、地球規模の環境問題を総合的に捉え、緑の機能を用いた環境再生や創造によって、都市圏における持続的発展と循環型社会の構築に寄与する力を養成。生態学、環境学、社会科学などを統合させた新しい学びを展開します。P.49

数理科学、物理科学、分子科学、生物科学の探究と先端科学技術への応用をめざす

理学類

自然現象の本質を解明し、理解することをめざします。自然科学の中核を成す数学、物理学、化学、生物学を深く学び、幅広い知識と主体的な探求心を科学技術の創造に役立てる力を育てます。P.51


分子科学実験Ⅱ

point pick up

- 高度な研究施設が充実しており、大学院と連携して最先端の研究を反映した教育を展開しています。
  （例）最新機器により動物の診断と治療を行う「獣医臨床センター」、実験動物の飼育・実験方法を実践的に学ぶ「動物科学教育研究センター」、生命環境特別実験室・食の安全特別研究室・レーザー工学実験室などが設置された「先端バイオ棟」「サイエンス棟」「環境情報実験棟」など
- 中百舌鳥キャンパスの豊かな自然環境を生かし、動植物の働きや生態系、人との関係を学ぶ様々なフィールド実習を行っています。
  （例）水田、果実園、緑地帯、池、水路など
- 獣医学類は6年間のカリキュラムで、1年次は中百舌鳥キャンパスで、2年次以降はりんくうキャンパスで学びます。

宇宙、地球、そして
そこに生まれた生命体。
謎の解明に立ち向かい、
発見する喜びを共有しよう。

生命の原理や自然の摂理を学び、研究し、そして世界へ発進する。
極小空間から宇宙まで、それが皆さんの活躍の場です。

生命環境科学とは何か。これを説明することは簡単ではありません。ただ、その中身と重要性を伝えようとしたときに、まず私の頭に浮かぶのは2つの概念です。

1つには、「すべてがつながっている」ということです。我々を含む地球上の生命体は、宇宙の中に、奇跡のような確率の中で誕生しました。そして時空間上で複雑に影響し合う様々な要素の下で、現在の発展を成し遂げてきたのです。これは同時に、これからも地球の生物はあらゆる不確定の環境要因によって影響され続け、従って異なる「シナリオ」に基づく天文学的な種類の未来が描かれうる、ということも意味します。「すべてがつながっている」からこそ、地球と生命のあり方を理解し将来を考えるためには、理学、生物学、獣医学、環境科学など、様々な学問分野を広く学修できる環境で学ぶ必要がある、これが生命環境科学であると考えています。

もう1つは、「神秘性」という言葉で表現されます。実は生命環境科学の本質について、残念ながら我々はまだほんの少ししか理解していません。もちろん、これまでの科学の歴史の中で、我々は多くのことを学びました。しかしその全体像を統一的に理解しようとすればするほど、宇宙とは何か、地球環境とは、生命とは何かという問いの答えは、むしろ我々の手の届く範囲からますます遠ざかって行くようにも感じています。1つの謎を解くことで、新たな謎が私たちを待っている、そんな印象を持っています。しかしこれこそが生命環境科学の楽しさ・おもしろさではないでしょうか。我々の想像力を遥かに超えた自然の精緻な仕組みに接し、それを明らかにできた喜びを感じながらも、自分たちの無知に愕然とする、しかしそれと同時に、その先に見えてきた未踏の学問世界に、挑戦する意欲がふつふつと湧いてくる、これこそが生命環境科学の世界だと思います。

さあ、皆さんもこの学問領域の中に飛び込んで、私たちと共に謎解きに参加し、未来を創ってみませんか。

生命環境科学域長
三宅 眞実

Profile
医学博士、獣医師
専門は感染症。特に、病原細菌が人や動物に感染し病気を引き起こすメカニズムを分子レベルで解析している。

獣医学類
School of Veterinary Science

手術風景

「りんくうキャンパス」で最先端の獣医学に触れるカリキュラムにより徹底した少人数制による実践的な教育・研究を行います。

近畿圏における唯一の獣医学教育研究機関として、総合的な獣医療体制を整えた「りんくうキャンパス」が、本学類の拠点です。優れた学修環境のなか、産学官連携プロジェクトなどにより、つねに最先端の獣医学を追究し、その成果を教育内容に反映しています。また、コア科目のみならず創薬や産業動物、公衆衛生関係など獣医師の不足が予想される職域に関する科目群を設けていることも特長です。カリキュラムや学修体制においては、徹底した少人数制と体験型教育を実施しています。実務経験豊富な教員、世界的研究に携わる教員などの指導のもと、獣医学の理論・技術・応用を体系的に学び、獣医師として自らの専門性を確立することができます。

獣医臨床センターと動物科学教育研究センターを併設し、教育・診療・研究が一体化した教育研究拠点「りんくうキャンパス」。

本学類の拠点「りんくうキャンパス」には、専攻の大学院のみならず、動物の診療や獣医療の先進的研究を行う「獣医臨床センター」と、実験動物の飼育・実験方法を学び、そして先端的バイオ研究を行う「動物科学教育研究センター」が併設されています。高度で世界的な研究活動と現場での診療活動が連携する総合的な環境で、最新の獣医学を学ぶことができます。

社会で活躍するゲスト・スピーカーによる講義・実習を通じた実践的な力を養成。

実務経験豊富な社会で活躍する獣医師を招き、現場に即した獣医学を学ぶ機会を提供しています。こうした学修経験を将来の現場で生かすため、多くのティーチングアシスタントを配置した、少人数制の体験型教育を充実させます。さらに、肉牛・乳牛・家禽などに関する実践的な体験を積める牧場での学外実習も実施します。

BSL2/3 施設、大型先端機器関連施設、手術実習室や大動物実習室など、本格的な実習施設が充実。

病原微生物を安全に取り扱うための「BSL2/3施設」や、遺伝子発現・プロテオーム・細胞機能などを解析する「大型先端機器関連施設」には最先端の機器を充実させています。現場さながらの設備を備えた「手術実習室」や「大動物実習室」などでは実践的な体験を積むこともできます。また、「獣医臨床センター」では、X線CT検査装置を用いた実習や、手術見学室では最先端の獣医療をライブ観察することも可能です。

動物園や水族館、動物病院など、豊富な体験型教育を通じた独自のインターンシップ制度。

3〜6年次に実施する学外特別実習等のインターンシップ実習では、長年培ってきた信頼関係による豊富な実習先を用意しています。農業共済での産業動物診療、動物園や水族館などの展示用動物診療などで過去多くの先輩たちが実務経験を積み、進路の選択や就職後の実践能力養成に生かしています。今後もさらに充実する予定です。

履修モデル（履修の一例）

1年次	共通教育科目	●初年次ゼミナール ●環境・生命・倫理 ●心理学への招待	●生命環境科学入門 ●社会に活きる科学 ●Academic English IA	●Academic English IB ●Academic English IIA ●Academic English IIB	●健康スポーツ科学演習I ●情報基礎（情報社会と情報倫理を含む）
	専門基礎科目	●物理学A	●化学A	●生物学A	●生物学実験
	専門科目	●有機化学基礎	●動物生態学		
2年次	共通教育科目	●Academic English III	●Academic English IV		
	専門基礎科目	●生物学B			
	専門科目	●生命環境科学概論 ●獣医解剖学A ●獣医解剖学B ●獣医組織学 ●実験動物学 ●発生学	●遺伝育種学 ●獣医生理学A ●獣医生理学B ●獣医生化学A ●獣医生化学B ●獣医免疫学	●獣医細菌学 ●獣医ウィルス学 ●獣医寄生虫学 ●獣医学概論 ●獣医療倫理・動物福祉学 ●生物統計学演習	●獣医解剖学実習 ●獣医組織学実習 ●実験動物学実習 ●獣医生化学実習 ●獣医寄生虫学実習
3年次	専門科目	●獣医病理学A ●獣医病理学B ●獣医生理学C ●獣医薬理学A ●獣医薬理学B ●毒性学A ●毒性学B	●獣医公衆衛生学 ●食品衛生学A ●食品衛生学B ●野生動物医学 ●獣医伝染病学A ●獣医国際防疫学 ●放射線生物学	●獣医繁殖学A ●獣医繁殖学B ●獣医内科学総論 ●獣医外科学総論 ●獣医科学英語 ●獣医病理組織学実習 ●獣医病理診断学実習	●獣医生理学実習 ●獣医薬理学実習 ●毒性学実習 ●獣医微生物・免疫学実習 ●獣医繁殖学実習 ●牧場実習
4年次	専門科目	●人獣共通感染症学 ●獣医伝染病学B ●獣医伝染病学C ●獣医衛生学 ●獣医血液病学 ●獣医臨床病理学 ●獣医内分泌代謝病学 ●獣医放射線学 ●獣医循環呼吸器病学	●獣医皮膚病学 ●獣医消化器病学 ●獣医神経病学 ●獣医腫瘍学 ●獣医泌尿器病学 ●獣医手術学 ●獣医軟部組織外科学 ●獣医麻酔学 ●獣医感覚器病学	●獣医整形外科学 ●大動物診断治療学A ●大動物診断治療学B ●獣医臨床薬理学 ●獣医臨床栄養学 ●動物行動治療学 ●獣医学関連法規 ●獣医公衆衛生学実習 ●食品衛生検査学実習	●獣医衛生学実習 ●獣医放射線学実習 ●獣医内科学実習 ●獣医麻酔・手術学実習 ●臨床基礎実習 ●大動物臨床A ●（獣医卒業研究）
5年次	専門科目	●総合臨床 ●大動物臨床A ●大動物臨床B ●大動物診療実習	●獣医科学英語演習 ●動物行動解析学 ●獣医感染制御学 ●獣医環境科学	●食品循環科学 ●獣医環境感染学 ●産業動物病性鑑定特論 ●産業動物生産獣医療	●獣医感染制御学実習 ●獣医環境科学実習 ●（獣医卒業研究）
6年次	専門科目	●獣医学演習	●獣医卒業研究		

獣医師 国家試験合格率　平成30年度実績（新卒のみ）　大阪府立大学　91.3%　（全国　91.7%）
令和元年度実績（新卒のみ）　大阪府立大学　95.3%　（全国　94.2%）

資格・受験資格

■獣医師〈受験資格〉獣医師免許取得に伴う資格：と畜検査員/食鳥検査員/狂犬病予防員など
■食品衛生管理者　■食品衛生監視員　■飼料製造管理者　■環境衛生監視員　■家庭用品衛生監視員
■中学校教諭一種免許状（理科）　■高等学校教諭一種免許状（理科）

想定される進路

■大・小動物の臨床獣医師　■公・民の試験研究機関　■製薬会社などの各種企業
■公衆衛生・家畜衛生にかかわる行政機関　■大学院への進学　など

応用生命科学類
School of Applied Life Sciences

生命機能化学課程 ／ 植物バイオサイエンス課程
Applied Biological Chemistry　Plant Biosciences

動物・植物・微生物にかかわる バイオサイエンス・バイオテクノロジーで、食料問題や医療、環境問題の改善・革新をめざします。

あらゆる生命体を対象に多様な生命現象の解明とその応用に関する教育・研究を行い、広範なバイオサイエンス・バイオテクノロジー領域で活躍できる技術者・研究者を育成します。本学類では1年次での学類共通学修の後、2年次より化学をベースとする「生命機能化学課程」と植物科学を学ぶ「植物バイオサイエンス課程」の2課程に分かれ、専門性を深めます。1年次の必須科目として「生命環境科学概論」を開講。各課程の専任教員がそれぞれの専門分野を生かし、生命環境科学の諸分野に対する基礎知識を指導します。豊富な実験・実習を通じて経験を積み、高度な専門分野へ段階的に進んでいきます。

食品分野の専門職業人を養成する「食品安全科学プログラム」。

生命機能化学課程では、食品化学・食品製造学・食品衛生学・公衆衛生学など、食品や食環境に関わる幅広い科目を連携。食品の加工・貯蔵から流通、さらには食品衛生に至る総合的知識を修得します。このプログラムの履修を通じ、食品産業や健康産業の発展、食品安全行政など「食の安全」に貢献できる専門技術を磨くことができます。

進展のめざましい植物工場科学領域を支える技術者を養成する「植物工場科学副専攻」。

植物バイオサイエンス課程では、2年次から生命環境科学域の緑地環境科学類と工学域の機械系学類機械工学課程と共同して「植物工場科学副専攻」を開講します。学域間融合を実践し、生命環境科学と工学の両者の知識と技術を身につけた植物工場に関する専門技術者を養成します。

「食生産科学副専攻」では、動物性と植物性、学問の異なる両面より考え、行動できる「食のスペシャリスト」を養成。

植物バイオサイエンス課程では、2年次から獣医学類と共同して「食生産科学副専攻」を開講。「食料」の生産から加工、流通、消費に至る国内・国外の経路における複雑なフード・システムの現状やリスク分析を行い、同時に、リスク・マネジメントの実例を「食」に関する行政機関や「食」関連施設などで、体験的に学ぶことができます。

最先端の設備と、豊かな自然環境が共存するキャンパスで実践的な教育研究を展開。

本学類の主要拠点である「先端バイオ棟とB11棟」には、遺伝子解析や蛋白質解析など最新設備が充実。生命機能の解析・改良・改変を実践することができます。また、キャンパス内の自然環境を生かした「教育研究フィールド」には、水田、果樹資源園、ガラス温室などの植物生産環境が充実しており、実践的な学修が可能です。

履修モデル（履修の一例）

1年次

共通教育科目	●初年次ゼミナール ●臨床心理学への招待 ●現代日本の政治と経済 ●憲法 ●自然環境学概論 ●Academic EnglishIA ●Academic EnglishIB ●Academic EnglishIIA ●Academic EnglishIIB ●健康・スポーツ科学演習I ●情報基礎（情報社会と情報倫理を含む）
専門基礎科目	●数学I ●物理学A ●物理学実験 ●化学A ●化学B ●化学実験 ●生物学A ●生物学実験
専門科目	●生命環境科学概論 ●基礎生化学 ●基礎生命科学

経過選択制による課程配属（2年次前期より）

2年次

	生命機能化学課程	植物バイオサイエンス課程
共通教育科目	●医療と社会 ●Academic English Ⅲ ●Academic English Ⅳ	●Academic English Ⅲ ●Academic English Ⅳ
専門科目	●微生物学I ●微生物学II ●生物物理化学I ●生物物理化学II ●有機化学I ●有機化学II ●生物有機化学実験 ●生物物理化学実験 ●代謝生化学 ●酵素化学 ●生物無機化学 ●分子細胞生物学 ●機能分子生物学	●細胞分子生物学I ●細胞分子生物学II ●細胞生化学 ●植物生理学 ●生物統計学 ●基礎微生物学 ●一般遺伝学 ●植物発生・形態学 ●ゲノム生物学 ●植物育種学 ●植物バイオサイエンスフィールド実習A ●植物バイオサイエンスフィールド実習B ●植物生理生態学基礎実験 ●植物科学基礎実験 ●育種・病理学基礎実験 ●植物バイオテクノロジー概論 ●植物系統分類学 ●植物病理学 ●分析化学 ●植物工場科学

3年次

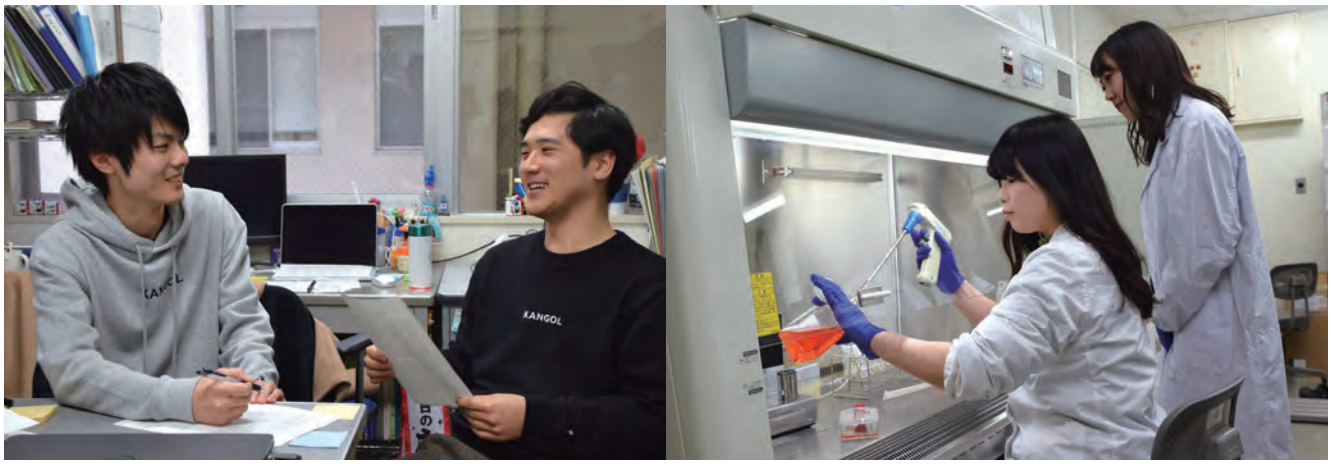
共通教育科目		●地域から見たアジア史
専門科目	●生体成分実験 ●微生物学実験 ●有機構造解析学 ●食品化学 ●生体分子合成法 ●構造生物学 ●分子遺伝学 ●発酵生理学 ●栄養生化学 ●生命機能化学概論 ●天然物化学 ●糖質科学 ●応用微生物学 ●生物環境化学 ●食品衛生学 ●生物資源利用学 ●応用酵素学	●生命と科学の倫理 ●土壌・植物栄養学 ●植物科学英語 ●分析化学基礎実験 ●バイオテクノロジー基礎実験 ●生化学基礎実験 ●植物バイオサイエンス演習 ●植物分子育種学 ●機能ゲノム科学 ●植物バイオサイエンス情報処理演習 ●園芸生産学 ●植物保護学 ●LMO管理学 ●HACCPシステム論 ●植物バイオサイエンスインターンシップ ●植物化学

4年次

専門科目	●科学英語A ●科学英語B ●生命機能化学卒業研究	●植物バイオサイエンス卒業研究

生命機能化学課程

次世代のバイオサイエンスを担う人材を育成



バイオサイエンス・バイオテクノロジーにかかわる専門職業人の養成をめざし、その化学的な側面を重視した教育研究を行います。生化学・分子生物学、有機化学、物理化学、微生物学などの基礎的な科目を学び、動物、植物、微生物などあらゆる生物の生命現象や生命維持機能の仕組みなど生命科学の理論について分子レベルでの理解を深めます。また、化学に関する知識や分析法を駆使することにより、生物資源や生命機能を生活や産業さらには環境保全・修復などに利用するための応用領域についても学修します。さらに、食品の製造、加工、貯蔵から食品衛生、健康科学に至る幅広い知識を学ぶカリキュラムコースとして「食品安全科学プログラム」を設け、食品産業や健康産業、食品安全行政などで活躍できる人材も育成します。

1・2年次

有機化学、生化学、分子生物学などバイオサイエンス、バイオテクノロジーの基礎となる科目を履修します。
また、生体試料の取扱いや分析方法などの基礎的な実験技術を取得します。

3年次以降

応用面を重視した専門性の高い教科を履修するとともに、遺伝子操作などの先端的な実験・研究を体験し、広範な応用生命科学領域で活躍するために必要な、高度な知識と技術を身につけます。

食品安全科学プログラム

食品化学、食品製造学、さらに食品衛生学や公衆衛生学など、食品や食環境にかかわる幅広い科目を履修し、食品分野の専門職業人をめざすためのカリキュラムコースです。3年次よりスタートします。食品衛生管理者・食品衛生監視員としての資格取得をめざすための科目も充実しています。

課程HP

教員紹介

資格・受験資格

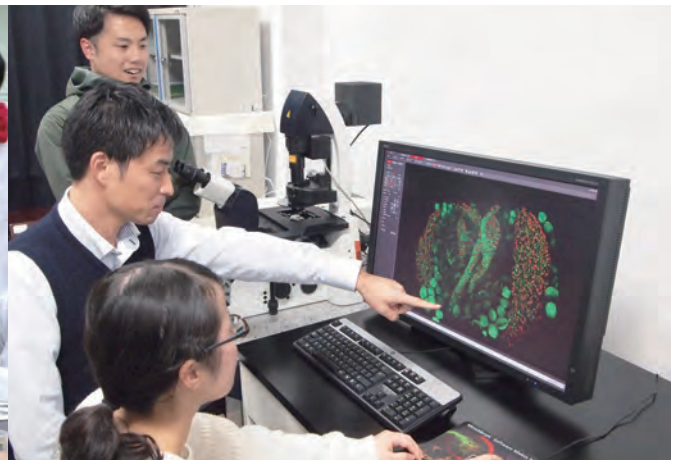
- ■中学校教諭一種免許状（理科）
- ■高等学校教諭一種免許状（理科・農業）
- ■甲種危険物取扱者（受験資格）
- ■食品衛生管理者
- ■食品衛生監視員
- ■毒物劇物取扱責任者

想定される進路

- ■食品・医薬品産業、化学工業、資源・エネルギー・環境産業などの化学系・生物系の各種関連企業
- ■大学院への進学

植物バイオサイエンス課程

限りない植物の可能性でヒトの未来を拓く



バイオサイエンス、バイオテクノロジー、バイオインフォマティクスなどを学修することで、植物を中心とした様々な生物の機能を分子レベルで解析・理解する能力を身につけ、生活の向上と健全な環境の創成に貢献できる専門職業人を養成します。本課程では、生化学・分子生物学などを基盤とした植物および植物に付随する微生物の未知機能の探索から有用遺伝子の新機能評価、ゲノム科学や遺伝・育種学を基盤とした新品種の開発、持続的利用のための栽培技術に至るまで、幅広い学問領域について体系的な専門教育を行います。さらに、「食生産科学副専攻」と「植物工場科学副専攻」を開講し、食の安心・安全を検証できる人材と植物工場専門技術者を養成します。

1・2年次

共通教育科目および専門基礎科目によって、植物バイオサイエンスを学ぶために必要な生命科学の基礎知識を学修します。また、植物や微生物の複雑な生命現象の理解に必要な分子生物学などの研究手法を身につける実験と、植物の機能を利用するための基礎知識を習得するためのフィールド実習も始まります。

課程HP

3年次以降

3年次になると、より専門的で応用的な講義と、植物科学に関わる実験により、専門分野の知識と技術を高めるとともに、3年後期からは各研究グループに所属して卒業研究の準備としての演習が始まります。4年次は卒業研究がスタート、教員によるマンツーマン指導のもとに取り組みます。3年次までに学んだ知識と技術を活用して、植物科学の疑問を実験的に解き、人に説明する力を身につけます。

食生産科学副専攻

植物バイオサイエンス課程と獣医学類が共同で行う2年次からの教育プログラムです。植物と動物の特性の相違点や類似点を理解すること、食料そのものに対する科学的な理解を深めることを目標にした両者の交流型教育プログラムと、「食料」の生産、加工、流通、消費に至るフード・システムと食のリスク・マネジメントの実際を理解することを目標とした両者の融合型教育プログラムを行います。

植物工場科学副専攻

生命環境科学領域の「植物工場科学」、「植物環境調節学」、工学領域の「バイオプロダクション工学」、「生産システム工学」などの講義科目に加えて「植物工場実習」と「植物工場科学演習」の実習・演習科目を履修し、植物工場に関する専門知識と技術を身につけます。

資格・受験資格

- ■中学校教諭一種免許状（理科）
- ■高等学校教諭一種免許状（理科・農業）
- ■食品衛生管理者
- ■食品衛生監視員

想定される進路

- ■食品・医薬品・化学関連企業
- ■行政機関の農業関連部門
- ■大学院への進学

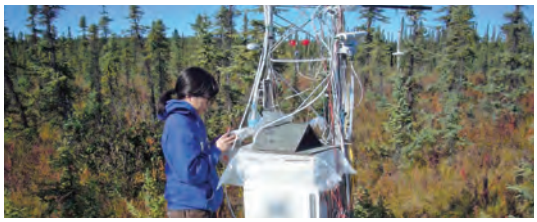
緑地環境科学類
School of Environmental Sciences and Technology

生命を育む緑地を多様な視点から科学し、循環型社会の構築をめざします。

本学類では、4年間の講義、キャンパスに広がる豊かな緑地環境や学外フィールドを活用した実験・実習、最新の実務に触れるインターンシップ、さらに指導教員のもとでの卒業研究を通じて、健全な緑地環境や都市圏を守り創造するために必要な専門的知識・技術や問題解決能力、さらに広領域に渡る研究やプロジェクトを自主的、計画的に推進する能力を備えた緑と環境のスペシャリストを養成します。卒業後は、自然環境・生態系などのモニタリングや保全、創造、維持管理にかかわる専門職業人として、今後益々ニーズが高まる企業、行政機関の環境関連分野、食料生産やその基盤整備分野、都市計画・環境資源管理分野などの各方面で活躍できます。さらに高度な専門技術や自立した研究能力の習得をめざし、大学院に進学し、自らをより向上させることもできます。

農学と工学、さらに生態学や環境学、社会科学を発展・融合させ、持続可能な地域の将来を考える新しい環境科学分野

本学類は、大気、水、土、生物などの環境要素と人間活動との相互作用によって成立する緑地を扱うため、農学と工学をベースに生態学や環境学、社会科学を融合させた学問領域です。生態気象学・生物環境調節学・土環境学・水環境学・生産環境学、そして緑地計画学・緑地保全学・地域生態学・環境動物昆虫学という9つの主研究分野の連携により、持続可能な地域の将来を創造する総合力を養います。



甲子園球場約 12 個分のキャンパスに広がる豊かな緑地環境 都市と自然の共存を学ぶ環境が身近に存在

200種以上の樹木や、周囲の水田に水を供給する役割を担ってきた池がある中百舌鳥キャンパス。そこには、植物を中心に、微生物から昆虫、野鳥など多様な生き物が生息しています。大阪という都市圏と共存する広大な緑地環境の中、緑の機能やこれからの都市計画のあり方について体験的に学修できます。

農林業や里地・里山保全の最新の取り組みを学び、実践する学外実習

大阪府の関係機関や地元堺市をはじめ周辺市町村、里山保全ボランティア団体と連携。農林業や里山保全の最新の取り組みを学修し、実践するため、専門科目の実験・実習では、学外での実習プログラムを豊富に準備しています。

農林水産省の研究機関、環境関連の民間企業などで専門性の高い体験実習を行うインターンシップ

インターンシップ先には、農林水産省の研究機関や地方事務所、民間の環境関連の調査機関やコンサルタント会社など、緑地環境科学に関わる諸機関を用意。1週間程度の体験実習により、専門領域に対する社会的な要請やその位置づけを理解することはもちろん、問題意識や実社会への対応能力を向上させることができます。

履修モデル（履修の一例）

1年次	共通教育科目	●初年次ゼミナール ●文字情報の伝達と文化 ●環境・生命・倫理	●生命環境科学入門 ●自然環境学概論 ●Academic EnglishIA	●Academic EnglishIB ●Academic EnglishIIA ●Academic EnglishIIB	●情報基礎（情報社会と情報倫理を含む） ●健康・スポーツ科学演習I
	専門基礎科目	●数学I ●物理学A	●化学A ●生物学A	●地球システム科学	
	専門科目	●自然環境保全論（環境倫理を含む）		●生命環境科学概論	●緑地環境科学入門演習
2年次	共通教育科目	●Academic English Ⅲ	●Academic English Ⅳ		
	専門基礎科目	●統計学基礎I	●生物学実験		
	専門科目	●気象環境学 ●植物生態学 ●動物生態学 ●植物形態分類学	●動物形態分類学 ●環境生態学 ●計測工学 ●緑地学原論	●緑地水文学 ●植物環境物理学 ●構造力学 ●地理情報計測学	●環境マネージメント論 ●地理情報計測学実習 ●緑地環境科学実習演習I
3年次	共通教育科目	●文化人類学入門			
	専門科目	●緑地科学英語 ●植物環境生理学 ●土壌物理学 ●水理学 ●社会調査論	●自然環境アセスメント論 ●緑地保全学 ●緑地環境科学実習演習IIA ●生産環境システム学 ●緑地環境施工法（職業倫理を含む）	●都市環境デザイン ●エコロジカルプランニング ●環境動物昆虫学 ●都市気候環境学 ●緑地環境科学実習演習IIB	●水環境管理学 ●環境緑化学 ●循環型社会システム論 ●地域環境経済学
4年次	専門科目	●専攻セミナーI ●専攻セミナーII	●里地里山管理学実習 ●緑地環境科学卒業研究		

1年次
共通教育・専門基礎科目を中心として、緑地環境科学や自然保護に関わる入門的な科目を履修します。4年間の学習の基盤を培います。

2年次
緑地や都市圏を構成する環境要素を扱う基礎的な科目を多面的かつ総合的に学習します。幅広い視点を獲得し、総合的に緑地環境に取り組む素養を養います。

3年次
緑地学や環境工学、社会科学に関連する専門的な科目の学習を深めます。緑地環境の保全・創成に携わるための広範な関連分野を理解し、卒業研究に備えます。

4年次
指導教員のもとで卒業研究に取り組みます。また、「里地里山管理学実習」など実際の緑地環境を舞台に体験学習に取り組み、社会で活躍するための実力を磨きます。

植物工場科学副専攻
応用生命科学類植物バイオサイエンス課程および工学域機械系学類機械工学課程と共同で行う2年次からの教育プログラムです。工学領域と生命環境科学領域の両方の知識と技術を身につけた植物工場専門技術者を養成します。

ピックアップ講義

資格・受験資格

- ■測量士補
- ■測量士
- ■1・2・3級造園技能士
- ■1・2級土木・造園等施工管理技士
- ■日本コンクリート工学協会認定 コンクリート技士・コンクリート主任技士
- ■土木学会認定　2級土木技術者
- ■日本緑化センター認定　樹木医補
- ■日本緑化センター認定　自然再生士補
- ■登録ランドスケープアーキテクト（RLA）
- ■中学校教諭一種免許状（理科）
- ■高等学校教諭一種免許状（理科、農学）

想定される進路

■環境や食料生産とその基盤整備に関連する企業・行政機関　■都市計画や環境資源管理に関連する企業・行政機関　■大学院への進学　など

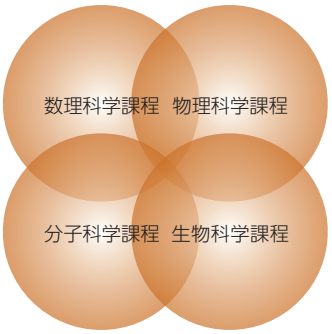
理学類
School of Science

数理科学課程 Mathematical Science ／ 物理科学課程 Physical Science ／ 分子科学課程 Chemistry ／ 生物科学課程 Biological Science

真理の探求と先端技術への応用。サイエンスの中核を成す数学、物理学、化学、生物学を深く学びます。

自然現象の本質を解明し、理解することをめざします。サイエンスの中核を成す数学、物理学、化学、生物学を深く学び、幅広い知識と主体的な探求心を科学技術の創造に役立てる力を育てます。豊富な演習や実験、ディスカッションにより論理的思考力、コミュニケーション能力を磨きながら各自の専門性を確立していきます。

大学院と連携した高度な専門内容を、系統的なカリキュラムと教育体制により、効果的に修得します。



本学類の数理科学課程（平成30年度開設）、物理科学課程、分子科学課程、および生物科学課程はそれぞれに連携する理学系の大学院を設置しているため、これらの世界的な研究内容を生かし、最新の自然科学に基づく授業を展開しています。こうした高度な専門内容を着実に修得するため、本学類独自の系統的なカリキュラムと教育体制を設定しました。大学の授業を受講する基礎を培う導入教育や、幅広い分野を学んだうえで自分の課程を選択することができる1年次の基礎科目はその一例です。さらに2年次後期・3年次前期の演習・実験・実習などの実践的科目により、研究活動の基盤を築きます。そして、3年次後期に研究室において、より専門性の高い演習・実験・実習を体験します。こうして段階的に成長し、自分の専門分野に進みます。

豊富な英語教育と、国際的環境

科学者として国際的に通用するコミュニケーション能力を養うため、1・2年次には英語科目12単位を必修とし、英語力の向上をめざします。2年次以降には「科学英語」科目を設置しています。さらに、世界で活躍するためのプレゼンテーション能力を育みます。また、海外において第一線で活躍されている研究者をゲストプロフェッサーとしてお招きし、英語による専門科目の授業を受講することができる機会も提供しています。

学問の創造性を育む緑あふれる教育空間

理学類はサイエンス棟などを中心とした、最先端の教育研究環境を実現しています。室内の可視化や安全性に配慮した設計がなされ、建物各所に配されたオブジェも研究環境に潤いを与えます。さらに、サイエンス棟に併設されたサイエンスホールでは、国内外の著名な研究者による講演会が数多く開催されており、最新の成果について活発に意見交換を行うことができる環境が整備されています。また、緑豊かなホール前は、分野を超えた研究者や学生たちの交流の場として、利用されています。

少人数制と有機的なカリキュラムによる効果的な学修

講義と実験・演習を有機的に組み合わせたカリキュラムで効果的に学修できるよう、課程ごとに講義・実験・演習を適正な人数で開講します。また、初年次の少人数ゼミナールをはじめ、一貫した少人数教育で高度な知識や技術を緻密に教授します。さらに、学生アドバイザーによる履修指導で自分に最適な科目選択が可能です。

履修モデル（履修の一例）

1年次

共通教育科目

- 初年次ゼミナール
- Academic English IA･IB･ⅡA･ⅡB
- 情報基礎（情報社会と情報倫理を含む）
- スポーツと社会
- 社会に活きる科学

専門基礎科目

- 線形代数Ⅰ･Ⅱ
- 解析学基礎Ⅰ･Ⅱ
- 物理学Ⅰ･Ⅱ
- 化学Ⅰ･Ⅱ
- 物理学実験
- 生物学Ⅰ･Ⅱ
- 化学実験
- プログラミング入門
- 生物学実験
- 線形代数演習
- 解析学基礎演習
- 統計学基礎

専門科目

- 生命環境科学概論

経過選択制による課程配属（2年次前期より）

数理科学課程	物理科学課程	分子科学課程	生物科学課程

2年次

共通教育科目

- Academic English Ⅲ･Ⅳ
- 人間学入門
- 臨床心理学への招待
- 現代日本の政治と経済
- 憲法

専門科目

数理科学課程	物理科学課程	分子科学課程	生物科学課程
●科学英語 ●代数学Ⅰ･Ⅱ ●代数学演習Ⅰ･Ⅱ ●幾何学Ⅰ･Ⅱ ●幾何学演習Ⅰ･Ⅱ ●解析学Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ ●解析学演習Ⅰ ●数値解析学 ●確率統計Ⅰ･Ⅱ	●物理数学A ●物理数学B ●科学英語 ●力学Ⅰ ●力学Ⅱ ●電磁気学Ⅰ ●電磁気学Ⅱ ●力学･電磁気学演習Ⅰ ●力学･電磁気学演習Ⅱ ●物理科学実験 ●演示学生実験Ⅰ ●固体物理学A ●計算物理科学 ●宇宙物理学A	●科学英語（化学） ●科学英語 ●量子化学Ⅰ･Ⅱ ●物理化学Ⅰ･Ⅱ ●有機化学Ⅰ･Ⅱ ●無機化学Ⅰ･Ⅱ ●物理化学演習Ⅰ ●分子科学実験Ⅰ ●分子構造解析Ⅰ ●有機立体化学 ●化学熱力学	●細胞生物学Ⅰ･Ⅱ ●生物系機器分析学 ●生物統計学 ●科学英語 ●生物科学実験Ⅰ ●基礎物理化学 ●基礎有機化学 ●生物有機化学 ●分子生物学Ⅰ ●分子生物学Ⅱ ●生化学Ⅰ･Ⅱ ●放射線生物学 ●進化系統学 ●生態学Ⅰ･Ⅱ

3年次

専門科目

数理科学課程	物理科学課程	分子科学課程	生物科学課程
●代数学Ⅲ ●情報理論 ●符号理論 ●暗号理論 ●幾何学Ⅲ･Ⅳ ●現代積分論 ●複素関数論 ●関数解析学 ●関数方程式論Ⅰ･Ⅱ ●数理統計学Ⅰ･Ⅱ ●数理ファイナンスⅠ･Ⅱ ●応用統計学 ●応用数理シミュレーション ●応用数理シミュレーション演習 ●数理論理学	●物理数学C ●科学英語（物理） ●量子力学Ⅰ ●量子力学Ⅱ ●量子力学演習Ⅰ ●量子力学演習Ⅱ ●統計物理学Ⅰ ●統計物理学Ⅱ ●統計物理学演習Ⅰ ●統計物理学演習Ⅱ ●演示学生実験Ⅱ ●物理科学専門実験 ●固体物理学B ●固体物理学C ●宇宙物理学B ●相対性理論 ●流体力学 ●地殻進化学 ●構造地質学	●有機化学Ⅲ･Ⅳ ●物理化学Ⅲ ●機能物質化学Ⅰ･Ⅱ ●無機化学Ⅲ ●物理化学演習Ⅱ ●分子構造解析Ⅱ ●有機化学演習Ⅰ･Ⅱ ●英語分子科学 ●無機化学演習 ●分子科学実験Ⅱ ●分子科学課題実習	●生物物理化学 ●生物科学実験Ⅱ ●生物科学課題実験 ●タンパク質化学 ●細胞生物学Ⅲ･Ⅳ ●生化学Ⅲ･Ⅳ ●構造生物学 ●遺伝学 ●植物生理学 ●微生物学 ●遺伝子工学 ●環境応答制御論 ●生物科学課題演習 ●野外実習Ⅰ･Ⅱ ●数理生態学

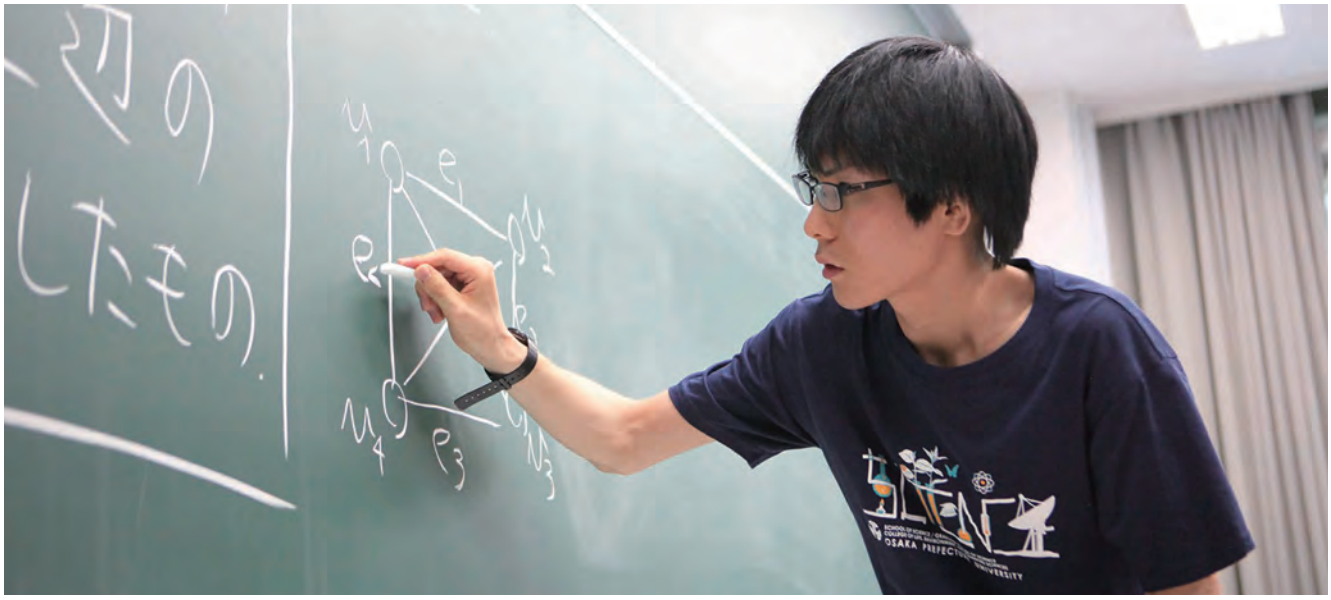
4年次

専門科目

数理科学課程	物理科学課程	分子科学課程	生物科学課程
●数理科学演習Ⅰ ●数理科学演習Ⅱ ●数理科学卒業研究	●量子力学Ⅲ ●固体物理学D ●物理科学演習Ⅰ ●物理科学演習Ⅱ ●物理科学卒業研究	●分子科学演習Ⅰ ●分子科学演習Ⅱ ●分子科学卒業研究	●生物科学演習Ⅰ ●生物科学演習Ⅱ ●生物科学卒業研究

数理科学課程

進歩し続ける数理科学の最前線へ
独創的思考で現象の解明や応用に挑戦します。



数理科学とは、数学とその応用を学ぶ学問です。数学といえば、微積分の計算や、方程式の解法などが思い浮かぶでしょう。しかし、雪の結晶、森の生物の動態、電子投票システムの設計、金融派生商品の価格付けなど、我々が住む世界は意外なほど数学と関係しています。数学を学ぶ醍醐味は、全く無関係に見える出来事が、構造を捉えると本質的に繋がっていることを知る驚きと喜びです。

そのためには、きちんと段階を踏んで理論を理解すること、知識に基づいて正確な計算を行うこと、論理的に誤りなく推論することが重要です。数理科学課程では、これらの能力を育み、科学的な態度を身につけることを教育目標とします。それは、学問分野のみならず、社会のあらゆる場所で必要とされるからです。表層の奥に潜む真理の探究に、ぜひ挑みましょう。

分野

代数学・幾何学
環論、ホモロジー代数学、代数的位相幾何学、数理論理学など、純粋数学と呼ばれる理論的な分野の研究、および暗号理論、代数的符号理論、グラフ理論など、他の諸科学への応用を目指した分野の研究を行います。

確率過程・統計学
確率過程では、非決定論的な現象において成立する確率法則を、確率モデルを設定し数理的に解析して探求していきます。また、統計学では、不確実性を含むデータから、有用な情報を抽出するためのデータ解析手法とその応用について研究します。

解析学・応用数学
自然現象や社会現象をモデル化した常微分方程式や偏微分方程式の解の性質を、フーリエ解析や関数解析、複素関数論などを駆使して理論的に研究します。

資格・受験資格

■中学校教諭一種免許状（数学）　■高等学校教諭一種免許状（数学）

想定される進路

■情報・通信、コンピュータ、金融などの各種企業　■公務員、教員　■大学院への進学

物理科学課程

宇宙・地球から、ナノサイズの世界までを対象に、多様な自然現象の発見と解明をめざします。

物理科学課程では、自然現象、とくに物理現象の解明とその背後にある基礎的な原理・法則の発見、およびその応用をめざしています。光、電子、原子、分子などが主役となって多彩な現象を示すミクロな世界から地球、宇宙のマクロな世界までを対象としています。本課程では、自然科学の根底に横たわる物理科学の基礎を学びます。ある現象がどのようにして起きるのか、どのような法則に基づいているのかを探るための方法として、実験的、理論的手法を学ぶとともに、論理的な思考方法の習得に努めます。科学的な考え方に基づく判断能力を培うとともに、コミュニケーション能力を養い、将来、さまざまな分野で広く活躍できる人材を養成することをめざしています。物理科学課程は進取の精神と熱意のあるみなさんをお待ちしています。

分野

- **物性理論**：多様な微視的世界の現象から新しい自然法則の探究をめざします。
- **光物性**：光と物質の相互作用を探究し、あらたな機能の発現をめざします。
- **分子磁性**：電子スピンを使って、新しい個性をもつ物質を創ります。
- **数理物理**：理論物理と数学の両分野を横断的に研究します。
- **熱電物性**：物質の熱電特性を理解・制御することをめざします。
- **構造物性**：物質の性質や機能を原子・分子レベルの構造情報から解明します。
- **宇宙物理**：宇宙電波観測により、銀河や星の誕生・進化を探ります。
- **地球科学**：地球物質と地球の活動について地球史を通して探求します。
- **生体光物理**：生命現象とのアナロジーに基づく新しい光科学技術を開拓します。
- **極限物性**：強磁場と超低温の複合極限環境下で新奇物性を探求します。
- **非線形物理**：多様で複雑な自然現象に数理物理的な立場からアプローチします。

資格・受験資格

■中学校教諭一種免許状(理科)　■高等学校教諭一種免許状(理科)

想定される進路

■IT、エレクトロニクス、鉄鋼、科学などの各種企業　■大学院への進学

分子科学課程

「化学」をキーワードに、新しい分子の設計・合成と性質の解明、新しい化学反応の開拓にとりくみます。

分子科学は、「化学（Chemistry）」をキーワードとして、さまざまな物質の構造と性質およびそれらの相関関係を実験と理論の両面から解明し、100種類あまりの元素を自在に活用して、新しい化学反応の実現と優れた機能を持った物質の設計・創造に取り組む、あらゆる先端科学の基盤となるサイエンスです。また、資源、環境、エネルギーといった人類が直面するさまざまな課題を解決するうえで中心的役割を果たすものと考えられています。分子科学課程では、無機化学、有機化学、物理化学などを中心に物質そのものの科学である化学を学びます。フレッシュな感性と知的好奇心に満ちたみなさん！ 化学を学ぶ楽しさや未知の現象を発見する感動を私たちとともに味わってみませんか？

分野

分子創製科学	有機分子を合成する新しい化学反応の開拓と応用、生物活性を有する天然有機化合物の合成研究、フッ素化された化合物の合成と応用などの研究を実施します。
分子機能科学	有機金属クラスター錯体の創成と反応性、不斉合成などの精密有機合成反応や効率的化学反応の開発、新しい機能性有機分子材料の開拓と物性解明などの研究を展開します。
分子解析科学	複雑な分子集合体や機能性材料の理論計算、導電性・光応答性・磁性等の機能性を有する新しい有機分子材料の開拓と物性の解明、パルスレーザー法や質量分析法による原子・分子・イオンの性質の解明などを研究します。

資格・受験資格

■中学校教諭一種免許状(理科)　■高等学校教諭一種免許状(理科)　■毒物劇物取扱責任者　■甲種危険物取扱者（受験資格）

想定される進路

■化学系を中心に電子材料・製薬・化粧品・資源・環境・エネルギー・電機・機械など各種企業・行政機関　■大学院への進学

生物科学課程

ミクロな生体分子からマクロな個体・生態系までを研究し、生命の普遍性と多様性を追及する。あなたの興味を深化させながら、生物科学のスペシャリストになるための環境があります。

生物の示すさまざまな生命現象は実に不可思議です。この生命現象のしくみを、ミクロな生体分子からマクロな生物個体や生態系までのさまざまなレベルで明らかにしていくのが、生物科学のおもしろさです。生物科学課程では、種を超えて存在する普遍的な生命反応のしくみを理解するとともに、環境に応じて進化した生物の多様性についても学習し、生命とは何か、を考えます。21世紀は生物・生命科学の時代といわれています。生物科学課程には、あなたの興味を大切にしながら生物科学のスペシャリストになるための教育研究環境が整備されています。

分野

生体分子科学領域
生物を分子レベルで解析し、さまざまな生命現象の解明や有用物質（新規の酵素や薬物など）の開発をめざします。生体分子を知り、利用し、そしてこれを超える分子を創るための研究です。

分子細胞生物学領域
生物を細胞レベルで解析し、遺伝子の制御や細胞の増殖・分化・情報伝達の仕組みなどを解明することで生命の本質に迫ります。放射線や環境汚染物質の生物に対する影響、がん、再生医療、ホルモンや神経系など、人の健康と深くかかわる研究です。

生物環境科学領域
生物の環境への適応とその生理機構、生物間の相互作用と生態系機能、生物の多様性の維持や進化の仕組みなどの解明をめざします。実験的研究とフィールドワークに加えて理論的研究も実施します。

資格・受験資格

■中学校教諭一種免許状（理科）　■高等学校教諭一種免許状（理科）

想定される進路

■食品・医薬品・化粧品等に関連する企業　■教員・公務員　■大学院への進学

学類詳細はP.43から

獣医学類

Topics

多様な研究者が集い、都市で獣医学を学ぶ／獣医病理学教室取材レポート

Pervin Munmunさん（研究科4年 / 取材当時）
私は、バングラデシュで獣医学の大学教員をしているのですが、博士課程への進学として、国際的に見ても、日本は獣医学において非常に研究が進んでいる先進国であり、バングラデシュには大阪府立大学の卒業生も多くてとても有名でしたので、府大を選びました。
母国へ帰った後は、ここで得た知識・能力をさらに広めて行きたいです。教員として、学生に研究や検査方法を指導することはもちろん、動物の死後に、その病因を探索するために病理組織検査をするということを広めていければと考えています。

全文はWEBから

学類詳細はP.45から

応用生命科学類

Topics

「気負わずに、自然体に！」ユーグレナ研究・中澤昌美先生

初めて「ユーグレナ（ミドリムシ）」に出逢ったのは大学３年生の授業の時です。「すごく変わった生き物がいる」、「微生物を食べ物（栄養源）として使うアプローチが過去にあった」などの話を聞いて、「そんな面白い生き物があるんだ」と興味を持ったのがきっかけです。
その後、ユーグレナに関わる研究室に配属され、研究室でもともと伝統的に進められている研究テーマに関わりながら、その中からさらに自分が面白いと思う方向にアレンジしながら研究を進めています。

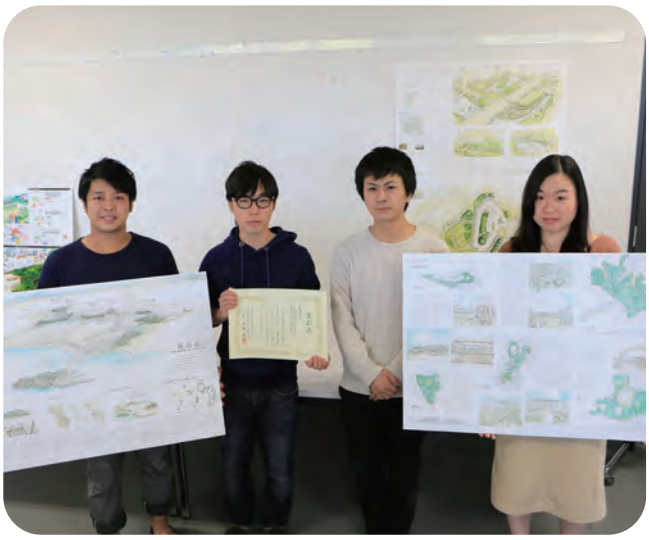
全文はWEBから

学類詳細はP.49から

緑地環境科学類 Topics

日本造園学会学生アイデアコンペ最優秀賞レポート／緑地計画学研究室

藤沢市の緑の都市軸を対象にしたコンペに「陸の島」と題した作品を提案しました。市街地に残る緑の丘陵を江ノ島と対比する陸の島に例え、まちの新たなランドマークを創出することを考えました。この作品は机上の検討だけで出来上がったものではなく、グループ全員で現地へ赴き、フィールドワークを重ねることで生まれたアイデアをかたちにしたものです。「現場百遍」と言われるように、自分の目で現場を見ることではじめて見えてくるものがあることを実感しました。まちを大きく改変するのではなく、隠された地域の資源に目を向け、土地の歴史文化に即した小さな空間によって都市のイメージに働きかけるという姿勢が、これからの成熟型のまちづくりを目指す上で、非常に重要だと思います。



全文はWEBから

学類詳細はP.51から

理学類 Topics

来たれ、受験生！理学類教員からの16のメッセージ

理学類では、実際にどのようなことを学ぶの？あるいはどのような研究が行われているの？といった、疑問を持っている受験生は多いのではないでしょうか？ そこで、理学類に所属する教員16名から受験生に向けて、理学類でどのような学びができるのか、また、自分の研究分野に対する想いなどをなるべく平易な言葉で伝えることを目的とし、動画メッセージを作成しました。理学類に対して、より具体的なイメージを持ってもらえるきっかけになれば幸いです。
（写真：加藤 希理子 准教授）

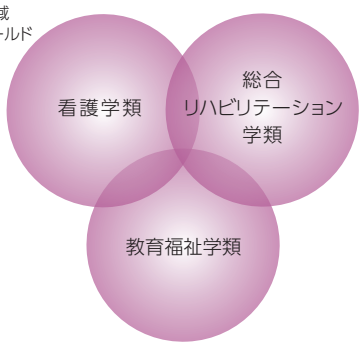
動画はWEBから

地域保健学域

College of Health and Human Sciences

看護・リハビリテーション・教育福祉を体系的に学び「人が健やかに生きる」ことを総合的に支援する力を育てます。

■地域保健学域
学びのフィールド



看護・リハビリテーション・教育福祉というこれまで個別に存在していた学問領域を統合し、人々の健やかな暮らしに影響を及ぼす現代の諸問題を総合的にとらえ、支援する力を育てる学びを展開します。
本学域では、人間に対する幅広い理解と複合的な専門性を兼ね備えた看護職、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、教員、社会福祉職などのスペシャリストの育成をめざします。

高度医療に対応する能力や、地域の看護において
自ら判断できる能力などを備えた看護専門職者を育成する

看護学類

高度医療を支える専門知識・技術と態度を備えた看護職を育成します。妊産婦、小児、成人、高齢者など、さまざまな背景を持つ人々へのケアや、健康回復や健康の保持・増進などに関する看護の知識・技術・態度を学びます。

P.61

理学療法学専攻、作業療法学専攻、栄養療法学専攻の連携教育により
多角的な考察力を備えた医療専門職者を育成する

総合リハビリテーション学類

身体機能にかかわる理学療法士、身体・精神機能にかかわる作業療法士、食物を通じた健康管理にかかわる管理栄養士を育成します。さらに、これらの能力を専門的に育成する3専攻の学びを連携。総合性を備えた高度な専門性を磨きます。

P.64

一人ひとりが尊厳をもって生きられる、より良い人生、「ウェルビーイング」。
その実現をめざし、多領域の教育・福祉専門職を育成する

教育福祉学類

福祉系・子ども家庭系、および教育系の学びを融合。人間を見つめる深い視点を養いつつ、個々の専門分野について学びを深めます。教育と福祉の連携による豊かな社会づくりは現代日本の喫緊の課題。他職種と協働できる、応用力ある専門職業人をめざします。

P.70

point pick up

- 1年次から病院や福祉施設の見学をメインとした演習・実習・フィールドワーク科目を実施。早期体験として位置づけられたこれらの科目を通じ、専門職としての意識や倫理観を高め、将来像を明確にイメージすることができます。
- 少人数制の特性を生かし、授業では、学生による発表やディスカッションを行う機会を豊富に設けています。
- 教育福祉学類の海外インターンシップ科目（海外スタディツアー）では、海外で福祉や保育などの関連施設を見学したり、現地の学生と交流します。
- 看護学類・総合リハビリテーション学類は羽曳野キャンパスで学びます。（1年次には中百舌鳥キャンパスでの授業もあります）
- 教育福祉学類は中百舌鳥キャンパスで学びます。

■国家試験合格率（6資格抜粋） 令和元年度実績

	府大	全国	
	合格率%（新卒のみ）	合格率%（新卒のみ）	合格率%（合計）
看護師	100.0%	94.7%	89.2%
保健師	100.0%	96.3%	91.5%
理学療法士	100.0%	93.2%	86.4%
作業療法士	100.0%	94.2%	87.3%
管理栄養士	96.8%	92.4%	61.9%
社会福祉士	85.3%	56.0%	29.3%

人を見つめる。科学的根拠に基づく総合的思考に優れた高度なスペシャリストを育成します。

看護、リハビリテーション、教育福祉の連携により、新しく豊かな地域社会の構築をめざします。

今、我が国は諸外国に例のないスピードで高齢化が進行しています。また、社会構造や疾病構造の変化により、心身に障がいがある人の増加や障がいの範囲も拡大しています。
これらへの対応は医療機関だけではなく、地域社会において日々の生活のなかで継続して行われる必要があります。対象の自己実現を生活の側面から支える看護、自らの人生を変革していくための手段を提供するリハビリテーションや人の尊厳と多様性を尊ぶ社会環境をつくりあげていく教育福祉など、さまざまな専門家の連携・協働こそが、生活能力を高め健やかな日常を育みます。
地域保健学域では、人を見つめ、考え、社会の理想像を教育・研究に体現化しています。看護、リハビリテーションという医療に関わる領域、さらに社会環境の基盤となる教育と福祉という幅広い学問領域のコラボレーションとして生まれた科目を学ぶことや、分野の異なる友人との交流により、これからの地域保健・福祉のあり方を多面的、総合的に学ぶことができます。
これらの学びは、多様性を尊重する概念形成を促すとともに、臨床データ等の情報の評価・分析能力を備え、科学的根拠に基づく高度な医療や教育福祉を提供できるスペシャリストとしての将来への道筋を示すでしょう。
新しく豊かな地域社会構築のリーダーとして活躍できるよう本学域で大いに学んでください。

地域保健学域長
奥田 邦晴

Profile
博士（医療福祉学）
専門分野は障がい者スポーツ、障がい者の社会参加・生活支援。日本障がい者スポーツ協会科学委員、日本ボッチャ協会代表理事。

看護学類
School of Nursing

高度医療に対応する能力や地域の看護において、自ら判断できる能力などを備えた、看護専門職者を育成します。

高度医療活動を支える専門知識・技術を備えた、「看護師」「保健師」といった看護専門職者の育成を目的としています。看護の領域が病院や保健所などの施設内から在宅や地域などの施設外へと拡大し、対象者の生活も複雑化している社会状況に対応すべく、妊産婦、小児、成人、高齢者など、さまざまな対象へのケアや健康回復や健康の保持・増進などに関する看護の知識・技術を学びます。また、看護学における「基礎」「療養支援」「家族支援」「生活支援」の４つの領域を中心に専門性を追究しながら、緩和ケア、国際保健、災害支援看護など、看護を広い社会的視野からとらえる学びを展開し、関連職種と密接な連携のもとで協働して看護を実践できる応用力ある専門職業人を育てます。さらに、看護学を基盤とした養護教諭の養成を行っています。

教育の特色

看護における講義・演習・実習を系統的に配置し、理論的知識と実践的知識の統合をめざす

人間を対象に援助を行っていく看護専門職者には、看護を科学的に探究していく思考力や医療・保健現場で役立つ専門的知識・技術はもちろん、人間に対する深い洞察力とヒューマニティが求められます。１年次は、幅広い教養が身につけられるよう共通教育科目を中心に学習します。2・3年次となるにつれ、専門科目が増え、看護知識・技術の基礎を学んでいきます。3年次後半からは、学外施設での実習がはじまり、これまで得た知識を活用し、自ら考え、看護を実践することを学びます。こうした段階的な学びを通して、単に知識だけにとどまらない看護実践力を高めるとともに、他職種と連携し、リーダーシップが発揮できる能力を養います。

看護の基礎から応用、さらには倫理観まで幅広い学問分野を学習

人間そのものや人間の生活にかかわる健康、自然、文化、社会、環境などの、さまざまな側面から看護について理解を深めていきます。具体的には看護学はもちろん、解剖生理学や生化学、医療と社会福祉学などにより、人間の身体的、心理的、社会的知識を習得します。さらに、医療遺伝学や薬理学、公衆衛生学、カウンセリング論などの科目を設置しています。

病院、老人保健施設、保健所、訪問看護ステーションなどで豊富な実習を実施

実践力を育成する場として、多くの学外実習の機会を用意しています。大阪府立系の医療機関、保健所、大阪府内の市町村保健センター、介護老人保健施設や訪問看護ステーションなど、学生の将来の進路や目的に応じたさまざまな実習施設を確保しています。

少人数制実習できめ細やかに指導

医療機関などでの実習では、学生を５人程度の小グループに分けて実習を行います。実習開始前には、目的や目標などを明確にする事前指導を行い、実習中は個別指導やカンファレンスを通しての指導、実習後には目標の達成度を学生にフィードバックする事後指導を実施するなど、きめ細やかな指導を行っています。

履修モデル（履修の一例）

1年次	共通教育科目	●初年次ゼミナール ●Academic English IA･B	●Academic English ⅡA･B ●憲法	●情報基礎（情報社会と情報倫理を含む） など	
	専門基礎科目	●解剖生理学A ●解剖生理学B	●生化学A ●微生物学概論	●公衆衛生学A ●医療と社会福祉学	●カウンセリング論
	専門科目	●生命倫理学 ●コミュニケーション論	●看護学概論 ●基礎看護技術学Ⅰ	●基礎看護学実習Ⅰ ●公衆衛生看護学概論	
2年次	共通教育科目	●Academic English Ⅲ	●Academic English Ⅳ		
	専門基礎科目	●病理学 ●疾病･治療論A ●疾病･治療論B	●疾病･治療論C ●疾病･治療論D ●医療遺伝学	●薬理学 ●疫学 ●栄養学総論	
	専門科目	●コラボレーション論 ●人間支援科学論 ●基礎看護技術学Ⅱ ●基礎看護技術学Ⅲ ●看護過程展開論 ●基礎看護学実習Ⅱ	●療養支援看護学概論 ●病態看護論 ●療養支援論:急性Ⅰ ●療養支援論:慢性Ⅰ ●療養支援論:感染 ●生活支援看護学概論:老年	●生活支援看護学概論:在宅 ●生活支援看護学概論:精神 ●生活支援論:老年Ⅰ ●生活支援論:在宅Ⅰ ●生活支援論:精神Ⅰ ●公衆衛生看護学Ⅰ	●家族支援看護学概論:母性 ●家族支援看護学概論:小児 ●家族支援論:母性Ⅰ ●家族支援論:小児Ⅰ
3年次	専門基礎科目	●保健統計学			
	専門科目	●療養支援論:急性Ⅱ ●療養支援論:慢性Ⅱ ●療養支援論:がん ●療養支援看護学実習:急性	●生活支援論:老年Ⅱ ●生活支援論:在宅Ⅱ ●生活支援論:精神Ⅱ ●生活支援看護学実習:老年	●生活援助実習 ●家族看護論 ●家族支援論:母性Ⅱ ●家族支援論:小児Ⅱ	●家族支援看護学実習:母性 ●研究方法論 ●国際保健
4年次	専門科目	●看護管理学 ●看護教育学 ●総合研究	●災害支援看護論 ●総合実習 ●療養支援看護学実習:慢性	●生活支援看護学実習:在宅 ●生活支援看護学実習:精神 ●家族支援看護学実習:小児	

ピックアップ講義

■ 実習について（過去の実績）

〈 期　間 〉 1年次　前期1週間　　2年次　後期2週間　　3年次　後期12週間　　4年次　前期8週間

〈主な実習先〉 大阪急性期･総合医療センター　　大阪はびきの医療センター　　大阪国際がんセンター　　大阪母子医療センター
大阪精神医療センター

資格・受験資格

■看護師（国家試験受験資格）

■保健師（国家試験受験資格）
※保健師科目履修者のみで、定員に制限あり
※必要な科目を履修し、保健師免許取得後、養護教諭二種免許および第一種衛生管理者免許も取得可能

■養護教諭一種免許状
※養護及び教職に関する科目を履修する必要あり

想定される進路

■病院　　■保健所･保健センター　　■学校　　■大学院への進学

学類詳細はP.61から

看護学類

Topics

「家族支援看護学実習：母性」学内演習

「家族支援看護学実習(母性)」で、約20名の学生が2つのグループに別れて、主に新生児の看護援助と、妊婦・褥婦(じょくふ:出産直後の女性)のケアに関する演習が行われました。新生児の看護援助・観察では、3,000グラムの重さがあるリアルな新生児のモデルを用いて、新生児処置台での身体計測(身長・体重)や、体温計測、呼吸の観察、心拍の聴診をはじめ、スキンシップを交えながらの全身観察を行います。また、新生児の身体を清潔にするため、おむつ交換や更衣、適切な温度を確かめながら沐浴も行われました。

全文はWEBから

「基礎看護技術学Ⅱ」レポート

看護の現場において看護師に求められる仕事は多岐にわたります。一人ひとりの患者に適切な処置を行うことはもちろん、よく観察し身体的・精神的な負担を軽減するよう十分に配慮すること、各現場における状況やルールをよく理解し他の看護師や医師との連携を図ること……。多くを求められるからこそ、看護師としての基本的な知識をしっかり身につけ、確実に経験を積んでいくことが重要です。

全文はWEBから

多様な専門領域が連携する視点を養う／地域保健学域共通科目

大阪府立大学地域保健学域は、看護学類、総合リハビリテーション学類、教育福祉学類の3つの学類を設置しています。学部時代には、看護職、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、社会福祉職や教員などの専門職を個別に育成していましたが、2012年にその養成に関わる学問領域を学域・学類として統合・再編し、「人が健やかに生きる」ことに影響を及ぼす現代の諸問題を総合的にとらえて分析し、それぞれの専門領域の視点を交じり合わせながら学びを深めていくシステムを作りました。

全文はWEBから

その他のtopics

看護学類

看護学研究科

Topics 総合リハビリテーション学類

学類詳細はP.65から

アクティブ授業レポート！
管理栄養士の卵が食生活アドバイス／栄養療法学専攻「栄養教育論実習」

実習では中百舌鳥キャンパスの学生食堂に来た学生たちに対し、栄養療法学専攻の学生が食生活アドバイスを行います。食堂に来た学生に声をかけ、最近よく食べているメニューを食品模型からセレクトしてもらい、食育SATシステム機器でそれらメニューの栄養バランスを測定します。次に身長・体重、運動の有無、食生活傾向などのアンケートに答えてもらい、SATシステムの結果とアンケート結果を見ながら、食生活について具体的なアドバイスをします。アドバイスを受けた学生たちは、その内容にうなずいていました。

全文はWEBから

地域住民参加の学内実習 ～リハビリ専門職としての緊張感～
理学療法学専攻「理学療法評価学総合演習」レポート

理学療法士として患者に関わる上で必要となる「理学療法評価」の観点を身につけるべく、実技や模擬患者とのコミュニケーションから下記のプロセスを学ぶことが目的です。地域の方々に模擬患者として羽曳野キャンパスに来ていただき、門で模擬患者さんを出迎えることから授業が始まり、問診、検査・測定、動作観察等からなる「評価」を行います。患者一人ひとりはみな違った状態ですので、患者の症状にあわせた評価を行い、それぞれに合った治療目標を立てることが重要になります。

全文はWEBから

作業療法学専攻 ～自作した補装具を装着することから見えるもの～
講義「作業療法義肢装具学Ⅱ」

今回は学生達が製作した「コックアップスプリント」と呼ばれる補装具のチェックアウトと修正を行います。この補装具の目的は、患部の固定、関節の変形予防や矯正などで、期待する効果に応じて様々な目的で作製することができます。ペアで互いの腕に合うよう製作した補装具を装着し、20～30分掛けて神経の一時的圧迫による知覚異常がないか、皮膚の色や温度を確認。
学生達は「熱を加えて変形させる為、体に装着しながら調整できない分、フィットする形を作る事が難しい」と奮闘していました。

全文はWEBから

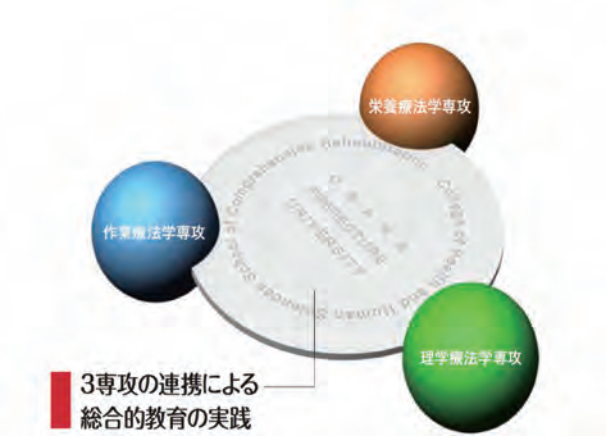
総合リハビリテーション学類 School of Comprehensive Rehabilitation

理学療法学専攻 Physical Therapy ／ 作業療法学専攻 Occupational Therapy ／ 栄養療法学専攻 Clinical Nutrition

新たなリハビリテーションを推進する医療専門職者を育てます。

3専攻の連携による総合的教育の実践

予防から治療、回復、社会参加に関わる総合リハビリテーションの理念を基盤とした、理学療法学、作業療法学、栄養療法学の有機的連携による教育・研究を特色としています。理学療法学、作業療法学、栄養療法学の連携による総合的なアプローチによって、人が持つ回復への根源的エネルギーをより効果的に引き出し、より回復促進効果を高める、全国でも新しい視点の教育・研究を行います。



少人数制による丁寧な指導と豊富な実習科目

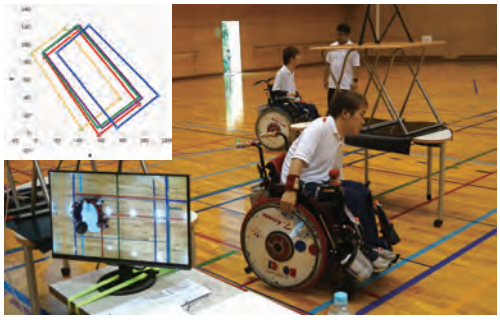
理学療法学専攻、作業療法学専攻、栄養療法学専攻それぞれが少人数制であるため、学生と教員の距離が近く、一人ひとりが丁寧な指導を受けることができます。また、実習科目も多く取り入れており、主体的に学ぶことができます。それぞれの核となる領域の教育はもとより、予防や早期リハビリテーション、地域リハビリテーションなど、今日的なニーズに対応できるカリキュラムを充実させています。

「運動」「生活」「食」を科学する最先端の研究

各分野で活躍する教員のもと、充実した研究設備で卒業研究に取り組んでいます。また、大学院博士前期・後期課程では、世界的な広い視野を持った研究者の育成に取り組んでいます。

（なお、2018年度より、理学療法学専攻、作業療法学専攻においては、成績優秀者を対象に、通算5年で学士・修士を取得できるプログラムを開設しています*。）

*プログラムの利用には諸条件があります。詳しくは入学後にご確認ください。



高い国家試験合格率と就職率

卒業にあたり、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、それぞれの国家試験受験資格を取得できます。丁寧な国家試験対策を実施し、毎年、高い合格率を維持しています。

また、就職先として、国公立病院や大学病院、リハビリテーションセンター、公務員、企業等、幅広い分野があり、例年100%の就職率を誇っています。

文部科学省採択プログラムによる特色ある教育

本学は、文部科学省の大学教育再生加速プログラム（AP）に採択されました。このプログラムの取り組みとして、総合リハビリテーション学類では、先駆的に専門教育においてノートパソコンを用いた反転学習を中心としたアクティブ・ラーニング科目を導入しています。

また、文部科学省の課題解決型高度医療人材育成プログラムに「在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成−医療と在宅ケアの連携を推進する人材養成プログラム−」が採択されました。それに伴い本学類では、「在宅リハビリテーション論」科目を開設しています。

理学療法学専攻

ピックアップ講義

履修モデル（履修の一例）

1年次	共通教育科目	●初年次ゼミナール ●Academic English IA・B	●Academic English ⅡA・B ●情報基礎（情報社会と情報倫理を含む）	●現代日本の政治と経済 ●からだとこころの科学	●障害者と心理 ●公共性と自由	●言語学への招待 ●地域文化学
	医療・保健基礎科目	●形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	●形態機能学実習	●基礎運動学	●人間発達学	●リハビリテーション概論
	専門科目	●生命倫理学	●理学療法学総論	●理学療法基礎評価学Ⅰ	●理学療法早期体験実習	
2年次	共通教育科目	●Academic English Ⅲ・Ⅳ				
	医療・保健基礎科目	●公衆衛生学B ●基礎運動学実習A ●病理学総論	●薬理学総論 ●臨床心理学 ●内科学Ⅰ・Ⅱ	●小児・高齢医学 ●整形外科学Ⅰ・Ⅱ ●神経内科学Ⅰ・Ⅱ	●精神医学Ⅰ ●リハビリテーション医学	
	専門科目	●人間支援科学論 ●コラボレーション論 ●作業療法学総論	●救急蘇生法 ●理学療法基礎評価学Ⅱ ●理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ	●運動療法学 ●物理療法学Ⅰ・Ⅱ ●福祉用具論	●障がい者スポーツ指導論 ●理学療法臨床実習Ⅰ ●運動器理学療法学Ⅰ	●内部障害理学療法学Ⅰ ●発達理学療法学Ⅰ
3年次	専門科目	●地域リハビリテーション論 ●理学療法評価学Ⅲ ●理学療法評価学総合実習 ●日常生活活動学Ⅰ・Ⅱ	●義肢装具学Ⅰ・Ⅱ ●運動器理学療法学Ⅱ・Ⅲ ●神経理学療法学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ●発達理学療法学Ⅱ	●内部障害理学療法学Ⅱ・Ⅲ ●老年期・難病理学療法学 ●地域理学療法学Ⅰ・Ⅱ ●在宅リハビリテーション論	●理学療法臨床実習Ⅱ ●理学療法学研究法Ⅰ・Ⅱ ●動作分析学実習	
4年次	専門科目	●リスクマネージメント論 ●スポーツ傷害理学療法学	●臨床理学療法論 ●地域理学療法学実習	●健康増進理学療法学 ●理学療法臨床実習Ⅲ・Ⅳ	●理学療法学卒業研究 ●理学療法治療技術論実習	

作業療法学専攻

ピックアップ講義

履修モデル（履修の一例）

1年次	共通教育科目	●初年次ゼミナール ●Academic English IA・B	●Academic English ⅡA・B ●情報基礎（情報社会と情報倫理を含む）	●人間学入門 ●心理学への招待	●医療と社会 ●自然科学への招待	●健康・スポーツ科学概論 ●健康・スポーツ科学演習Ⅰ
	医療・保健基礎科目	●形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ●形態機能学実習	●基礎運動学 ●人間発達学	●臨床心理学 ●リハビリテーション概論		
	専門科目	●生命倫理学 ●作業療法学総論	●作業科学Ⅰ ●作業科学実習Ⅰ	●作業療法ゼミナールⅠ ●作業療法臨床実習Ⅰ		
2年次	共通教育科目	●Academic English Ⅲ・Ⅳ				
	医療・保健基礎科目	●公衆衛生学B ●基礎運動学実習B	●病理学総論 ●薬理学総論	●内科学Ⅰ・Ⅱ ●小児・高齢医学	●整形外科学Ⅰ・Ⅱ ●神経内科学Ⅰ・Ⅱ	●精神医学Ⅰ・Ⅱ ●リハビリテーション医学
	専門科目	●人間支援科学論 ●作業療法学基礎理論 ●作業科学実習Ⅱ ●作業科学Ⅱ・Ⅲ	●作業療法評価学 ●作業療法評価学各論Ⅰ ●作業療法評価学実習 ●身体障害作業療法学Ⅰ	●発達障害作業療法学Ⅰ ●日常生活技術学 ●作業療法ゼミナールⅡ ●作業療法臨床実習Ⅱ	●コラボレーション論 ●理学療法学総論 ●救急蘇生法	
3年次	専門科目	●地域リハビリテーション論 ●作業療法管理学 ●作業療法研究法 ●作業療法評価学各論Ⅱ ●身体障害作業療法学Ⅱ・Ⅲ	●身体障害作業療法学実習 ●精神障害作業療法学Ⅰ・Ⅱ ●精神障害作業療法学実習 ●発達障害作業療法学Ⅱ ●発達障害作業療法学実習	●老年期障害作業療法学 ●高次脳機能障害学Ⅰ・Ⅱ ●作業療法義肢装具学Ⅰ・Ⅱ ●福祉用具学Ⅰ・Ⅱ ●日常生活技術学実習	●職業関連技術学 ●地域作業療法学Ⅰ・Ⅱ ●在宅リハビリテーション論 ●作業療法学卒業研究Ⅰ ●作業療法ゼミナールⅢ	●作業療法臨床実習Ⅲ ●言語療法学
4年次	専門科目	●作業療法学卒業研究Ⅱ	●作業療法ゼミナールⅣ	●作業療法総合演習	●作業療法臨床実習Ⅳ	

栄養療法学専攻

ピックアップ講義

履修モデル（履修の一例）

1年次	共通教育科目	●初年次ゼミナール ●Academic English IA・B	●Academic English ⅡA・B ●情報基礎（情報社会と情報倫理を含む）	●健康・スポーツ科学概論 ●健康・スポーツ科学演習Ⅰ	●憲法 ●コミュニケーションの諸相と文化	●医療と社会 ●現代の学校	
	専門基礎科目	●生化学概論	●基礎解剖生理学	●社会健康科学Ⅰ	●基礎細胞生物学		
	専門科目	●生命倫理学	●コミュニケーション論	●ケアリング論	●基礎栄養学	●有機化学概論	●食品科学Ⅰ
2年次	共通教育科目	●Academic English Ⅲ・Ⅳ					
	専門基礎科目	●社会健康科学Ⅱ	●基礎分子生物学	●感染症防御学	●病態生理学概論	●運動機能病態学	●社会健康科学実習
	専門科目	●人間支援科学論 ●コラボレーション論 ●作業療法学総論	●食品科学Ⅱ ●理学療法学総論 ●応用栄養学Ⅰ・Ⅱ	●救急蘇生法 ●栄養生理学 ●言語療法学	●栄養教育論Ⅰ ●病態栄養学Ⅰ ●公衆栄養学Ⅰ	●給食経営管理論Ⅰ ●基礎栄養学実習 ●調理科学実習	●食品科学実験 ●生化学・分子生物学実験
3年次	専門科目	●地域リハビリテーション論 ●食品衛生学 ●応用栄養学Ⅲ ●栄養教育論Ⅱ・Ⅲ	●臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ ●公衆栄養学Ⅱ ●給食経営管理論Ⅱ ●口腔保健学概論	●食品科学Ⅲ ●病態栄養学Ⅱ ●基礎薬理学 ●栄養科学英語	●臨床栄養学実習 ●栄養療法学臨地実習B ●応用栄養学実習 ●栄養教育論実習	●給食経営管理論実習 ●公衆栄養学実習 ●食品衛生学実験	
4年次	専門科目	●総合栄養療法学演習	●栄養療法学卒業研究	●栄養療法学臨地実習A			

理学療法学専攻

身体機能からリハビリテーションを科学し、
高度な専門性と人間性を備えた理学療法士を育成します。

理学療法学は、疾病や高齢などによって運動機能が低下した状態にある人々に対し、身体機能を科学的に評価して治療する理論と技術の体系です。理学療法の実践には、相手を思いやる豊かな感性と、高度な問題解決能力が求められます。
本専攻では、これまでの核であった運動器障害、中枢神経障害、内部障害の各領域における教育の一層の充実はもとより、早期リハビリテーションや地域リハビリテーションなど今日的な要請に対応できるカリキュラムにより、高度な専門的能力と総合判断力を有した理学療法士を育成します。
本専攻の卒業生は、大阪府内を中心に、総合病院、大学病院、リハビリテーション病院などに就職し、理学療法士としてリハビリテーション医療や地域医療の最前線で活躍しています。また、多くの学生が大学院に進学し、最先端の研究に関わっています。リハビリテーションを科学し、対象者の喜びを自らの喜びとできるよう、ともに歩みましょう。

■ 実習について（過去の実績）

〈 期　間 〉 1年次　後期2日間　　2年次　後期1週間　　3年次　後期3週間
4年次　前期8週間　後期8週間　後期1週間（訪問リハビリテーション実習）
〈主な実習先〉 大学病院　　総合病院　　リハビリテーションセンター

資格・受験資格

■理学療法士（受験資格）
■中級障がい者スポーツ指導員

想定される進路

■リハビリテーションセンター
■介護老人保健施設
■教育・研究機関
■大学病院
■総合病院
■大学院への進学

作業療法学専攻

生活を科学し、充実した生活の再構築を支援する作業療法士を育成します。

作業療法学は、身体、精神、発達、高齢期の障害や、環境への不適応により、日々の作業に困難が生じている、またはそれが予測される方々の主体的な日常生活能力・社会適応能力の獲得を目的とした治療、指導の理論と技術の体系です。

作業療法では対象領域が病院だけでなく地域社会における保健・医療・福祉および教育や職業分野へと拡大しており、幅広い対象者の生活を科学し、充実した生活の再構築を支援します。本専攻では、世界作業療法士連盟(World Federation of Occupational Therapists : WFOT)養成施設認可を受けたカリキュラムにより、人々の活動と心身機能、環境との関係、脳の働き、発達や老化などの理解を深め、地域社会における保健・医療・福祉および教育や職業分野においてリーダーシップを発揮できる作業療法士を育成します。また、作業療法に必要な知識・技術を習得するだけでなく、研究能力を備えた人材を育成することに力を入れています。

対象者の生活の再構築に関わる作業療法士を目指して、高度な知識と技術、そして対象者に寄り添う「こころ」を一緒に学びましょう。

■ 実習について（過去の実績）

〈 期　間 〉 1年次　後期1週間　　2年次　後期1週間　　3年次　後期3週間　　4年次　前期18週間

〈主な実習先〉 病院　　介護老人保健施設　　訪問リハビリテーション施設　　児童発達支援センター　など

資格・受験資格

- ■作業療法士（受験資格）
- ■中級障がい者スポーツ指導員

想定される進路

- ■病院
- ■介護老人保健施設
- ■リハビリテーションセンター
- ■児童発達支援センター
- ■訪問リハビリテーション施設
- ■大学院への進学

栄養療法学専攻

あらゆる人、あらゆるライフステージに必要な「栄養」で、豊かな生活づくりをめざします。

食は健康の源です。栄養学は傷病者だけではなく、健康な人も含むすべての人々の健康を食から実現するための学問です。管理栄養士は、乳幼児期から高齢期までのあらゆるライフステージを対象に、食のあり方や食事に含まれる様々な栄養素の摂り方のアドバイスをしたり、病院などで献立を立てて食事を提供したり、傷病者の栄養状態の管理をする、「食と栄養、そして健康」をサポートする専門職です。栄養療法学専攻では、栄養学の基礎研究から臨床現場までを網羅する知識と技術を磨き、卒業後は食に関わる様々な企業や研究機関、さらには病院などの医療機関、市役所などの行政機関で、管理栄養士としての専門性を発揮するためのカリキュラムを編成し、「食と栄養、そして健康のプロフェッショナル」として世界に羽ばたける管理栄養士の養成を目指しています。
食と健康に関係する様々な問題が社会にはあります。それらに挑戦する意欲、そして食と栄養、健康に対する幅広い興味を持ち、自ら学ぶ探究心を持っている方や管理栄養士として人々の健康、医療、保健、福祉、研究、教育に指導的立場で貢献する熱意を持った方、食と健康を広く国際的視野から捉えて社会に貢献したいと考えている方を歓迎します。

■ 実習について（過去の実績）

〈 期　間 〉3年次　1週間　　4年次　3週間
〈主な実習先〉大阪府内の病院　　保健所　　事業所　など

資格・受験資格

- ■栄養教諭一種免許状
- ■管理栄養士（受験資格）
- ■栄養士
- ■食品衛生管理者
- ■食品衛生監視員

想定される進路

- ■病院
- ■公務員（栄養教諭、行政）
- ■食品メーカー
- ■福祉施設
- ■大学院への進学

Topics

教育福祉学類

学類詳細はP.71から

障害観を変えてみよう／教育福祉学類 松田 博幸 准教授・三田 優子 准教授

障害者を支援するための専門職者になりたい。そう思っておられるかもしれません。でも、ちょっと待ってください。目の前の人を「障害者」、自分がしていることを「支援」、自分自身を「専門職者」と見ることで、見えなくなることはありませんか？「障害者」も誰かを支援し、誰かを救う存在にもなっており、また「専門職者」も様々な生きづらさを抱えています。見方を変えていくと、つまりは「専門職者」である前にひとりの人間としてどうあるべきか、が重要となってくるのです。

全文はWEBから

2017年文部科学大臣表彰受賞

知的障がい者の方々に対し教育を受ける場の提供を目的に、大阪府立大学の学生有志が企画・運営を行っている「オープンカレッジ」が、2017年度「障害者の生涯支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。これは、大阪府立大学が日本で初めて実施して以来、全国的に広がっています。運営主体はあくまでも学生ですが、教育福祉学研究センターの教員も顧問や授業の講師として携わっています。

全文はWEBから

WHAT（何を学ぶか）からHOW（どう学ぶか）へ

教育福祉学類には、「教育と福祉が融合した学類ならでは」の教育カリキュラムがいろいろあります。さらに、「ことおこしプロジェクト」（演習科目）や海外研修（スタディーツアー）など、「何を学ぶか」よりも「どう学ぶか」を重視した授業も豊富です。写真は、ニュージーランド海外研修で、現地のオルタナティブ教育施設を見学している様子です。海外からのゲストも多い教育福祉学類では、多文化対応能力を高める機会もあります。

全文はWEBから

教育福祉学類
School of Social Welfare and Education

教育福祉の実践や政策運営を支える専門職を育成します。

本学類は、「教育福祉」学という新しい学問を基礎としています。「教育福祉」学とは、人が生まれ、成長し、そして老いるまで、一生涯にわたる人間の生活と発達を包括的に保障し、支援を行うことに関する学問分野です。社会福祉分野、子ども家庭分野および教育分野をそれぞれ独立した学問領域と捉えるのではなく、互いに密接に関連し、融合したひとつの学問として考えています。そこでは、学校という場と教員養成にかかわる狭い意味での「教育」だけではなく、例えば学校で福祉的な支援を行うスクールソーシャルワークや、青少年や障がい者などを対象とした生活支援、高齢者の生きがい創造など、幅広い内容が含まれます。教育福祉学を学ぶことにより、人と社会に対する包括的視野と福祉・子ども家庭・教育分野における専門的で協働的な実践力を身につけ、地域社会ならびに国際社会において活躍できる人をめざします。

徹底した少人数制ゼミナールを実現。

専門性が高まる3・4年次の学びでは、教員1人に対し学生約3人程度の少人数ゼミナールを実現。自らの選択した研究テーマを教員によるきめ細やかな指導のもと、4年間の学修の集大成となる卒業論文として仕上げていきます。

さまざまな分野で活躍が期待される豊富な取得可能資格。

「社会福祉士」(国家試験受験資格)、「保育士」をはじめ、「学校教員」「社会福祉主事」「児童福祉司」「身体障害者福祉司」など、教育福祉学類で取得できる資格が全部で11もあります。いま教育と福祉的支援の連携として注目されている、「スクールソーシャルワーカー」の養成課程も用意しています。

現代社会でニーズの高まる「教育と福祉の協働」に応える、先端的な学びを展開。

本学類では、全国でも数少ない「スクールソーシャルワーク」教育課程を用意しています。従来にはなかった「教育と福祉の協働」について学修できるカリキュラムと教員を配置し、先端的な学びを展開しています。

海外スタディーツアー

教育福祉インターシップBでは、海外研修(スタディーツアー)を通じて、海外における社会、文化、そして教育やソーシャルワーク、さらに様々な協働のシステムを学ぶことによって、見識を広め、洞察力と行動力を身につけることが目的となっています。単にスタディーツアーに参加するのではなく、事前学習や帰国報告会などを通じて、それぞれの学びを深めています。

先輩アドバイスセミナー

対人支援領域(教育、社会福祉、心理、保健医療など)には様々な職場と仕事の仕方があります。セミナーではバラエティーに富んだ立場の方々、身近な先輩やベテランの先輩からお話をお聞きします。

履修モデル（履修の一例）

	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー	教員 中学校社会	教員 高等学校公民	教員 高等学校福祉	保育士
1年次	●医学概論 *1 ●ソーシャルワーク概論 ●社会調査論入門 ●社会学 *1 ●法律学 *2 ●教育福祉フィールドワークI ●子ども家庭福祉論 ●教育福祉学概論I・II	●教職論 ●子ども家庭福祉論 ●教育と社会 *3 ●教育社会学 *3 ●教育の法と制度 *3	●教職論 ●教育の思想と歴史 ●教育社会学 ●教育の法と制度 ●教育心理学 ●法律学 ●社会学 ●ケアリング論 ●生命倫理学	●教職論 ●教育の思想と歴史 ●教育社会学 ●教育の法と制度 ●教育心理学 ●法律学 ●社会学 ●ケアリング論 ●生命倫理学	●教職論 ●教育の思想と歴史 ●教育社会学 ●教育の法と制度 ●教育心理学 ●教育福祉学概論I・II ●ソーシャルワーク概論 ●介護概論 ●医学概論 ●子ども家庭福祉論	●教育福祉学概論I・II ●子ども家庭福祉論 ●生命倫理学 ●ケアリング論 ●保育学概論 ●保育内容総合演習
2年次	●障害者福祉論 ●医療福祉論 ●高齢者福祉論A・B ●地域福祉論A・B ●ソーシャルワーク論A・B ●子どもの心理学 *1 ●公的扶助論 ●コラボレーション論 ●教育福祉フィールドワークII・III	●スクール・ソーシャルワーク概論	●総合的な学習の時間の指導法 ●特別支援教育概論 ●社会科教育法(地歴)A・B ●社会科教育法(公民)A・B ●道徳教育論 ●日本史概説 ●外国史 ●地理学基礎 ●地域研究 ●倫理学 ●家族社会学 ●教育福祉の諸問題A・B	●総合的な学習の時間の指導法 ●特別支援教育概論 ●社会科教育法(公民)A・B ●倫理学 ●家族社会学 ●教育福祉の諸問題A・B ●教育福祉と政治 ●子どもの心理学 ●地域社会学	●総合的な学習の時間の指導法 ●特別支援教育概論 ●福祉科教育法A・B ●障害者福祉論 ●高齢者福祉論A・B ●コラボレーション論 ●障害者と心理(教養科目)	●児童養護論 ●保育内容演習A・B・C ●保育者論 ●子どもの心理学演習 ●保育の表現技術A・B・C ●子どもの心理学 ●家族社会学 ●保育実習IA・実習指導IA ●コラボレーション論 ●人間支援科学論
	1・2年次で取得する資格を決める					
3年次	●コミュニティとソーシャルワーク ●ソーシャルワーク論C ●セルフヘルプ・グループ論 ●社会福祉原論 ●相談援助演習 ●社会政策論 ●社会福祉実習・実習指導 ●社会福祉運営論 ●社会福祉計画論 ●社会保障論 ●福祉と就労 *2	●精神保健学 ●保育・学校ソーシャルワーク演習 ●特別支援教育	●人間形成論 ●教育課程論 ●教育方法学 ●特別活動論 ●教育相談論 ●生徒・進路指導論 ●社会福祉計画論 ●社会福祉運営論	●人間形成論 ●教育課程論 ●教育方法学 ●特別活動論 ●教育相談論 ●生徒・進路指導論 ●社会福祉計画論 ●社会福祉運営論 ●社会保障論 ●福祉と就労 ●権利擁護論	●人間形成論 ●教育課程論 ●教育方法学 ●特別活動論 ●教育相談論 ●生徒・進路指導論 ●社会福祉実習・実習指導 ●社会福祉原論 ●ソーシャルワーク論C ●公的扶助論	●乳児保育論 ●子どもの保健学 ●子どもの保健学演習 ●子どもの食と栄養 ●乳児保育演習 ●養護内容演習 ●障がい児保育演習 ●相談援助演習 ●保育実習IB・実習指導IB ●保育・学校ソーシャルワーク演習 ●子ども家庭支援の心理学 ●保育実習II/実習指導II
	●教育福祉ゼミナールA/B、C/D、E/F					
4年次		●スクール・ソーシャルワーク実習指導 ●スクール・ソーシャルワーク実習	●教育実習・実習指導 ●教育実践演習	●教育実習・実習指導 ●教育実践演習	●教育実習・実習指導 ●教育実践演習	●保育の計画と評価
	●教育福祉学卒業研究　●教育福祉学演習I・II					

※表は標準的な履修モデルです。入学後履修要項にしたがって履修科目を選択してください。
*1 = 3科目のうち1つ以上選択　*2 = 2科目のうち1つ以上選択　*3 = 3科目のうち1つ以上選択

ピックアップ講義

資格・受験資格

■社会福祉士〈受験資格〉
■身体障害者福祉司任用資格
■知的障害者福祉司任用資格
■児童指導員任用資格
■スクールソーシャルワーカー資格(課程修了証明)
■保育士
※3年次編入生は履修できない場合があります。
■社会福祉主事任用資格
■中学校教諭一種免許状(社会)
■高等学校教諭一種免許状(公民・福祉)
■社会教育主事任用資格
※必要単位を修得後、1年以上官公署又は社会教育関係団体における社会教育に関係のある職・業務に従事する必要があります。

想定される進路

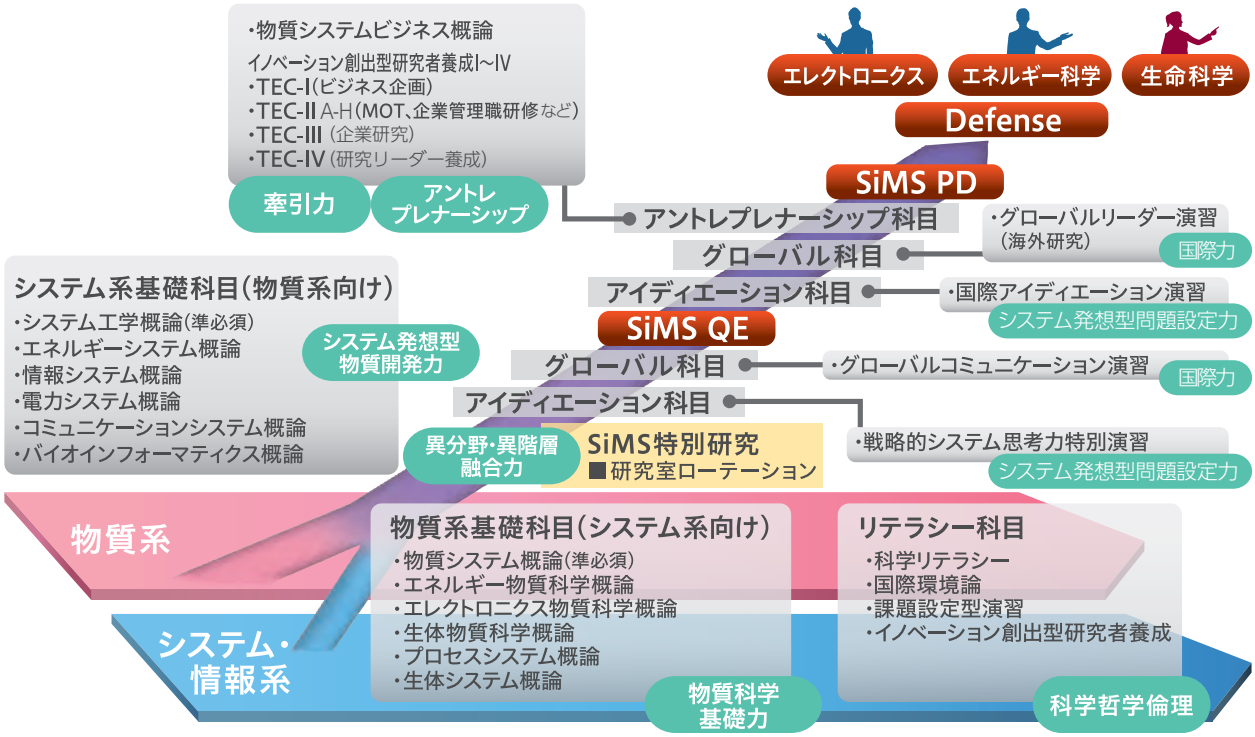
■公務員
■中学・高等学校教員
■福祉機関・団体、保健・医療機関
■保育所・児童養護施設
■一般企業(教育・福祉分野)
■社会的起業家
■国際関係機関
■大学院への進学　など

特色ある教育プログラム

システム発想型物質科学リーダー養成学位プログラム「SiMS」

本プログラムは、博士前期課程・後期課程5年一貫で実施される特別なプログラムです。
世界的業績を有する物質系及びシステム系の大学教員と、企業や研究機関で指導的役割を果たしてきたメンターが連携した強力な指導・支援体制のもと、履修生は研究室ローテーション、海外留学（海外企業へのインターンシップ含む）などの特色あるカリキュラムを通じて、「産業界を牽引するグローバル研究リーダー」としての素養を身に着けます。

詳しくは

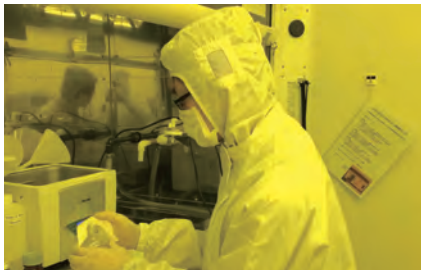


特色ある科目群

戦略的システム思考力演習（1~2年次）

SiMSの重要な実践科目で、複雑なものごとを全体で見る「システム思考」と、新しい発想を創造する「デザイン思考」を身につけるための演習を行います。グループに分かれて演習を行い、その成果を発表します。
（本科目は大学院共通教育科目です。）

SiMS特別研究（1~2年次）



これからの研究者は、自分の研究分野だけでなく、異分野に積極的に目を向け、多角的な視点から新しい価値を創造できる力が求められます。SiMSでは、自身の専門と異なる研究室で3ヶ月以上指導を受けるカリキュラムがあります。
（研究室ローテーション）

グローバルリーダー演習（3~5年次）

産業界をグローバルにリードする研究者に求められる様々な素養を身につけるために、3ヶ月程度、海外研究・研修を経験し、それを応用実践していく力を養うカリキュラムです。自ら定めた研修目標に対し、ふさわしい機関を決定します。

新大学速報

※設置構想中

2022年4月、大阪府立大学と大阪市立大学がひとつになり、新しい公立大学が誕生します。

※12学域・学部で幅広い学びを提供

新大学に関する最新情報はこちら

学域・学部名	学類・学科名	学類・学科定員	学域・学部定員
現代システム科学域	知識情報システム学類	60	260
	環境社会システム学類	100	
	教育福祉学類	55	
	心理学類	45	
文学部	哲学歴史学科	32	160
	人間行動学科	56	
	言語文化学科	43	
	文化構想学科	29	
法学部	法学科	180	180
経済学部	経済学科	295	295
商学部	商学科	195	270
	公共経営学科	75	
理学部	数学科	40	299
	物理学科	76	
	化学科	85	
	生物学科	40	
	地球学科	24	
	生物化学科	34	
工学部	航空宇宙工学科	38	741
	海洋システム工学科	33	
	機械工学科	128	
	建築学科	34	
	都市学科	50	
	電子物理工学科	108	
	情報工学科	77	
	電気電子システム工学科	65	
	応用化学科	70	
	化学工学科	38	
	マテリアル工学科	43	
	化学バイオ工学科	57	
農学部	応用生物科学科	50	150
	生命機能化学科	50	
	緑地環境科学科	50	
獣医学部	獣医学科	40	40
医学部	医学科	95	145
	リハビリテーション学科 (理学療法学専攻25、作業療法学専攻25)	50	
看護学部	看護学科	160	160
生活科学部	食栄養学科	65	153
	居住環境学科	43	
	人間福祉学科	45	

※ 新組織は構想中のものであり、今後変更の可能性があります。

キャンパスライフ Campus life

キャンパスイベント

大学祭をはじめ豊富なイベントがキャンパスライフを彩る

4月に実施されるオリエンテーションでキャンパスの雰囲気をつかんでください。5月には新入生たちの友好と連携をはかる「友好祭」を実施。10月には羽曳野キャンパスで「杏樹祭」、11月には中百舌鳥キャンパスで「白鷺祭」が開催されます。また、大阪市立大学や東京都立大学、関西の公立大学との間で競技大会が開催されます。熱戦が繰りひろげられますので、皆で応援してともに参加しましょう。

■友好祭(5月)

■対大阪市立大学総合競技大会(6月)

■対東京都立大学総合競技大会(7月)

■杏樹祭(10月)

■白鷺祭(11月)

■学位記授与式(3月)

4月
- ■学年開始・前期開始
- ■入学式、開学記念日
- ■各学域オリエンテーション
- ■新入生カリキュラムオリエンテーション
- ■学生生活オリエンテーション
- ■定期健康診断

5月
- ■友好祭

6月
- ■対大阪市立大学総合競技大会

7月
- ■対東京都立大学総合競技大会
- ■前期試験

8月
- ■夏季休業

9月
- ■前期終了
- ■後期開始

10月
- ■杏樹祭

11月
- ■白鷺祭
- ■関西六公立大学総合競技大会

12月
- ■冬季休業

1月
- ■後期試験

2月

3月
- ■学位記授与式
- ■後期終了
- 学年終了

クラブ・サークル紹介

中百舌鳥キャンパス

体育系

- 應援團
- アーチェリー部
- 合氣道部
- 女子合気道部
- アイスホッケー部
- アメリカンフットボール部
- 空手道部
- 弓道部
- 剣道部
- 航空部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サイクリング部
- サッカー部
- 山岳部
- 自動車部
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- スキー部
- 漕艇部
- 男子ソフトボール部
- 女子ソフトボール部
- 体操部
- 卓球部
- ダンス部
- 軟式庭球部
- 日本拳法部
- 馬術部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- バドミントン部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- ハンドボール部
- フィギュアスケート部
- フットサル部PARAONDE
- ボクシング部
- ヨット部
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部

文化系

- アカペラサークル ONE BEENS
- アニメ・声優同好会
- アプリNavi
- English Speaking Society
- 囲碁部
- SF研究会
- F-enigma
- 音楽集団　雑草
- 海外農業研究会
- 海洋探険部
- 環境部エコロ助
- 奇術部
- 競技かるた部
- 軽音楽部
- 交響楽団(オーケストラ部)
- 混声合唱団 エヴァコール
- コンピュータハウス ランダム
- 里環境の会　OPU
- 茶道部
- シネマクラブ
- 写真部
- 手話サークル　亜飛夢
- 将棋部
- 書道篆刻研究会
- 吹奏楽部
- 聖書研究会
- セツルメント
- 釣部
- 天文部
- ピアノ部
- 美術部
- ひと☆ねこ
- Human-Powered Aircraft Works WindMill Club
- 府大ナビ
- 文学クラブ
- 文芸部ことのは
- 邦楽部
- まんが研究会
- マンドリンクラブ
- ミュージックサークル たんぽぽ
- Music Box 飛行船
- 料理サークルcoctione
- ロボットコンテストクラブ

その他の学生団体

- 中百舌鳥・りんくうキャンパス学生自治会
- 友好祭実行委員会
- 白鷺祭実行委員会
- 体育会
- 文化部連合
- 生活協同組合学生委員会
- 白鷺音響企画共同体 S.T.A.F-1
- 外国人留学生総会

PICK UP クラブ紹介

男子ソフトボール部

今年で創部42周年を迎えます。昨年は西日本大学選手権でベスト8に進出し、2年ぶり3度目の全日本大学選手権出場を果たしました。今年も全日本選大学選手権に出場することを目標に、日々楽しく元気よく練習に取り組んでいます。

羽曳野キャンパス

体育系

- 合氣道部
- Adapted Sports Club
- 剣道部
- バスケットボール部「RUSSIAN」
- バレーボール部
- フットサルサークル「F.C.PIEDE」
- ボッチャ部
- ランニングサークル Metra
- 国際保健サークル well-be☆″
- 茶道部
- 書道部
- 乳がん予防啓発サークル Spring
- 羽曳リテーションclub
- 民族舞踊部

文化系

- アンサンブル部「tutti*」
- エヘン虫研究会
- 軽音楽部
- はびきのコラボレーションネットワークpontoon

その他の学生団体

- 羽曳野キャンパス学生自治会
- 杏樹祭実行委員会
- 友好祭実行委員会

りんくうキャンパス

体育系

- フットサル部Força RINKU
- りんくう合氣道部
- りんくうサイクリングクラブ
- りんくうバドミントンクラブ

文化系

- 奇術部 Tetra
- Nature Gate
- りんくうピアノ部

クラブ団体一覧

府大生 Life

大塚 玄人さん
(おおつか げんと)

工学域　機械系学類
航空宇宙工学課程4年(2020年時)
私立立命館慶祥高等学校出身

とある１日

- 8:00 起　床
- 9:00 図書館で課題
- 10:30 授　業
- 12:00 お昼ご飯
- 13:00 カフェ
- 16:00 アルバイト
- 23:00 帰　宅
- 25:00 就　寝

部屋の間取り

今回はアルバイトがある一日の生活を紹介します。出身は北海道で、学校付近の家で下宿をしています。この日は1限がないので、9時に学校の図書館に行き、課題をやったり本を読んだりしています。2限は授業で、授業が終わると友達と学校の食堂でご飯を食べます。平日のお昼ご飯は学校の食堂で食べることが多いです。時間があるときは、学校の近くのイタリアンに行ってランチをしたりもします。お昼を食べた後は学校のカフェでのんびりと課題をやったり、サークルの活動準備をしたりしています。現在は、院試があるのでサークル等には所属していませんが、以前はインカレのビジネス企画サークルや自分で創設した大阪府立大学飛行機サークルに所属していました。その後はアルバイトをして過ごします。アルバイトはカフェでしています。普段は授業が終わる時間が多いので、基本的にアルバイトは金曜日もしくは土日にすることが多いです。休日は友達とUSJに遊びに行ったり、京都などの近郊を訪れたり、オンとオフを明確にしながら日々を過ごしています。

1ヶ月の収支は

収入(約)		支出(約)	
仕送り	70,000円	食費	50,000円
アルバイト	30,000円	交際費	5,000円
		その他	10,000円
計	100,000円	計	65,000円

※家賃は親が別途負担

支援を必要とする学生の相談窓口

■アクセスセンター

アクセスセンターは、障がい、性的指向や性自認(SOGI)等を理由として支援を必要とする学生のための全学的な相談・支援窓口です。アクセスセンターでは、障がいのある学生や、性的指向や性自認(SOGI)に関連した困難さのある学生にとっての社会的障壁を可能な限り除去し、学生が持ちうる能力を最大限に発揮できる環境を整えるため、修学における相談・支援方法の提案・支援者の派遣などを行い、全学的に支援のコーディネートを行っています。
専任のコーディネーターが、サポートを必要とする学生やそれに関わる教職員、サポートの輪に加わりたいという学生からの相談に応じています。相談によって知り得た個人情報は、支援の目的以外には用いません。

【主な支援内容】

■**修学相談**
学生のニーズに応じて、授業等における合理的配慮の提案、支援状況のモニタリングなどを行います。

■**支援者のコーディネート**
ノートテイク、代筆、コミュニケーション・サポート、移動支援等　※いずれも学生アシスタントの派遣

■**サポート学生の養成**

■**バリアフリーに向けたキャンパス・施設の環境整備への提言**

■**就職相談･･･**キャリアサポート室と連携します。

障がいのある学生の支援

■**SOGI等に関連した支援**

SOGI等に関連した支援

保護者の方々への情報

■経済支援

本学独自の奨学金を含むさまざまな経済支援制度をご紹介します。

経済支援

■学生相談室

ちょっと困ったなと思うとき、相談したいけど身近な人には話しにくいときなど気軽に学生相談室を利用してみてください。

学生相談室

■WEB学生サービスセンター(WEBSC)

学生や保護者の皆さまからのお問い合わせやご提案、悩みや心の相談などをメールで受け付けています。また、学内に設置されている電子情報掲示板に、学生向けの様々な情報を受け付けて掲載しています。

WEBSC

■大阪府立大学後援会

学生の皆さまがよりよい環境で過ごし、立派な社会人として羽ばたくことができるよう、キャンパスの整備や保護者の皆さま向けキャリア説明会、クラブ活動への援助や大学対抗の定期戦・学園祭等の行事に対する援助などの事業を行い、学生を支援しています。

後援会

■キャリアサポート室

「VUCAな時代」と言われています。この言葉には現代の多様性と時代性が反映されており、先のことを読むことが難しくなっていることを意味しています。その中で「人生100年、働き方改革」と人生全体のキャリアプランを考ええながら生き抜くことが要請されており、大学でキャリア支援に関わる我々はどのような視点をもつべきだろう、と日々考えを巡らしています。

■ミールカード(大学生協食堂年間利用定期券)

親から離れて一人暮らしをはじめるお子様の食生活は、心配で不安なことの一つかと思います。そんな悩みを解決するのが大学生協の食堂事業の「ミールカード」です。毎月の利用メニューや栄養価データを大学生協マイページから確認することができます。

ミールカード

留学・国際交流　Fly to the World from OPU!

海外留学

「トビタテ!留学JAPAN」で世界へ　日本ではできない学びを求めて

大学に入学してから、海外で生活してみたいという漠然とした憧れがありました。2年生の時、あるきっかけで今の研究テーマ「性の多様性のあり方」に関連するLGBT支援をしているイギリスの団体を知って、日本ではできない学びがあるのではと考えました。今は、ロンドンのMETROというLGBTに関わらずいろいろな分野で支援を行う団体で、フィールドワークを行っています。文部科学省「トビタテ!留学JAPAN」の奨学金制度は、大学留学以外のボランティア、インターンシップなども対象であり、自分で計画を自由に立てることができるという魅力的な制度です。府大には、トビタテ対策のコミュニティがあるため計画に困った時は、先輩たちがアドバイスをくれました。
海外留学で視野が広がるとよく言われますが、その前に何をそこで学びたいのか、そのあと自分が何をしたいのかを明確にするべきだと私は思います。府大にはそのヒントがたくさんありますし、挑戦できる環境は十分に整っています。みなさんの留学がより良いものになるように私もサポートしていきたいと思っています。

花岡 奈央(はなおか なお)さん
現代システム科学域
環境システム科学類
4年生
四天王寺高等学校 出身
トビタテ留学JAPAN　10期生

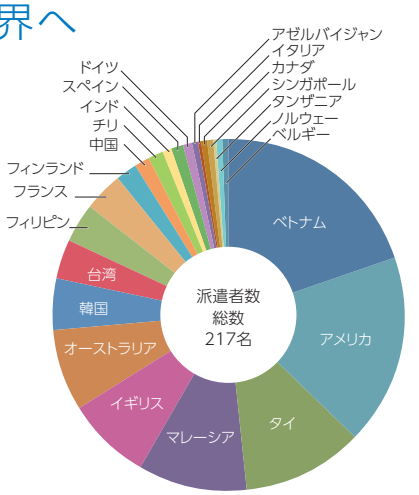
留学中の1日のスケジュール(例)

7:30	起床
7:30 ▸ 8:30	身支度　お弁当作り
9:00 ▸12:30	語学学校
12:30 ▸13:30	昼食
13:30 ▸15:00	語学学校
15:00 ▸17:00	レポート作成orスケート
17:30 ▸21:00	フィールドワーク
21:30 ▸22:00	夕食
23:30	就寝

留学体験レポート

府大から世界へ

ベトナム	43名
アメリカ	38名
タイ	24名
マレーシア	22名
イギリス	17名
オーストラリア	16名
韓国	10名
台湾	8名
フィリピン	8名
フランス	8名
フィンランド	4名
中国	3名
チリ	3名
インド	2名
スペイン	2名
ドイツ	2名
アゼルバイジャン	1名
イタリア	1名
カナダ	1名
シンガポール	1名
タンザニア	1名
ノルウェー	1名
ベルギー	1名



2019年度(令和元年度)海外留学者数(学域生・大学院生を含む)

あなたの海外留学をサポート!

大阪府立大学では海外留学相談のほかにも、「海外留学フェア」の開催など、学生の皆さんの海外留学サポートを行っています。協定大学への交換留学、大学院生の短期研究留学、および、夏休みや春休みに実施する短期語学研修等の参加者を対象とした支援制度(奨学金等)があります。

さらに詳しく知りたい方は、
Webサイトをチェック!

留学・国際交流

国際交流のページでは、海外留学プログラムや留学体験談を掲載しています。

短期語学研修から交換留学まで

語学研修・短期留学プログラム

- 英語研修(夏:アメリカ、春:イギリス)3週間
- フランス語研修:2週間～3週間
- 韓国語研修:2週間～3週間
- オーストラリア短期個人留学プログラム:4週間
- マレーシア　サマーエンリッチメントプログラム:3週間
- タイ　クロスカルチャープログラム:約10日間

など、多様なプログラムがあります。

交換留学

大阪府立大学と学生交換協定を締結している協定大学へ、本学に在学したまま1学期間または1年間交換留学する制度があります。

主な派遣先大学

- ヴッパタール大学(ドイツ)
- マラヤ大学(マレーシア)
- 成功大学(台湾)
- 仁川大学(韓国)
- セルジー・ポントワーズ大学(フランス)
- 華東理工大学(中国)
- 淡江大学(台湾)
- 大邱(テグ)大学(韓国)

認定留学

交換留学以外の形態で、海外の大学等に3ヶ月から1年間留学するもので、一定の条件を満たせば、認定奨学金を受給できる制度があります。

現地の学生との交流(マレーシア)

キャンパスで国際交流

キャンパス内で国内留学!

レジデントサポーター（以下、RS）として、中百舌鳥キャンパス内にある国際交流会館I-wingの宿舎エリアで留学生と共同で寮生活を送っています。I-wingでは原則4人で1ユニットが割り当てられ、留学生3人に対しRS1人で共同生活をします。RSは、留学生の日常生活のサポートや寮内でのイベント企画・月1回のRSミーティングといった活動をします。ルームメイトと一緒にご飯を食べたり、寮生同士で旅行に行ったりと留学生や他のRSたちと濃い時間を過ごしています。

私はこれまで複数回海外の大学や語学学校で学ぶ機会があり、外国人の人と共同生活をすることに憧れがあり入居を決めました。実際に住んでみると、語学力アップはもちろんのこと、文化や考えの違いを生で感じる機会が多々あり、常に刺激を受けています。また、キャンパス内に寮があるという好立地のため、大学での様々なイベントや活動に参加しやすくなるというメリットも感じられました。私自身は大学では留学相談カフェの相談員や短期留学で府大にやって来た留学生のバディプログラムへの参加をはじめとした様々な活動に参加しています。府大の魅力は、設備が整っていてやりたいことを必ず見つけることができ、それを全力で後押ししてくれる環境や人の良さにあると思います。I-wingでの生活もその1つだと思います。異文化体験や留学をしたいと考えている人には是非チャレンジしてほしいと思います。

中村 元寛（なかむら もとひろ）さん
現代システム科学域
マネジメント学類
3年
三田学園高等学校 出身

I-wingなかもずでの生活について聞かせてください

❶ルームメイトはどこの国の人?
台湾からの留学生1人、中国からの留学生1人、フランスからの留学生1人

❷家賃はいくら?
37,800円（共益費込み。オプションでネット料金、寝具レンタル代がかかります）

❸入居期間は?
1年間（2019年4月～2020年3月まで）

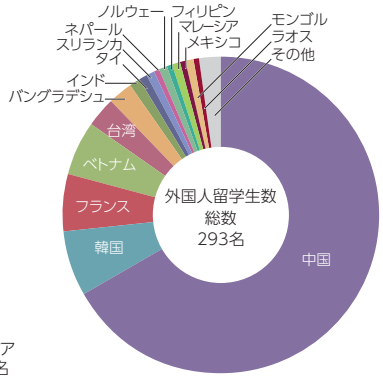
❹I-wingなかもずのオススメポイントは?
様々な言語が飛び交い、日本の大学にいながら異国にいるような雰囲気を味わえる点。

入寮者体験レポート

府大で学ぶ世界19ヶ国からの留学生

中国	196名
韓国	19名
フランス	17名
ベトナム	17名
台湾	9名
バングラデシュ	7名
インド	3名
タイ	3名
スリランカ	2名
ネパール	2名
ノルウェー	2名
フィリピン	2名
マレーシア	2名
メキシコ	2名
モンゴル	2名
ラオス	2名
その他	6名

インドネシア・エジプト・カンボジア
ドイツ・ベナン・ミャンマー　各1名



2019年（令和元年）5月1日現在

国際交流会館I-wingなかもずでの国際交流イベント

I-wingなかもずは、宿舎エリア（留学生寮など）、交流エリア、サポートエリアの3つの機能を持つ国際交流施設で、2015年4月に中百舌鳥キャンパス内にオープンしました。宿舎エリア（全80室）では、留学生と日本人学生が共同生活を送りながら異文化理解を深めることができます。このI-wingなかもずで行われるさまざまなプログラムをご紹介します。

国際交流
facebook

PICK UP プログラムメニュー

- **海外留学フェア**
  留学プログラムの説明だけでなく、学生の体験談発表も行います。
- **English Cafe**
  ネイティヴ・スピーカーのインストラクターと気軽に英語で会話やゲームを楽しめます。
- **留学生交流会**
  留学生・日本人学生・教職員等が交流します。
- **ポットラックパーティー**
  参加するメンバーそれぞれが食べ物を持ち寄る形式のパーティーです。
  その他、各大学との学術交流協定調印式等を行っています。

English Cafe

交換留学生オリエンテーション

留学生交流会

ゲストプロフェッサープログラム

英語での専門科目の講義

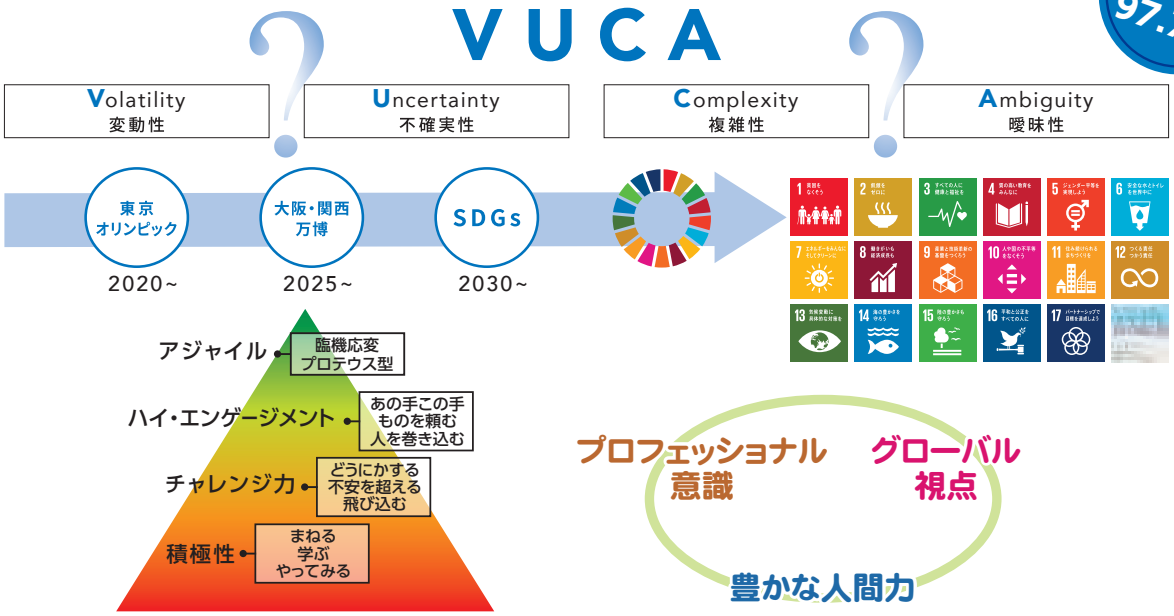
年間を通じて欧米、アジアなど世界各国の大学等からゲストプロフェッサーを招へいし、英語による専門科目の講義を行っています。

就職・キャリア支援 Career support

キャリア支援室のミッションは2020年代に求められる人財を送り出すことです!

～ 一流の人財(府大人)を輩出する ～

就職率 97.7%※



「VUCA な時代」と言われています。この言葉には現代の多様性と時代性が反映されており、先を読むことが難しくなっていることを意味しています。社会に出るにあたって、この先様々な経験をする人生100年のキャリアプランを考え、生き抜くことが要請されています。このような状況の中、キャリアにかかわるわれわれにはどのような支援ができるのか、日々考えを巡らしています。
キャリア支援室では、「就職はゴールではなく社会へでるスタートアップ」と考えて、企業で行なわれている人材育成の一部を在学中から始めて、3つの視点を有する一流の人財(府大人)を輩出する取り組みを行なっています。多様な時代変化に迅速に対応できる柔軟で豊かな人間性こそが求められていると考えています。

キャリア支援室

キャリア支援室には企業で社会経験を積んだ国家資格を持つキャリアコンサルタントが常駐して、就職はもとよりすべての学生のキャリアづくりの相談に応じています。また、企業採用担当者や他大学とも常に情報交換を行なっており、最新の社会情勢や就職状況を踏まえた、最新情報を学生に提供しています。

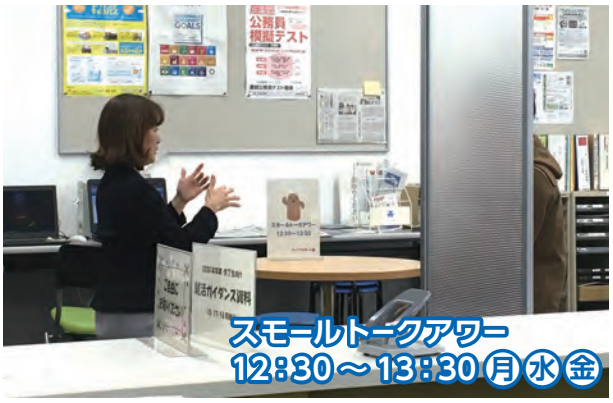
情報提供はワンストップで!

ほとんどの情報は「キャリア支援室インフォメーションボード」という電子掲示システムから提供しています。キャンパス外でもスマホでいつでも閲覧することができます。府大生向けの求人情報やインターンシップ、会社説明会の情報、学内外の様々な情報が頻繁にアップされています。

キャリア支援室インフォメーションボード

いつでも気軽に相談ができます!

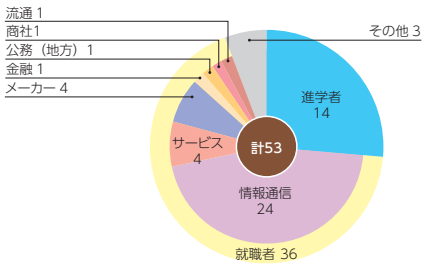
様々な個別相談に加え、学生が気軽に立ち寄れるスモールトークアワー(キャリアについて歓談する時間)を設けたり、堺市博物館の「ハニワのハニーちゃん」にイメージキャラクターとして登場してもらうなど、敷居が低く親しみやすく、進路・就職・生きがいなどキャリアに関わることは何でも気軽に相談できます。個別相談は数回で終わってしまうのではなく、Slackというsnsを使ってサポート継続する場合もあります。充実したコミュニケーション環境を整えることで、学生の自発性を促し、4つの能力を伸ばす実践環境を提供しています。



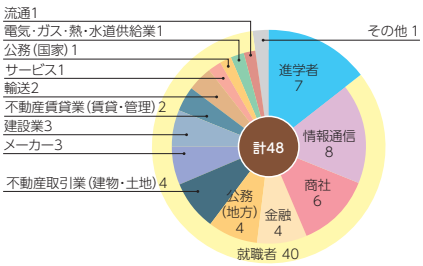
※2019年3月卒業者(学域)の就職率

2019年3月卒業者　学域・大学院（博士課程前期）別進路　就職データ

現代システム科学域

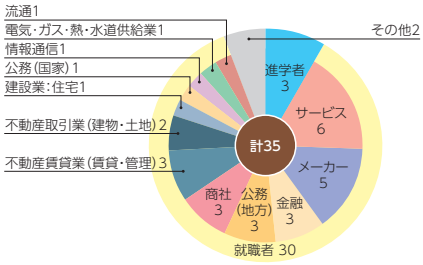


知識情報システム学類



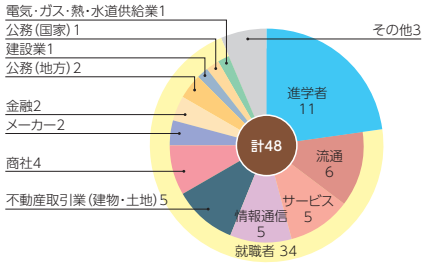
環境システム学類

環境共生科学課程



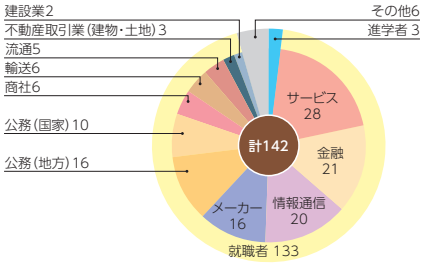
環境システム学類

社会共生科学課程



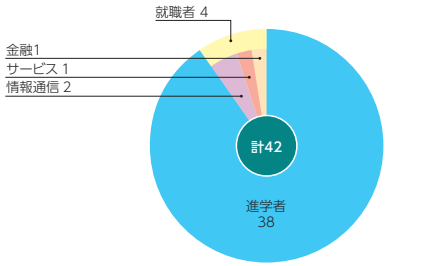
環境システム学類

人間環境科学課程



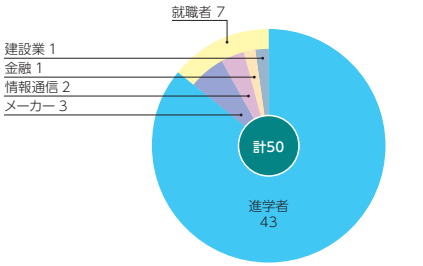
マネジメント学類

工学域



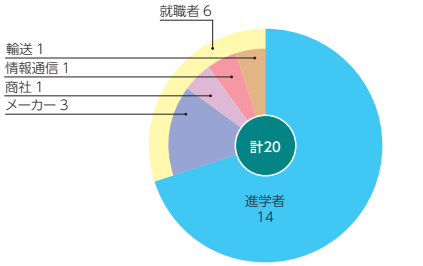
電気電子系学類

情報工学課程



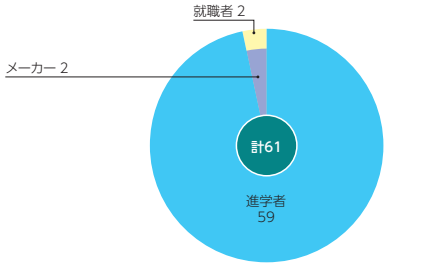
電気電子系学類

電気電子システム工学課程



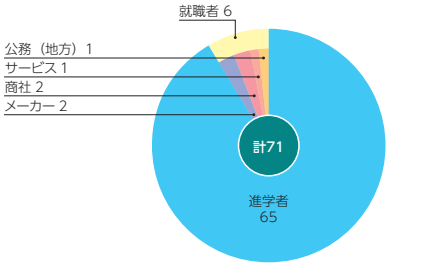
電気電子系学類

数理システム課程



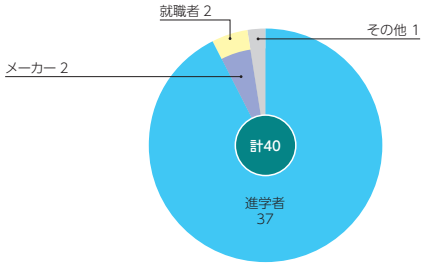
電気電子系学類

電子物理工学課程



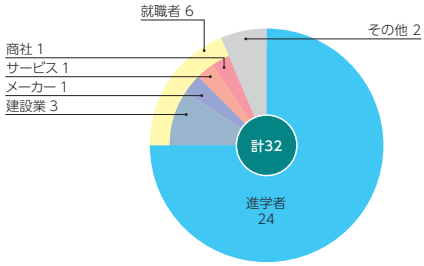
物質化学系学類

応用化学課程



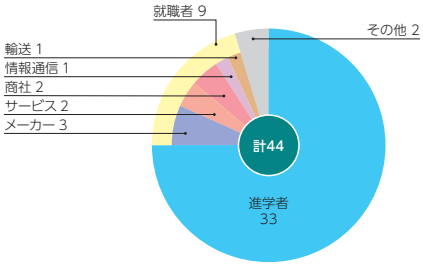
物質化学系学類

化学工学課程



物質化学系学類

マテリアル工学課程

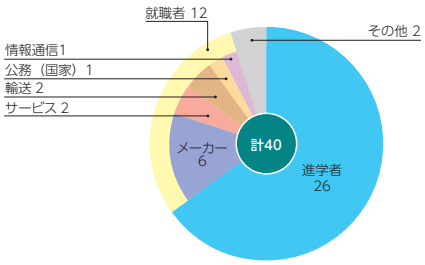


機械系学類

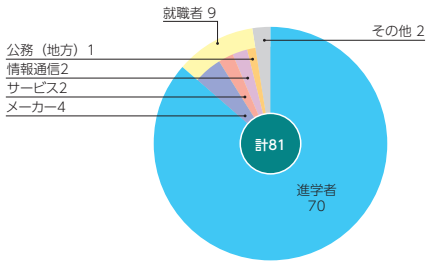
航空宇宙工学課程

就職・キャリア支援　Career support

工学域

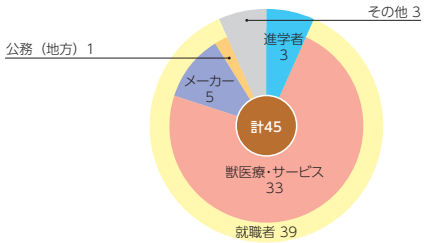


機械系学類
海洋システム工学課程

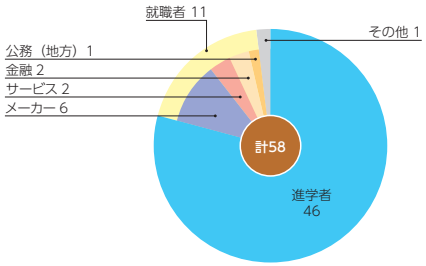


機械系学類
機械工学課程

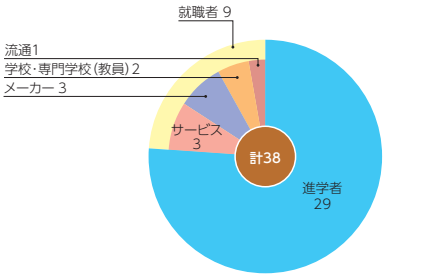
生命環境科学域



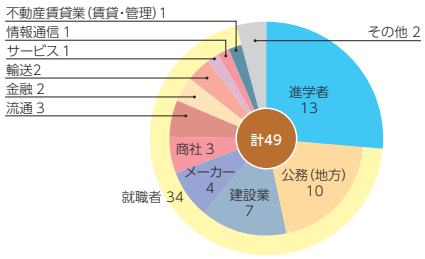
獣医学類



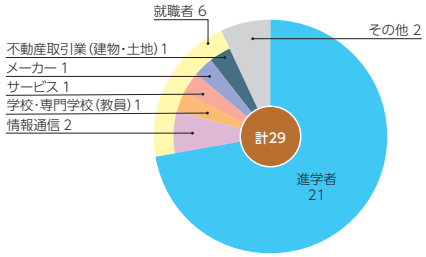
応用生命科学類
生命機能化学課程



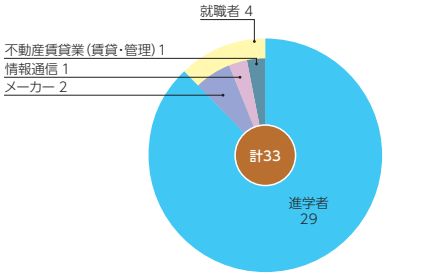
応用生命科学類
植物バイオサイエンス課程



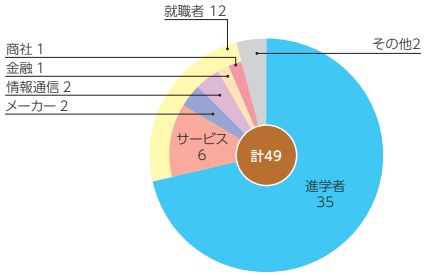
緑地環境科学類



自然科学類
物理科学課程



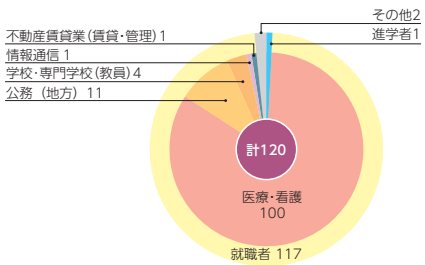
自然科学類
分子科学課程



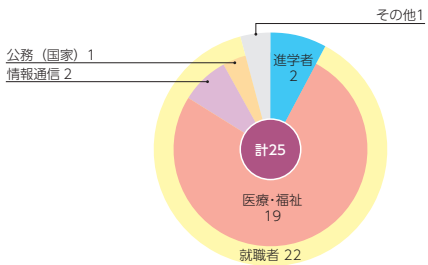
自然科学類
生物科学課程

※「理学類」は自然科学類の３課程に数理科学課程を新設し、2018年度より名称変更しました。

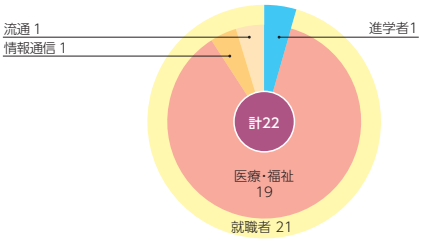
地域保健学域



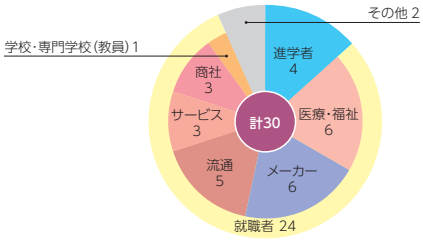
看護学類



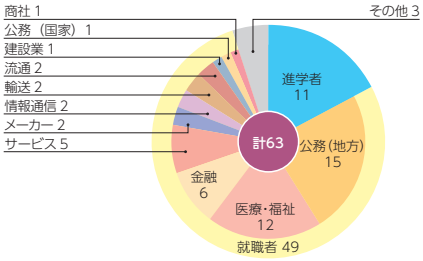
総合リハビリテーション学類
理学療法学専攻



総合リハビリテーション学類
作業療法学専攻

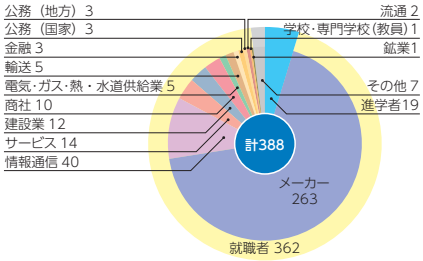


総合リハビリテーション学類
栄養療法学専攻

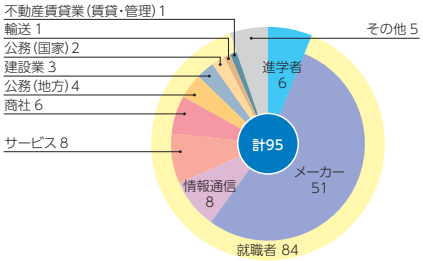


教育福祉学類

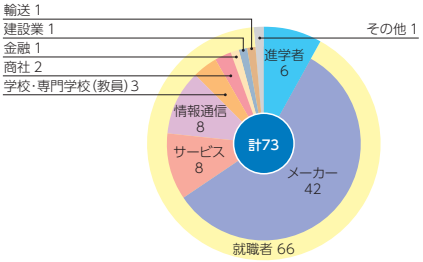
大学院



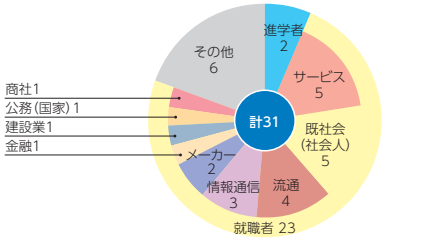
工学研究科
（博士前期課程）



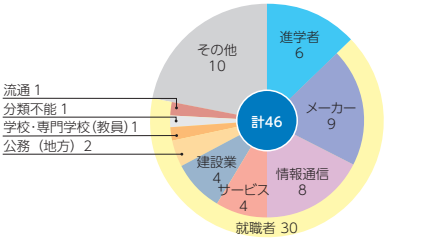
生命環境科学研究科
（博士前期課程）



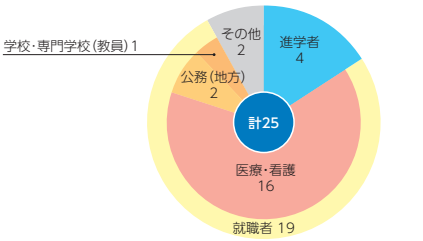
理学系研究科
（博士前期課程）



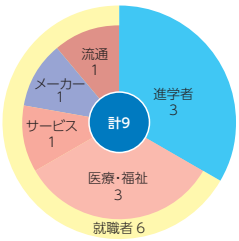
経済学研究科
（博士前期課程）



人間社会システム科学研究科
（博士前期課程）



看護学研究科
（博士前期課程）



総合リハビリテーション学研究科
（博士前期課程）

※その他に含まれる進路の例：公務員受験予定、起業、帰国など

就職・キャリア支援　Career support　2019年3月卒業者　就職先・進学先

現代システム科学域

知識情報システム学類　アビームコンサルティング、アイヴィス、NCS＆A、NECソリューションイノベータ、NTTコムソリューションズ、SCSK、NSD、NTTデータMSE、オージス総研、大阪府公立義務教育諸学校、京セラコミュニケーションシステム、シャープ、四季（劇団四季）、JSOL、Sky、住友電工情報システム、セブン-イレブン・ジャパン、田村病院、ディアンドアイ情報システム、ニッセイ情報テクノロジー、日本電気（NEC）、日本郵政、能瀬精工、パーソルキャリア、パナソニックインフォメーションシステムズ、日立ソリューションズ・クリエイト、富士通ITマネジメントパートナー、富士通フロンテック、プロトコーポレーション、毎日新聞社、三菱電機インフォメーションシステムズ、ヤフー、山文商事　【進学】大阪府立大学、資格の大原、奈良先端科学技術大学院大学

環境システム学類

環境共生科学課程　和泉市役所、ウィル、ANA Cargo、NTTデータMSE、エフピコ、オートメーションサービス、大阪ガス、大阪市役所、大阪府庁、関西みらいフィナンシャルグループ、関電システムソリューションズ、関電不動産開発、関包スチール、キヤノンマーケティングジャパン、紀陽銀行、熊本市役所、京阪電鉄不動産、厚生労働省 大阪検疫所、ジェイアール西日本デイリーサービスネット、住友生命保険相互会社、ソフトバンク、高砂熱学工業、多摩運送、ダイハツ工業、中京テレビ放送、テス・エンジニアリング、天王寺SC開発、東武緑地、日機、日工、パーソルキャリア、フルタイムシステム、ヘッズ、マイナビ、マクロミル、マリモ、三井不動産リアルティ、UTテクノロジー、ユーズ　【進学】大阪音楽大学、大阪大学、大阪府立大学

社会共生科学課程　あずさ監査法人、エン・ジャパン、オーケー器材、オープンハウス、大阪ガス、岡山市役所、大阪府庁、お好み焼き 新選組、国元商会、京阪電鉄不動産、小林製薬、サイバーリンクス、ザイマックス関西、CACグループ、CBホールディングス、ジャパニアス、住友生命保険相互会社、住友林業、セントメディア、田尻町役場、天王寺SC開発、都市再生機構、東京税関、日本政策金融公庫、不二家、ぶんか社、マツダ、三井住友カード、メルカリ、山善　【進学】大阪大学

人間環境科学課程　ウィル、ウィル不動産販売、オオサカムセンデンキ、大阪高等裁判所、関西電力、キリンビバレッジ、きんでん、北の達人コーポレーション、京都大学、京阪ホテルズ＆リゾーツ、ゲンキー、コーナン商事、コンピューターマネージメント、サムティ、しまむら、住電商事、住友三井オートサービス、中国銀行、中央コンピューター、テクノ・セブン、ディーブイエックス、豊中市役所、奈良県庁、ニシオティーアンドエム、日本中小企業福祉事業財団、日本年金機構、阪急阪神不動産、パナソニック、ピーアイアール、福井新聞社、本きもの松葉、マイナビ、ミドリ安全、村上木材、リプライス　【進学】大阪府立大学、大阪保健医療大学、帝塚山学院大学、立命館大学

マネジメント学類　アクセンチュア、アマゾンジャパン、アイモバイル、アウトソーシングテクノロジー、朝日生命保険相互会社、あずさ監査法人、伊藤ハム、稲畑産業、池田泉州銀行、岩谷産業、ウィル、ウィルウェイ、SCSK、SMBC日興証券、エビス、ANA Cargo、エー・ビー・シーリブラ、オービック、大阪国税局、大阪府庁、カジタク、関西ロール、監査法人トーマツ、河南町役場、キューブシステム、紀陽銀行、京セラ、京都市役所、クリーブウェア、グロースインターナショナル、KDDI、京阪電鉄不動産、厚生労働省 近畿厚生局、神戸市役所、サーベイリサーチセンター、サイゼリヤ、サンケイリビング新聞社、堺市役所、財務省 近畿財務局、CI、新日本有限責任監査法人、GSユアサ、ジャルセールス、ジンズ、厚生労働省 大阪労働局、国土交通省 近畿地方整備局、Sky、住友商事マシネックス、住友生命保険相互会社、住友電装、SOMPOケア、ソニーミュージックグループ、ソフトウェアコントロール、ソリューション、象印マホービン、高見（TAKAMI BRIDAL）、宝塚市消防本部、宝塚市役所、大京穴吹不動産、大日電子、第一生命保険、蝶理、TIS、TSグループ、TONE、トヨタファイナンス、酉島製作所、戸田建設、徳島県庁、DOWAホールディングス、南都銀行、南海電気鉄道、奈良県庁、名古屋市役所、ニッセイ情報テクノロジー、ニューライフ、日本政策金融公庫、西松建設、西日本高速道路、日東電工、日本生命保険相互会社、日本通運、日本電産、ヌーヴ・エイ、ネクセラ、パナソニックインフォメーションシステムズ、パソナ、パソナグループ、日立システムズ、ビジブル、船井総合研究所、富士通、ホープス、本部三慶、法務省 大阪法務局、マイナビ、みずほフィナンシャルグループ、ミルボン、三井住友銀行、三機サービス、三松、三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、MonotaRO、大和証券グループ、山崎製パン、楽天、ラネット、リクルートホールディングス、リブ・コンサルティング、わかやま農業協同組合（JAわかやま）、和歌山県庁　【進学】大阪府立大学

工学域

電気電子系学類

情報工学課程　コーエーテクモホールディングス、大阪信用保証協会、Klab、ディ・アイ・システム　【進学】大阪府立大学、京都大学

電気電子システム工学課程　FPデザイン、クボタ、ケイ・オプティコム、SUBARU、パナソニックインフォメーションシステムズ、本田技研工業、八千代電設工業　【進学】大阪府立大学、京都大学、東京工業大学、奈良先端科学技術大学院

数理システム課程　川崎重工業、郷インテックス、シャープ、スミセイ情報システム、西日本ジェイアールバス、三菱商事　【進学】大阪大学、大阪府立大学、東京大学、東北大学会計大学院

電子物理工学課程　日本電産、ローム　【進学】大阪市立大学、大阪府立大学、京都大学、神戸大学

物質化学系学類

応用化学課程　センカ、田村駒、大研医器、電通テック、奈良県庁、萬国際　【進学】大阪府立大学、航空大学校、ノッティンガム大学

化学工学課程　京セラドキュメントソリューションズ、三菱重工業　【進学】大阪府立大学、東京工業大学、奈良先端科学技術大学院大学、北陸先端科学技術大学院大学

マテリアル工学課程　川崎エンジニアリング、太平電業、日曹エンジニアリング、阪和興業、フジパングループ、フォーミュレーションI.T.S.　【進学】大阪府立大学

機械系学類

航空宇宙工学課程　岩谷産業、サノヤスホールディングス、ジャムコ、ダイキンMRエンジニアリング、チェンジ、帝国電機製作所、北海道旅客鉄道（JR北海道）、三菱電機、リクルートホールディングス　【進学】大阪府立大学、京都大学、東京工業大学、東京大学、東北大学、奈良先端科学技術大学院大学

海洋システム工学課程　川崎重工業、キヤノン、香里ヌヴェール学院小学校・中学校・高等学校、国土交通省、Sky、ダイハツディーゼル、電通デジタル、トヨタ自動車、常石造船、日本海事協会、日立造船　【進学】大阪府立大学、九州大学、京都大学、東京大学

機械工学課程　茨木市役所、ウィルグループ、川崎重工業、キーエンス、コマニー、TIS、トップエンジニアリング、ビップシステムズ、三菱電機　【進学】大阪府立大学、京都大学、奈良先端科学技術大学院大学

生命環境科学域

獣医学類　赤塚犬猫病院、アウル動物病院、いぶきの動物病院、エルザクライス、オリーブ動物病院、岡山県農業共済組合連合会、オレンジ動物病院、大阪健康安全基盤研究所、大阪市役所、春日丘コーポレーション、高知県庁、参天製薬、佐賀県庁、塩野義製薬、滋賀県農業共済組合連合会、仙台市役所、全国農業協同組合連合会（JA全農）、武田動物病院、動物病院京都、なりた犬猫病院、名古屋動物医療センター、奈良県庁、にしやま動物病院、日本たばこ産業（JT）、日本新薬、兵庫県庁、北海道農業共済組合連合会、まつおか動物病院、松原動物病院、ミネルバ動物病院、溝呂木動物病院、南大阪動物医療センター、安田獣医科医院、淀川中央動物病院、よつや動物病院、ワールド動物病院　【進学】大阪府立大学、東京大学

応用生命科学類

生命機能化学課程　神田工業、神戸屋、東京都庁、日本食品分析センター、日本点眼薬研究所、日本ハム食品、日本生命保険相互会社、ネオキャリア、安川電機、八尾金網製作所　【進学】大阪府立大学、大阪大学

植物バイオサイエンス課程　塩野義製薬、城南学園高等学校、日本食品分析センター、阪急オアシス、阪急阪神ホールディングス、ベッセル、マルヤナギ小倉屋、山崎製パン　【進学】大阪府立大学、京都大学

緑地環境科学類　あいおいニッセイ同和損害保険、一保堂茶舗、石川県庁、オリジン東秀、大阪府庁、関電不動産開発、加古川市役所、柏原市役所、cosola、神戸屋、サンスイコンサルタント、昭和機械商事、滋賀県庁、住友重機械精機販売、住友林業緑化、全日本空輸、タクマ、大幸造園、大紀商事、南海辰村建設、奈良県庁、西松屋チェーン、日産技術コンサルタント、日本工営、日本生命保険相互会社、能勢町役場、阪神園芸、広島県庁、兵庫県庁、枚方市役所、モスフードサービス、UTコンストラクション、ロッテ　【進学】大阪府立大学、関西医科大学

自然科学類

物理科学課程　オフショア、クレデュ、静岡県教育委員会、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、パナソニックエコソリューションズ住宅設備、レキオスソフト　【進学】大阪府立大学、大阪大学、九州大学、神戸大学、名古屋大学

分子科学課程　NTTデータアイ、京セラ、ザイマックス関西、資生堂　【進学】大阪大学、大阪府立大学

生物科学課程　伊藤忠エネクス、オリエントコーポレーション、大阪府立大学、Gateテクノロジーズ、国際協力機構（JICA）、サントリーホールディングス、スタッフサービスグループ、フューチャーアーキテクト、創味食品、綜合キャリアグループ、VSN、明治　【進学】大阪府立大学、大阪大学、京都大学、神戸大学

地域保健学域

看護学類 大阪国際がんセンター、大阪はびきの医療センター、大阪急性期・総合医療センター、大阪母子医療センター、大阪市立大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、関西医科大学附属病院、関西医科大学附属滝井病院、大阪医科大学附属病院、近畿大学医学部附属病院、東京慈恵会医科大学附属病院、国立循環器病研究センター、大阪市立総合医療センター、堺市立総合医療センター、市立岸和田市民病院、箕面市立病院、三田市民病院、市立伊丹病院、北播磨総合医療センター、市立敦賀病院、大阪病院、淀川キリスト教病院、高槻赤十字病院、和歌山医療センター、大阪府済生会吹田病院、愛染橋病院、小阪産病院、関西電力病院、関西労災病院、JR大阪鉄道病院、富永病院、医誠会病院、府中病院、ベルランド総合病院、北野病院、馬場記念病院、浅香山病院、なにわ生野病院、運動器ケアしまだ病院、ハートフリーやすらぎ、近畿グループ、錦秀会、大阪府庁、大阪市役所、堺市役所、東大市役所、八尾市役所、神戸市役所、京都市役所、奈良県教育委員会、愛知県庁、広島市役所、大阪府立藤井寺支援学校、大阪府立八尾支援学校、大阪府立大学工業高等専門学校、関西不動産開発、西日本電信電話(NTT西日本) 【進学】ベルランド看護助産大学校

総合リハビリテーション学類

理学療法学専攻 秋津鴻池病院、SCSK、大阪大学医学部附属病院、大阪南医療センター、関西労災病院、学研都市病院、北大阪ほうせんか病院、恒生病院、神戸医療センター、航空自衛隊、高槻病院、帝塚山リハビリテーション病院、奈良医療センター、日本生命済生会日本生命病院、阪奈中央病院、ハイマックス、琵琶湖中央病院、巽今宮病院、松本病院、明治橋病院、山の辺病院 【進学】大阪府立大学

作業療法学専攻 藍野花園病院、愛徳医療福祉センター、伊丹恒生脳神経外科病院、和泉リハビリ訪問看護ステーション、大阪整肢学院、岡波総合病院、大阪府済生会千里病院、子ども発達スクールかすたねっと、市立池田病院、市立柏原病院、東大寺福祉療育病院、鳥取県立中央病院、奈良県立リハビリテーションセンター、西大和リハビリテーション病院、西宮協立リハビリテーション病院、兵庫県立リハビリテーション中央病院、南大阪小児リハビリテーション病院 【進学】大阪府立大学

栄養療法学専攻 EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング、エキップ、大阪いずみ市民生活協同組合、大阪府教育委員会、岸和田徳洲会病院、国分グループ本社、スギ薬局、創味食品、武内歯科医院、タマノイ酢、たねや、ドトールコーヒー、南和広域医療企業団、錦秀会、日野病院、日研トータルソーシング、日清オイリオグループ、はごろもフーズ、ビデオリサーチ、フェリシモ、ヤクルト本社、山崎製パン、山中酒の店 【進学】大阪府立大学

教育福祉学類 あいおいニッセイ同和損害保険、赤ちゃん本舗、いたみ杉の子、一羊会、泉佐野市社会福祉協議会、イオンモール、宇治市役所、大阪手をつなぐ育成会、大阪商工信用金庫、大阪家庭裁判所、大阪府子ども家庭センター、大阪府庁、カインド・メディカル、かんぽ生命保険、関電システムソリューションズ、近畿大学医学部奈良病院、キョーエーツーリスト、コスモス、国立病院機構　近畿グループ、神戸市人事委員会、神戸市役所、堺市役所、桜井市役所、児童養護施設ガーデンロイ、セントラルコンサルタント、全国労働者共済生活協同組合連合会(全労済)、田島童園、太子町役場、奈良県庁、乳児院ガーデンエル、西日本ジェイアールバス、日本航空、日本生命保険相互会社、日本電気(NEC)、ばんせい証券、パーソルキャリア、パソナグループ、福知山学園、ヤンマークレジットサービス、山善、リトルファクトリー、和歌山市役所 【進学】大阪大学、大阪府立大学、神戸大学、国立武蔵野学院附属児童自立支援専門員養成所、玉川大学

大学院 (博士前期課程)

工学研究科 IDEC、あいおいニッセイ同和損害保険、アクセンチュア、アドソル日進、愛知トヨタ自動車、アルプス技研、味の素、イシダエンジニアリング、岩谷産業、宇部興産、ABB(ABBジャパングループ)、AGC、AJS、NECソリューションイノベータ、NTTコムウェア、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン、NTTファシリティーズ、SRD、エクス、エクセディ、オムロン ソーシアルソリューションズ、オムロン、大阪ソーダ、大阪真空機器製作所、大阪ガス、大阪府教育委員会、大阪府庁、花王、カネカ、化繊ノズル製作所、関西金属工業所、関西電力、金井重要工業、川崎重工業、キヤノンITソリューションズ、キヤノン、共立合金製作所、京セラコミュニケーションシステム、京セラドキュメントソリューションズ、京セラ、近鉄グループホールディングス、グローリーシステムクリエイト、KDDI、クボタ、ケイ・オプティコム、コクヨ、コニカミノルタ、コフロック、コアコンセプト・テクノロジー、コーエーテクモホールディングス、小松製作所、神戸製鋼所、小林製薬、国税庁、サラヤ、サンスター、サンディスク、三宝化学研究所、三洋化成工業、山陽色素、シャープ、シティ・コム、シマノ、資生堂、島精機製作所、島津製作所、昭和電工、信越化学工業、新コスモス電機、滋賀県庁、JFEエンジニアリング、JSR、JXTGエネルギー、ジャパンマリンユナイテッド、GSユアサ、ジェイテクト、情報技術開発、SCSK、Sky、スガイ化学工業、スペラファーマ、スミセイ情報システム、スリーエムジャパンプロダクツ、SCREENホールディングス、住友重機械工業、住友精化、住友電気工業、セイコーインスツル、積水化学工業、ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ、ソニー、ソフトバンク、双日、象印マホービン、タツタ電線、竹中工務店、ダイキン工業、ダイハツ工業、ダイセル、大丸松坂屋百貨店、大日本印刷、第一工業製薬、tdiグループ、TDK、THK、帝人、DMG森精機、デンカ、DTS、ディー・エヌ・エー、デンソー、TONE、TOTO、トヨタ自動車、トップエンジニアリング、トラスト・テック、豊田自動織機、東ソー、東レ、東海旅客鉄道(JR東海)、東京エレクトロン、東芝エネルギーシステムズ、東芝メモリ、東芝三菱電機産業システム、東洋インキSCホールディングス、東洋エンジニアリング、東洋ビジネスエンジニアリング、東洋紡、特殊電極、特許庁、ドワンゴ、ナブテスコ、成田国際空港、中西金属工業、南海電気鉄道、ニチアス、日本技術センター、日本触媒、西日本電信電話(NTT西日本)、日亜化学工業、日揮、日産化学、日産自動車、日清オイリオグループ、日清フーズ、日鉄エンジニアリング、日東電工、日本アイ・ビー・エム、日本ガイシ、日本ゼオン、日本合成化学工業、日本製鉄、日本製粉、日本電気(NEC)、日本特殊陶業、日本放送協会(NHK)、野村證券、阪急阪神ホールディングス、阪神内燃機工業、浜松ホトニクス、パナソニックインフォメーションシステムズ、パナソニック、日立システムズ、日立製作所、日立化成、日立金属、日立造船、兵神装備、P&Gグループ、フューチャーアーキテクト、フロイント産業、富士石油、富士通、ブラザー工業、ベニックソリューション、ホソカワミクロン、堀場製作所、本田技研工業、マクセル、マツダ、マキタ、ミズノテクニクス、三井住友信託銀行、三菱ケミカルエンジニアリング、三菱ケミカル、三菱マテリアル、三菱自動車工業、三菱電機インフォメーションネットワーク、三菱電機マイコン機器ソフトウエア、三菱電機、水ing、村田製作所、明治、ヤフー、ヤマハ発動機、ヤンマー、ユニ・チャーム、雪印メグミルク、リコー電子デバイス、LIXIL、リンクアカデミー、陸上自衛隊、レンゴー、ロート製薬、ローム、ロッテ 【進学】大阪府立大学、東京大学、東北大学

生命環境科学研究科 WDB エウレカ社、エア・ウォーター、エスペックミック、エイト日本技術開発、オージス総研、オプティム、大関、大阪府庁、環境省、キヤノンITソリューションズ、協友アグリ、クミアイ化学工業、クリテックサービス、くらこんホールディングス、グンゼ、現代ランドスケープ、コグニザントジャパン、コーセー、小林製薬、五洋紙工、サラヤ、サンスター、三栄ハイテックス、三栄源エフ・エフ・アイ、シスメックス、塩野義製薬、CACクロア、資生堂ジャパン、J-オイルミルズ、自衛隊、Sky、住友ゴム工業、住友精化、セイカ、生晃栄養薬品、製品評価技術基盤機構、高田香料、ダイキン工業、TOYO TIRE、東邦化成、都市再生機構、長瀬産業、ニプロ、日本保健衛生協、西日本高速道路、日水製薬、日鉄テクノロジー、日東電工、日本エア・リキード、日本コーンスターチ、日本コルマー、日本工営、日本新薬、日本製紙、日本製粉、ハリマ化成、バンク・オブ・イノベーション、パナソニック、日立製作所、兵庫県庁、ピアス、不二家、藤本製薬グループ、富士通フロンテック、扶桑化学工業、堀場テクノサービス、マルホ、松谷化学工業、ミルボン、三菱スペース・ソフトウエア、三菱電機コントロールソフトウェア、三菱電機、メニコン、山崎製パン、ユタックス、理研グリーン、和歌山県人事委員会 【進学】大阪府立大学、名古屋大学

理学系研究科 一条工務店、エア・ウォーター、NSC、NTTドコモ、大阪産業大学附属中学校・高等学校、科学技術振興機構、京セラドキュメントソリューションズ、クラレ、サイバーエージェント、堺ディスプレイプロダクト、三栄ハイテックス、ザクティ、シキボウ、シミック、島精機製作所、新日本理化、ジェイテクト、スカパーJSAT、杉村倉庫、住化カラー、住友ゴム工業、ゼンリン、全星薬品工業、タカラバイオ、大樹生命保険、武田薬品工業、高田中・高等学校、WDB エウレカ社、ダイキン工業、ダイヤ製薬、ダイゾー、デンロコーポレーション、TOTO、東レエンジニアリング、東レ、ニッポンレンタカー関西、日本食品分析センター、日亜化学工業、日東電工、日本アイ・ビー・エム、日本ゼオン、日本光電工業、日本製粉、日本電産、日本農薬、日本毛織(ニッケ)、日油、日立ソリューションズ、ビュープラン、ピアス、宝幸、丸菱油化工業、三菱重工業、三菱電機、三重県教育委員会、村田製作所、明治、森永乳業、ワールドインテック 【進学】大阪府立大学、広島大学

経済学研究科 朝日生命保険相互会社、イカリ消毒堺、上村工業、SRO労働法務コンサルティング、エブリ、ATパートナーズ、経済産業省、斎藤税理士事務所、社会福祉法人コスモス、四天王寺大学、ダンクハーツ、ニトリ、似鳥投資有限公司(ニトリ中国)、フジエンジニアリング、不二(中国)投資有限公司 【進学】大阪府立大学

人間社会システム科学研究科 IHI、NECネッツエスアイ、SCSK、NTTドコモ、大阪府庁、コロプラ、公安局、ゴールデンブリッジ、三郷金属工業、新日本工機、児童養護施設松柏学園、児童養護施設公徳学園、THKリズム、テーブルマーク、東洋エンジニアリング、名古屋経済大学市邨高等学校・中学校、日鉄パイプライン&エンジニアリング、日本ヒューレット・パッカード、日本工営、似鳥投資有限公司(ニトリ中国)、パナソニックインフォメーションシステムズ、パナソニック、富士テクノ工業、松阪市役所、三菱電機インフォメーションシステムズ、三菱電機、網易、ヤフー、ロックオン 【進学】大阪府立大学、京都大学、神戸女学院大学

看護学研究科 大阪府済生会中津病院、大阪はびきの医療センター、大阪母子医療センター、大阪南医療センター、大阪医科大学、国立国際医療研究センター病院、神戸医療センター、堺市役所、堺市立総合医療センター、桜橋渡辺病院、堺市役所、市立豊中病院、循環器呼吸器病センター、徳島大学病院、特別養護老人ホームベルファミリア、奈良県立医科大学附属病院、奈良病院、のぞみハートクリニック、りんくう総合医療センター 【進学】大阪府立大学

総合リハビリテーション学研究科 アキレス、千里リハビリテーション病院、セントケア・ホールディング(セントケア・グループ)、ゼンショーホールディングス、天仁病院、兵庫医科大学病院 【進学】大阪府立大学

人間社会学研究科 大阪労災病院、国立成育医療研究センター、のぞみ福祉会

※具体的な企業名が不明なものは記載していません。就職先、進学先の順に掲載しています。

取得できる免許・資格

大阪府立大学では、資格・免許の取得をめざす学生の皆さんを強力にバックアップする体制を整えています。中学校・高等学校などの教育職員免許状はもとより、各学域・学類で学んできた専門分野を社会で生かすための各種資格・免許取得へのチャレンジを積極的に応援します。

■教育職員免許状取得資格

学　域	学　類	課　程	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
現代システム科学域	知識情報システム学類	—	—	情報
	環境システム学類	環境共生科学課程	社会	公民
		社会共生科学課程		
		人間環境科学課程		
	マネジメント学類	マネジメント課程	—	公民
		経済データサイエンス課程		
工　学　域	電気電子系学類※	情報工学課程	—	情報
		電気電子システム工学課程	数学	数学・工業
		電子物理工学課程	理科	理科・工業
	物質化学系学類※	応用化学課程	理科	理科・工業
		化学工学課程		
		マテリアル工学課程	—	工業
	機械系学類※	航空宇宙工学課程	—	工業
		海洋システム工学課程	数学	数学・工業
		機械工学課程		
生命環境科学域	獣医学類	—	理科	理科
	応用生命科学類	生命機能化学課程	理科	理科・農業
		植物バイオサイエンス課程		
	緑地環境科学類	—	理科	理科・農業
	理学類※	数理科学課程	数学	数学
		物理科学課程	理科	理科
		分子科学課程		
		生物科学課程		
地域保健学域	教育福祉学類	—	社会	公民・福祉

※同学類の他の課程の免許状についても取得要件を満たせば、免許状を取得することができます。

学　域	学　類	専　攻	免許状の種類
地域保健学域	看護学類	—	養護教諭一種免許状
	総合リハビリテーション学類	栄養療法学専攻	栄養教諭一種免許状

■国家試験合格率（7資格抜粋）令和元年度実績

	府　大	全　国	
	合格率%(新卒のみ)	合格率%(新卒のみ)	合格率%(合計)
獣医師	95.3%	94.2%	86.5%
看護師	100.0%	94.7%	89.2%
保健師	100.0%	96.3%	91.5%
理学療法士	100.0%	93.2%	86.4%
作業療法士	100.0%	94.2%	87.3%
管理栄養士	96.8%	92.4%	61.9%
社会福祉士	85.3%	56.0%	29.3%

■国家試験等の受験資格等 （資格取得に必要な科目の履修にあたっては、定員の制限や選考が行われる場合や、所属する課程により取得できない場合があります。）

学　域	学　類	課程・専攻	免許状の種類	備　考
現代システム科学域	環境システム学類	環境共生科学課程	日本緑化センター認定　自然再生士補	取得できる資格
		社会共生科学課程	日本緑化センター認定　自然再生士補	取得できる資格
		人間環境科学課程	日本緑化センター認定　自然再生士補	取得できる資格
			公認心理師 ※1	受験資格
工　学　域	電気電子系学類	電気電子システム工学課程	第一級陸上無線技術士	試験科目の一部免除
			第一・二・三種電気主任技術者	実務経験後免許状取得
		電子物理工学課程	第一級陸上無線技術士	試験科目の一部免除
生命環境科学域	獣医学類	—	獣医師	受験資格
			家畜人工授精師	免許資格（獣医師免許取得に伴う資格）
			食品衛生管理者	任用資格　※4
			食品衛生監視員	
			家庭用品衛生監視員	
			薬事監視員	
			環境衛生監視員	
			飼料製造管理者	
			狂犬病予防員　※2	
			食鳥検査員　※2	
			種畜検査員	
			と畜検査員　※2	
	応用生命科学類	生命機能化学課程	甲種危険物取扱者	受験資格
			食品衛生管理者	取得できる資格
			食品衛生監視員	
			毒物劇物取扱責任者	
		植物バイオサイエンス課程	甲種危険物取扱者	受験資格
			食品衛生管理者	取得できる資格
			食品衛生監視員	
	緑地環境科学類	—	測量士補	取得できる資格
			測量士	取得できる資格（1年以上の実務経験）
			1・2・3級造園技能士	受験資格（受験資格年数の短縮）
			1・2級土木・造園等施工管理技士	
			日本コンクリート工学協会認定 コンクリート技士・コンクリート主任技士	
			土木学会認定　2級土木技術者	受験資格
			日本緑化センター認定　樹木医補	取得できる資格
			日本緑化センター認定　自然再生士補	
			登録ランドスケープアーキテクト（RLA）	受験資格（受験資格年数の短縮）
	理学類	分子科学課程	甲種危険物取扱者	受験資格
			毒物劇物取扱責任者	取得できる資格
地域保健学域	看護学類	—	看護師	受験資格
			保健師　※3	
	総合リハビリテーション学類	理学療法学専攻	理学療法士	受験資格
			中級障がい者スポーツ指導員	取得できる資格
		作業療法学専攻	作業療法士	受験資格
			中級障がい者スポーツ指導員	取得できる資格
		栄養療法学専攻	管理栄養士	受験資格
			栄養士	取得できる資格
			食品衛生管理者	
			食品衛生監視員	
	教育福祉学類	—	社会福祉士	受験資格
			保育士	取得できる資格
			社会教育士（養成課程）	称することができる資格
			社会教育主事	任用資格（1年以上の実務経験）　※4
			児童福祉司	
			社会福祉主事	任用資格　※4
			児童指導員	
			身体障害者福祉司	
			知的障害者福祉司	
			スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程修了者	取得できる資格　※5

※1 環境システム学類人間環境科学課程で必要な科目を履修し、卒業後大学院（人間社会システム科学研究科現代システム科学専攻）で必要な科目を履修し修了するか、所定の実務経験を積むことで取得可能　※2 獣医師免許取得に伴う資格　※3 必要な科目を履修し、保健師免許取得後、養護教諭二種免許および第一種衛生管理者免許も取得可能
※4 特定の職業、役職につくための資格　※5 必要な科目を履修し、社会福祉士資格もしくは精神保健福祉士資格を取得後、認定申請可能

大阪府立大学の沿革 History of Osaka Prefecture University

歴史

本学は2005年、旧大阪府立大学、大阪女子大学、大阪府立看護大学の三大学が統合・法人化し、誕生しました。その淵源をたどると1883年設置の獣医学講習所までさかのぼることができます。

明治30年代、大阪府立農学校(勝山時代)の実験室の風景

大阪府立農学校(勝山時代)の西洋風本館

大阪府立農学校(大仙時代)

浪速大学正門

経済学部学舎

開設当時の大阪高等工業学校

学生部

1883(明治16)年
●獣医師の養成を目的とした獣医学講習所を、大阪市北区にある府立大阪医学校内に設置。

1888(明治21)年
●大阪府立農学校が堺区車之町(現堺市堺区車之町)の旧堺県師範学校校舎内に開校。

1890(明治23)年
●大阪府立農学校が東成郡鶴橋村大字岡(現 大阪市生野区)の約43,000坪に及ぶ敷地に移転。
※新学舎は「勝山農学校」とも呼ばれ、西洋風の本館が一際目を引くものだったという。

1926(大正15)年
●大阪府立農学校が堺市 大仙町(現 堺市中区大仙町)へと移転。
※新学舎は鉄筋コンクリート3階建ての勇壮なもので、当時の新聞は「天下に誇る壮麗さ」と称賛している。
(「大阪朝日新聞」1926.11.16 付)

1939(昭和14)年
●官立の大阪高等工業学校が堺市百舌鳥東之町(現 堺市中区学園町)に設置。

1942(昭和17)年
●大阪府立農学校の男子第二部獣医科が専門学校への昇格が認められ、大阪高等獣医学校として大阪府立農学校に併設。

1944(昭和19)年
●大阪農業専門学校の設置が認可される。1949(昭和24)年4月の浪速大学設置に際して、農学部の母体として、大阪獣医畜産専門学校とともに吸収される。
●大阪高等工業学校が大阪工業専門学校と改称。 1949(昭和24)年4月の浪速大学設置に際して、工学部の母体として吸収される。
●大阪府立航空高等工業学校が布施市宝持(現東大阪市宝持)所在の大阪府立航空工業学校に併設する形で設置。
●大阪府立淀川高等工業学校を大阪市旭区所在の大阪府立淀川工業学校に併設する形で設置。
●大阪青年師範学校が堺市百舌鳥西之町(現 堺市北区百舌鳥西之町、通称城之山)に設置。

1949(昭和24)年
●浪速大学設置。(設置時は工学部、農学部、教育学部、教養部、工学部別科)

1954(昭和29)年
●経済学部を設置。

1955(昭和30)年
●浪速大学を大阪府立大学と改称。

大阪府立大学の起源は1883年設置の獣医学講習所に。

1949年浪速大学、大阪女子大学の設置。

明治 大正 昭和

1924(大正13)年
●大阪府女子専門学校を設置。

1948(昭和23)年
●厚生省、大阪府、共同募金等からの出資を得て、財団法人大阪社会事業協会を経営主体とする大阪社会事業学校が大阪市南区田島町(現大阪市中央区谷町)に設置。

1949(昭和24)年
●大阪府女子専門学校は大学へと昇格し、大阪女子大学学芸学部を設置。

1950(昭和25)年
●大阪社会事業短期大学が設置される。学舎は大阪市南区田島町および大阪市東区森之宮西之町(現大阪市中央区法円坂)に設置。

1952(昭和27)年
●大阪社会事業短期大学、大阪府立保母学院を統合。

●大阪府立大学
●大阪女子大学
●大阪府立看護短期大学・大阪府立看護大学
●大阪社会事業短期大学
●大阪府立大学工業高等専門学校

大阪女子大学正門

大阪府女子専門学校正門

帝塚山キャンパス

本資料は、大阪府立大学創基130年事業の一環として、高等教育機関及び保健衛生人材育成機関等、大阪府立大学につながる沿革を編集したものです。

2019年4月1日から

公立大学法人 大阪 に!

University Public Corporation Osaka

2019年4月1日より、大阪府立大学を設置する法人が新しくなりました。従来の「公立大学法人大阪府立大学」と大阪市立大学を設置する「公立大学法人大阪市立大学」が法人統合し、新法人「公立大学法人大阪」がスタート。この新しい法人が、大阪府立大学、大阪市立大学、大阪府立大学工業高等専門学校の３つの教育機関を設置・運営していきます。

工学部 A11棟

経済学部 B2棟

りんくうキャンパス

先端バイオ棟 C17棟

モニュメント除幕式

教育棟 B3棟

サイエンス棟 A13棟

中百舌鳥キャンパス（昭和 40 年代）

2019（平成31）年
- 「公立大学法人大阪府立大学」と「公立大学法人大阪市立大学」が法人統合。大阪府立大学、大阪市立大学、大阪府立大学工業高等専門学校を設置する「公立大学法人大阪」がスタート。

2016（平成28）年
- 人間社会学研究科は、人間社会システム科学研究科に名称変更し、修士課程の現代システム科学専攻を設置。

2012（平成24）年
- ７学部を４学域に再編。
  - 現代システム科学域
  - 工 学 域
  - 生命環境科学域
  - 地域保健学域

2011（平成23）年
- 総合教育研究機構を高等教育推進機構に、産学官連携機構を地域連携研究機構※1と改称。新たに国際交流推進機構※2を設置。
  （※1と※2は、2017（平成29）年に研究推進機構へと継承）

2005（平成17）年
- 大阪府立大学と大阪女子大学、大阪府立看護大学の３大学が統合、法人化され、公立大学法人大阪府立大学が発足。この法人が設置する大学として、新大学「大阪府立大学」がスタート。（工学部・工学研究科、生命環境科学部・生命環境科学研究科、理学部・理学系研究科、経済学部・経済学研究科、人間社会学部・人間社会学研究科、看護学部・看護学研究科、総合リハビリテーション学部・総合リハビリテーション学研究科）総合教育研究機構、産学官連携機構を設置。

1981（昭和56）年
- 大阪社会事業短期大学を母体とする社会福祉学部を設置。

1978（昭和53）年
- 教養部を廃止し、総合科学部を設置。

1994年大阪府立看護大学の設置。　2005年3大学統合。2012年学域・学類制へ。

昭和　平成

1963（昭和38）年
- 大阪府立工業高等専門学校設置。

1976（昭和51）年
- 大阪女子大学、大阪府立大学農学部の敷地であった堺市大仙町へと移転が完了。

1978（昭和53）年
- 大阪府立看護短期大学が大阪市住吉区の旧大阪女子大学の跡地に開学。
- 大阪府立公衆衛生学院を大阪府立公衆衛生専門学校（専修学校専門課程）に移行。

1994（平成6）年
- 大阪府立看護短期大学を母体とする大阪府立看護大学が、大阪府立羽曳野病院に隣接する大阪府羽曳野市はびきのに開学、看護学部看護学科を設置。大阪府立助産婦学院を統合。
- 大阪府立看護短期大学は大阪府立看護大学医療技術短期大学部へと継承されるとともに、1978（昭和53）年設立の大阪府立公衆衛生専門学校が廃止されるのと関連して、看護第1学科、看護第2学科、臨床栄養学科、歯科衛生学科、臨床検査学科、理学療法学科、作業療法学科が設置された。（大阪府立看護大学医療技術短期大学部は、2006（平成18）年3月廃止。）

1999（平成11）年
- 学芸学部の学生募集停止、人文社会学部、理学部の2学部を設置。

2003（平成15）年
- 大阪府立看護大学に総合リハビリテーション学部を設置。

2011（平成23）年
- 大阪府立工業高等専門学校が法人の設置機関となり、大阪府立大学工業高等専門学校と改称。

1969（昭和44）年竣工時の大阪府立工業高等専門学校

大阪女子大学大仙キャンパス周辺

大阪女子大学 70 周年記念ホール

大阪府立看護大学（現、羽曳野キャンパス）

羽曳野キャンパス

キャンパス紹介 Institution guide

現代システム科学域
- 知 知識情報システム学類
- 環 環境システム学類
- マ マネジメント学類

工学域
- 電 電気電子系学類
- 物 物質化学系学類
- 機 機械系学類

生命環境科学域
- 獣 獣医学類
- 応 応用生命科学類
- 緑 緑地環境科学類
- 理 理学類

地域保健学域
- 看 看護学類
- 総 総合リハビリテーション学類
- 教 教育福祉学類

中百舌鳥（なかもず）キャンパス

総面積465,267㎡という広大な敷地に、都市に近い場所にありながら多種多様な樹木に包まれた自然豊かなキャンパスです。近畿全域から各種交通網が完備されており、キャンパスのある中百舌鳥までアクセスも快適です。

知 環 マ 電 物 機 応 緑 理 教

白鷺門

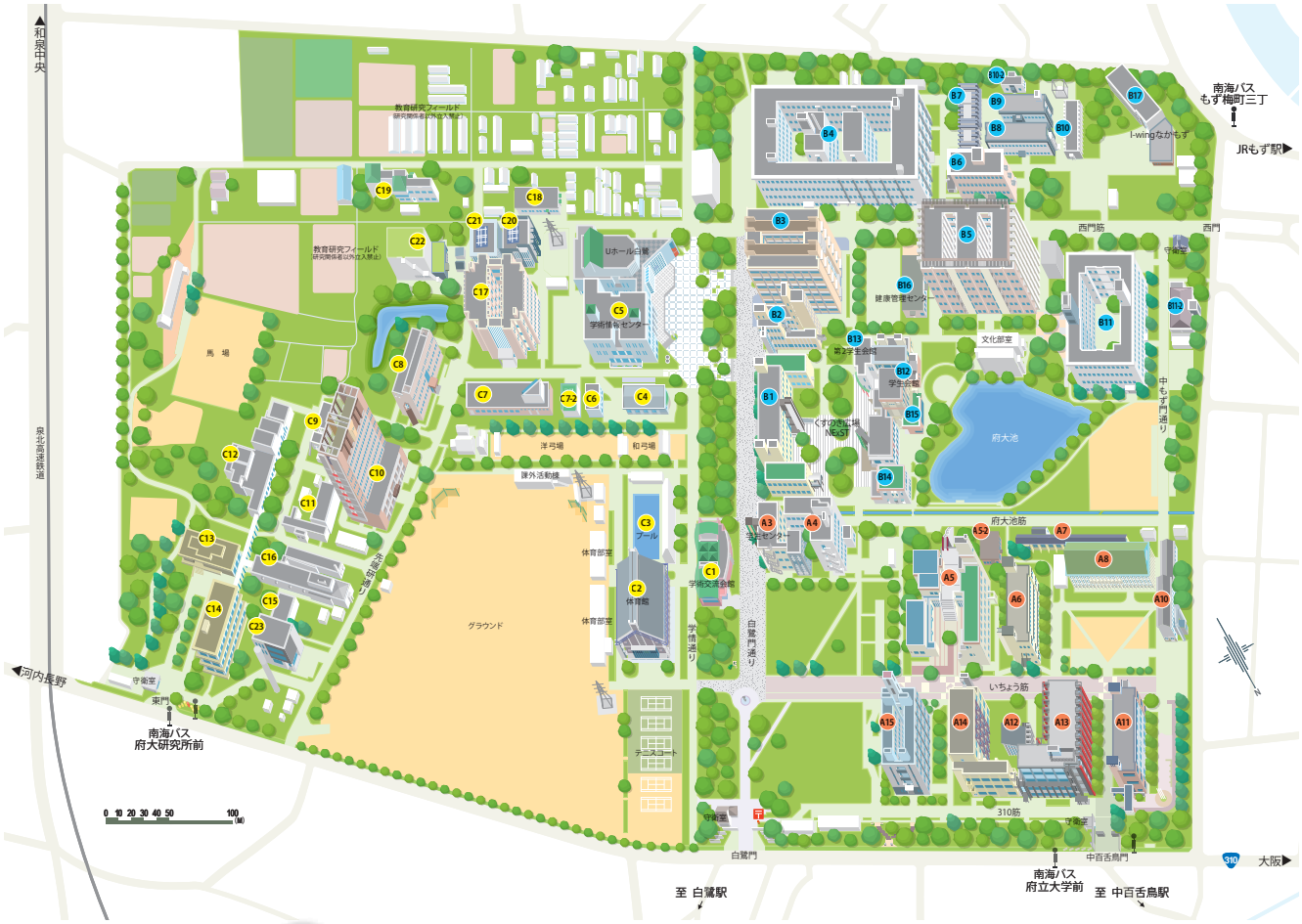
中百舌鳥門

生産技術センター　A8棟

図書館　C5棟ほか
※専門図書室として、ヒューマンサイエンス系図書室（A4棟）
経済・経営・法律系図書室（B3棟）

ラーニングコモンズ　B2棟、C5棟

植物工場研究センター
C20棟、C21棟、C22棟

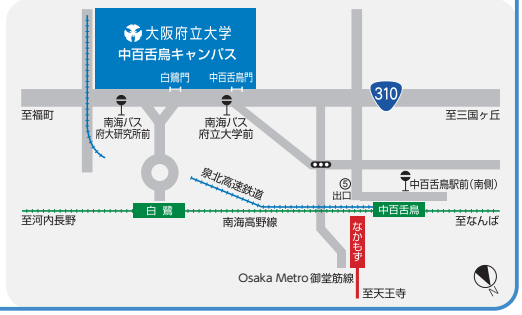


point

キャンパス・ビオトープ

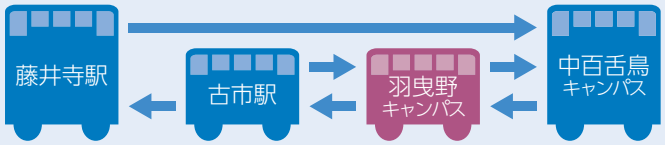
中百舌鳥キャンパスは47ヘクタールの敷地面積をもち、甲子園球場に例えると12個分の広さです。構内には水田や果樹園などのほか、多様な樹木が植栽された緑地帯や調整池、水路などがあり、200種以上の樹木、約40種の野鳥、40種以上のチョウ、約20種のトンボなどが生息しています。

本学は、この生物相の豊かな中百舌鳥キャンパス全体をビオトープと位置づけ、多様な生物がにぎわい、自然と人間活動の調和を実感できる空間の創造をめざしています。



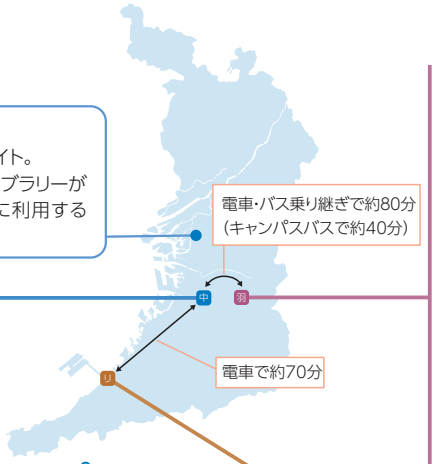
羽曳野生の移動をサポート!!

羽曳野キャンパス ⇔ 中百舌鳥キャンパス　キャンパス間バス(無料)運行中!!



看護学類・総合リハビリテーション学類の学生は、1年次の時に週2回(水・木)、中百舌鳥キャンパスで授業を受けます。その移動手段として両キャンパスを結ぶキャンパス間バスを運行しています。

※ 朝5便、夕方2便の予定
※ 詳しくは、入学後 羽曳野キャンパス内の掲示板でお知らせします。



I-site なんば
難波にある府大のサテライト。
セミナールームやまちライブラリーがあり、学生も様々な用途に利用することができます。

りんくうキャンパス 獣

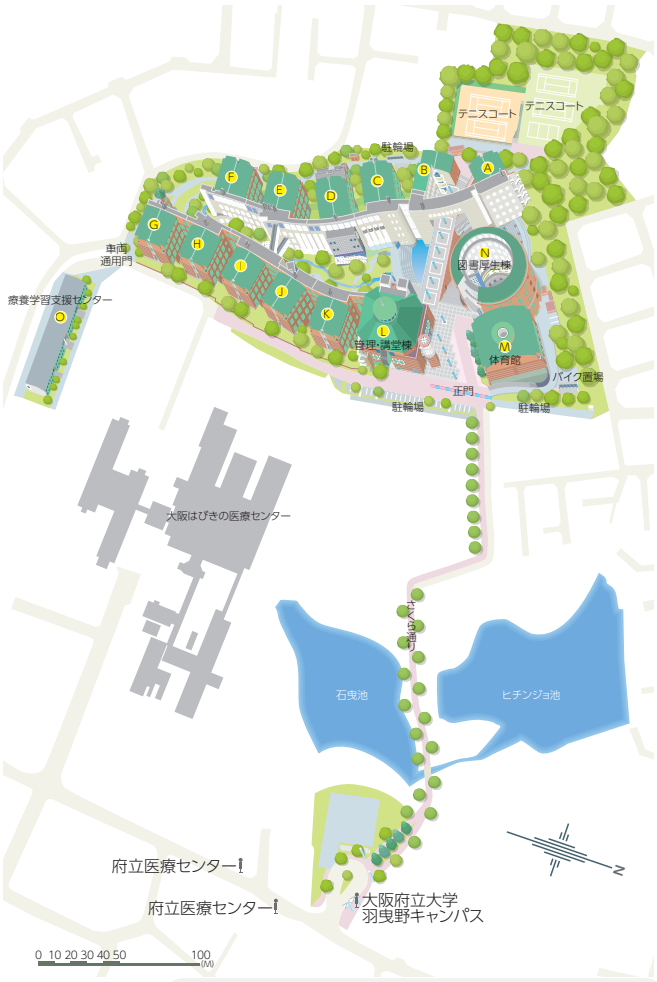
関西国際空港対岸のりんくうタウン地区に位置し、先端的な動物バイオ研究の推進にふさわしい環境を整備。動物検疫所関西空港支所などの防疫関係機関や食品、環境などバイオ関連企業などとも連携を図りながら、大学院を核としたバイオサイエンスの国際的研究開発拠点の形成をめざしています。

獣医臨床センター

羽曳野(はびきの)キャンパス 看 総

古代史跡が多く残る羽曳野市の丘陵地に、円形の図書厚生棟や八角形の管理・講堂棟などユニークな形状の学舎が整備されています。保健医療分野において、リーダーとなる人材の育成をめざし、看護やリハビリテーションに関連する最新鋭の設備のほか、関連した多彩な実習施設・研究施設が設けられています。

正門



大阪府立大学
OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY

高度研究型大学～世界に翔く地域の信頼拠点～

https://www.osakafu-u.ac.jp/

高校生向け
“やりたいこと”探索サイト
キーワードで逆引き
Find Out!!

中百舌鳥キャンパス

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号

- 現代システム科学域　知識情報システム学類・環境システム学類・マネジメント学類
- 工学域　電気電子系学類・物質化学系学類・機械系学類
- 生命環境科学域　応用生命科学類・緑地環境科学類・理学類
- 地域保健学域　教育福祉学類

羽曳野キャンパス

〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号

- 地域保健学域　看護学類・総合リハビリテーション学類

りんくうキャンパス

〒598-8531 大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地の58

- 生命環境科学域　獣医学類

I-siteなんば

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル2・3階

アクセス

公共交通機関（電車）での所要時間（めやす）

JR大阪駅（Osaka Metro梅田駅）	約55分 →	中百舌鳥キャンパス
	約75分 →	羽曳野キャンパス
	約70分 →	りんくうキャンパス
Osaka Metro なんば駅	約45分 →	中百舌鳥キャンパス
	約65分 →	羽曳野キャンパス
	約55分 →	りんくうキャンパス
JR新大阪駅	約65分 →	中百舌鳥キャンパス
	約80分 →	羽曳野キャンパス
	約70分 →	りんくうキャンパス
JR京都駅	約100分 →	中百舌鳥キャンパス
	約120分 →	羽曳野キャンパス
	約105分 →	りんくうキャンパス
南海和歌山市駅	約100分 →	中百舌鳥キャンパス
	約145分 →	羽曳野キャンパス
	約45分 →	りんくうキャンパス
中百舌鳥キャンパス	← 約80分 →	羽曳野キャンパス
中百舌鳥キャンパス	← 約70分 →	りんくうキャンパス

羽曳野キャンパス～中百舌鳥キャンパス　キャンパス間バス（無料）を運行
詳しくは P.90

例えば新大阪から

中百舌鳥キャンパスへは

Osaka Metro御堂筋線「新大阪駅」
▶なかもず行き▶
▶Osaka Metro御堂筋線「なかもず駅（5号出口）」から南東へ約1,000m、徒歩約13分。

羽曳野キャンパスへは

Osaka Metro御堂筋線「新大阪駅」
▶「天王寺駅」▶乗り換え
▶近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」▶
▶橿原神宮前及び河内長野行き等▶
▶近鉄南大阪線「藤井寺駅」下車▶
南口近鉄バス（1番のりば71、78系統、2番のりば72、75系統、3番のりば（銀行前）61、62、63、65、66系統）で約10分、「府立医療センター」下車、徒歩10分。

りんくうキャンパスへは

Osaka Metro御堂筋線「新大阪駅」
▶「なんば駅」▶乗り換え
▶南海本線「なんば駅」▶
▶関西国際空港行き空港急行▶
▶南海空港線「りんくうタウン駅（3番出口）」から徒歩6分

アクセス

【入試についてのお問合せ】

- 現代システム科学域
- 工学域
- 生命環境科学域
- 地域保健学域（教育福祉学類）

中百舌鳥キャンパス
入試課
TEL 072-254-9117

- 地域保健学域（看護学類、総合リハビリテーション学類）

羽曳野キャンパス
学生グループ入試担当
TEL 072-950-2117

入試関連イベントはこちら

2020年6月発行